

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101010100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	ふるさと応援事業		予算事業名	ふるさと応援事業 優先度 4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎		担当者名 岩田 智美
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと応援基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	相生のまちづくりに参加しようとする者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	個性豊かで活力とぬくもりのあるまちづくりを推進するため、市に対する寄付金を広く募り、事業の財源にし、その思いを具現化する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		5つのテーマ別にふるさと応援寄附金を受付し、その寄附金を財源に事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	寄附件数	件	55	2,792	2,433	3,000
	寄付金額	円	7,070,000	61,360,000	49,563,632	54,000,000
	本制度による実施事業	件	4	3	10	10

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.232	0.200	86	0.260	130	0.260	100	
	臨時職員	0.060	0.360	600	0.360	100	0.360	100	
支出内訳	人件費	2,232,218	2,793,946	125	3,326,032	119	3,431,072	103	
	事業費	7,440,775	91,064,681	1,224	81,580,975	90	86,099,000	106	
	合計	9,672,993	93,858,627	970	84,907,007	90	89,530,072	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	7,228,448	57,564,730	796	52,043,571	90	54,007,000	104	
	一般財源	2,444,545	36,293,897	1,485	32,863,436	91	35,523,072	108	
合計	9,672,993	93,858,627	970	84,907,007	90	89,530,072	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふるさと応援事業の実施							
指標説明(式)		ふるさと応援寄附金を財源とした各テーマでの実施事業。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	4	4	100.0	10	250.0	10	100.0	
	実績	4	3	75.0	10	333.3			
指標名2		特産品発送件数							
指標説明(式)		特産品PRの手段として、ふるさと応援寄附の寄附者に特産品を贈る。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	30	500	1666.7	5,000	1000.0	5,000	100.0	
	実績	38	4,655	12250.0	4,480	96.2			

【効率性】

指標名1		返礼品の商品数							
指標説明(式)		返礼品の商品数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	130	-	
	実績	3	63	2100.0	120	190.5			

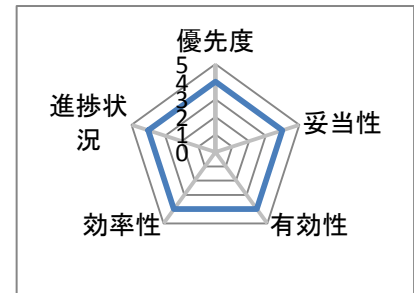
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	寄附件数、寄附金額は前年度と比べると減少しているが、事業を実施することにより歳入の確保につながっている。また、お礼の品として送付している特産品等を通じて市外への相生市のPRも期待出来る。	4
	市民サービス	ふるさと応援寄附を財源として実施している事業により、市民サービスの向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	寄附の受付が行いやすくなるよう、様々な寄附区分を設けている。	4
	執行体制の効率性	ポータルサイトを活用することにより相生市のPRを行うことができていると考える。また、クレジットカードでの寄附の受付を導入することにより、利便性の向上が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	寄附金額は下がったものの、5000万円程度の寄附を受け入れることができたため、歳入の確保につながっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	寄附金額が昨年度と比較して減少しており、さらに寄附を多くつるために改善が必要であると考ええる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	寄附金額の拡大につなげるため、新たなポータルサイトの利用や特産品のPR機会を増やすなどの検討を行う。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101010200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	自治基本条例策定事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名	石井 義宏
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市自治基本条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民等、執行機関、議会					
	誰(何)を対象として	市民等、執行機関、議会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	参画と協働によるまちづくり					

2 事業の概要 Do

実施の概要		参画と協働のまちづくりを推進するための基本ルールである自治基本条例を運用する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	検討委員会	回	0	0	0	0
	市民アンケート回収率	%	56.29	-	53.29	-

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.016	0.012	75	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員	0.004		0		-		-	
支出内訳	人件費	475,042	438,846	92	463,728	106	437,344	94	
	事業費			-		-		-	
	合計	475,042	438,846	92	463,728	106	437,344	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	475,042	438,846	92	463,728	106	437,344	94	
合計	475,042	438,846	92	463,728	106	437,344	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民アンケートによる協働割合							
指標説明(式)		市民アンケートによる協働事業へひとつでも参加していると答えた人の割合							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10.0	-	-	11.0	-	-	-	
	実績	10.1	-	-	9.9	-	-	-	
指標名2		自治基本条例の周知							
指標説明(式)		自治基本条例のための広報掲載回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-	-	-	

【効率性】

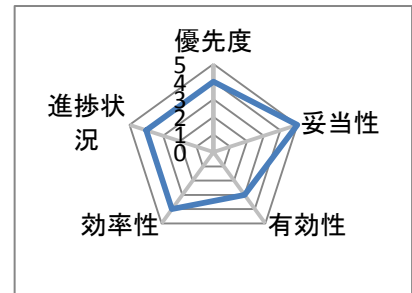
指標名1		市民アンケート回収率							
指標説明(式)		総合計画市民アンケート3500人に対する回収率(市民参画のひとつとして)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50.00	-	-	50.00	-	-	-	
	実績	56.29	-	-	53.29	-	-	-	
指標名2		検討委員会開催回数							
指標説明(式)		庁内検討委員会及び市民検討委員会の開催日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	協働により市民等と共にまちづくりを進めていくことで新たな公のまちづくりが向上される。	3
	成果目標(改善)達成度	市民アンケート結果によると、協働・参画の割合が前回調査よりも減少した。	
効率性	手段の最適性	自治基本条例の重要要素である参画と協働として、審議会委員の募集や市民アンケートを実施した。	4
	手段の最適性	コスモストークなどにおいて参画と協働のPRを図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各事業において、条例に基づいた参画と協働による取組みを進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	自治基本条例制定から数年経過しているため、検証が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	第6次総合計画策定にあわせて、審議会等により検証を行う。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101010900		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	まちづくり活動支援事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項	市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	まちづくり活動に既に取り組んでいる市民及びこれから取り組もうとする市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	まちづくり活動を自主的に行うグループに助成を行うことで、相生の元気の芽を育て、まちの活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		まちづくり活動に取り組むグループに対する助成及びその他のサポート				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	元気アップ支援事業	申請数	3	3	0	0
	地域再生大作戦事業	申請数	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.044	0.004	9	0.004	100	0.004	100	
	臨時職員	0.140	0.132	94	0.120	91	0.120	100	
支出内訳	人件費	1,027,122	722,690	70	718,064	99	714,816	100	
	事業費	165,000	460,000	279		0			
	合計	1,192,122	1,182,690	99	718,064	61	714,816	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,192,122	1,182,690	99	718,064	61	714,816	100	
合計	1,192,122	1,182,690	99	718,064	61	714,816	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちづくり活動支援事業申請数							
指標説明(式)		まちづくり活動支援事業申請数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	4	133.3	1	25.0	1	100.0	
	実績	4	4	100.0	1	25.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

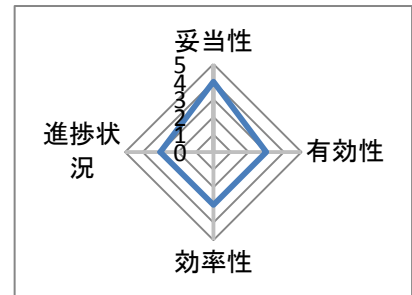
指標名1		1助成グループに要するコスト							
指標説明(式)		事業費(助成金除く) / 認定グループ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	350000	350000	100.0	350000	100.0	350000	100.0	
	実績	397374	295672	74.4	718064	242.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	本事業をきっかけとして、自主的に活動を行うグループ、人材が助成終了後も継続し活動を行っている。	3
	市民サービス	助成グループが自主性や創造性を発揮し、多様な活動を行うことでまちの活性化に寄与している。	
効率性	執行体制の効率性	補助額に対し、制度体制が審査会、報告会などの開催などにより事業費がかかっており効率性に欠けている。	3
	手段の最適性	公開審査会、公開報告会により、活動の透明性を確保し、適正に予算を執行できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市内各団体へ助成を行っており、まちの活性化には一定の成果があった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	各団体の活動維持するための助言等を行うことができる体制を作る必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	県・NPOと連携し相談体制の構築を行う必要がある

配点	32.5
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101011000		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	市民活動サポート事業		予算事業名	コミュニティ推進事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす			担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	自主的な市民活動を行うグループ(自治会を含む)・個人						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の自主的な活動を支援し、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域振興課内の「まちづくり交流室」を市民活動に自由に使えるスペースとし、市民の活動拠点とする。 また、イベント用テントや草刈機の貸出しを行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	まちづくり交流室利用数	回	130	130	130	130	
	イベント用テントの貸出し	張	228	250	254	300	
	草刈り機の貸出し	台	90	112	89	150	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.044	0.104	236	0.128	123	0.128	100	
	臨時職員	0.317	0.220	69	0.272	124	0.272	100	
支出内訳	人件費	1,472,985	1,705,606	116	2,075,464	122	2,132,104	103	
	事業費	165,405	197,515	119	192,169	97	206,000	107	
	合計	1,638,390	1,903,121	116	2,267,633	119	2,338,104	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,638,390	1,903,121	116	2,267,633	119	2,338,104	103	
合計	1,638,390	1,903,121	116	2,267,633	119	2,338,104	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちづくり交流室の利用件数							
指標説明(式)		まちづくり交流室の利用件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	130	130	100.0	130	100.0	130	100.0	
	実績	130	130	100.0	130	100.0			
指標名2		イベント用テント及び草刈り機の貸出し件数							
指標説明(式)		イベント用テント及び草刈り機の貸出し件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
台	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	318	362	113.8	343	94.8			

【効率性】

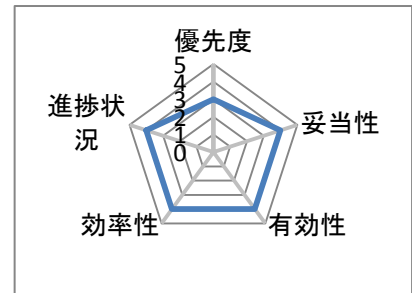
指標名1		まちづくり交流室の利用率							
指標説明(式)		まちづくり交流室の利用回数/利用可能回数(開館日×2単位(AM・PM)×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	18.7	18.7	100.0	18.7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	効率良く貸出できるように努めている。	4
	市民サービス	定期的に貸出し物品の入れ替えや修繕を行い、適正な管理に努めている。	
効率性	コストの節減	利用者に安全かつ丁寧な利用を呼びかけ、物品の破損等を未然に防ぐ。	4
	手段の最適性	現在は大きなトラブルはなく、貸出が行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に運営している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	備品の老朽による入れ替えの必要がありその財源の検討の必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	費用負担を少なくするため日々のメンテナンスなど管理をしっかり行く

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	総合補償保険事業		予算事業名	相生市総合補償保険事業 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	大谷 健人
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市主催・共催行事において事故にあった参加者					
	誰(何)を対象として	市主催・共催行事参加者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	従来、市が行事を主催・共催する場合の傷害保険の加入はその都度主管課が行っていたが、一括して加入することにより、加入漏れ等の誤りを防ぎ、市民が行事に安心して参加でき					

2 事業の概要 Do

実施の概要		年度中に行われる市主催・共催の市民参加事業について、地域振興課が窓口となり保険に加入する。事業内容によって保険料が異なるが、死亡500万、後遺障害 上限500万、入院3500円、通院2300円が補償される。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	総参加者数	人	79018	74149	78900	90834
	事故件数	件	2	2	1	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.044	0.016	36	0.044	275	0.044	100	
	臨時職員	0.180	0.160	89	0.188	118	0.188	100	
支出内訳	人件費	1,127,882	886,106	79	1,205,896	136	1,225,912	102	
	事業費	1,970,520	2,693,682	137	2,129,301	79	3,087,000	145	
	合計	3,098,402	3,579,788	116	3,335,197	93	4,312,912	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,098,402	3,579,788	116	3,335,197	93	4,312,912	129	
合計	3,098,402	3,579,788	116	3,335,197	93	4,312,912	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保険加入事業への参加者数							
指標説明(式)		保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	86624	87214	100.7	89108	102.2	90834	101.9	
	実績	79018	74149	93.8	78900	106.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

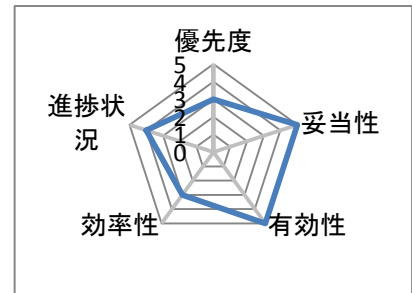
指標名1		保険加入事業への参加者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(保険料)÷保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	35	35	100.0	35	100.0	35	100.0	
	実績	24.8	30.0	121.0	26.98	89.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	万が一、事故が発生した場合に補償が得られる。	5
	期待する目標	市民が安心して、行事に参加できる。	
効率性	手段の最適性	これまで主管課が個別に加入していたが、一括して加入することにより事務の効率化及び加入漏れ等を防ぐことができる。	3
	執行体制の効率性	事業実施主管課と保険事務主管課が違うため、参加人数の把握等の事務処理がスムーズにできない現状がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事故の抑制に向け、注意喚起をしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	事業実施主管課における行事等の参加予定人数及び実績人数の適正な把握が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	庁内での実績報告・事故報告の迅速化を図るため、掲示板において喚起する。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020200		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	連合自治会事務局事業		予算事業名	地域自治支援事業	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす			担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市連合自治会に加入している市民						
	誰(何)を対象として	相生市連合自治会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市連合自治会の事務局として、各自治会の活動をサポートすることにより、健全なコミュニティの育成と活性化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市連合自治会の運営、総務会・総会の開催、上部団体への活動参加を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	総務会・総会の開催	回	12	12	12		
	県・国連合自治会	回	10	10	10		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.148	0.132	89	0.172	130	0.156	91	
	臨時職員	0.420	0.464	110	0.433	93	0.433	100	
支出内訳	人件費	2,510,570	2,552,694	102	2,839,130	111	2,812,154	99	
	事業費	4,830,760	5,763,520	119	2,312,970	40	2,415,000	104	
	合計	7,341,330	8,316,214	113	5,152,100	62	5,227,154	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,500,000	2,500,000	100		0		-	
	一般財源	4,841,330	5,816,214	120	5,152,100	89	5,227,154	101	
合計	7,341,330	8,316,214	113	5,152,100	62	5,227,154	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		連合自治会総務会(総会含む)の開催回数							
指標説明(式)		連合自治会総務会(総会含む)の開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	13	12	92.3	12	100.0	12	100.0	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2		連合自治会加入世帯数							
指標説明(式)		連合自治会加入世帯数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
世帯数	目標	10500	10100	96.2	10100	100.0	10000	99.0	
	実績	10099	9987	98.9	9877	98.9			

【効率性】

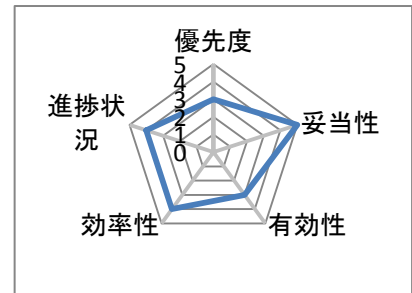
指標名1		連合自治会加入1世帯あたりに係る運営コスト							
指標説明(式)		事業費(宝くじ助成分除く)／連合自治会加入世帯数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	250	350	140.0	250	71.4		0.0	
	実績	231	327	141.6	234	71.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自治会への加入世帯が年々減少している。	3
	市民サービス	市民に必要な情報提供等を実施している。	
効率性	手段の最適性	自治会回覧は、市事業の市民への周知方法でいえば、広報紙に次ぐ、効果の高い方法である。	4
	手段の最適性	毎月、連合自治会総務会を開催することにより、連合自治会相互のコミュニケーションが図れる。また、行政側も情報提供、協力要請の場として有効である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に運営されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	相生市連合自治会に未加入の自治会への行政サービスが低下している



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	総務会で情報交換に努め、連合自治会への加入の意識を高める

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020300	事業の種類	7
年度	29	事務事業名	集会所等設置費助成事業	予算事業名	集会所等設置費助成事業 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 筆文
取組み事項		コミュニティ活動を活性化する		担当者名	志水 弘樹
実施計画事業名		集会所等設置費助成事業		実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市集会所等の設置助成に関する規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	自治会			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の活動拠点施設の整備費を助成することで、コミュニティ活動の活性化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		自治会の所有する集会施設の新築及び改修に要する経費(1/2)を助成				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成件数	件	3	1	5	8

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.068	81	0.068	100	
	臨時職員	0.040	0.016	40	0.024	150	0.024	100	
支出内訳	人件費	1,074,502	1,023,078	95	959,152	94	950,528	99	
	事業費	830,000	210,000	25	2,130,000	1,014	15,330,000	720	
	合計	1,904,502	1,233,078	65	3,089,152	251	16,280,528	527	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,904,502	1,233,078	65	3,089,152	251	16,280,528	527	
合計	1,904,502	1,233,078	65	3,089,152	251	16,280,528	527		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	5	5	100.0	5	100.0	8	160.0	
	実績	3	1	33.3	5	500.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

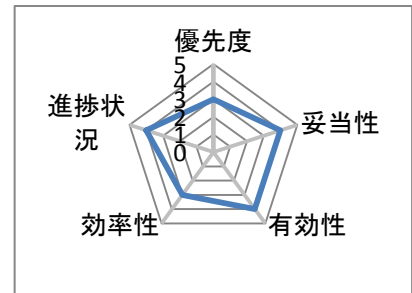
指標名1		助成1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費(助成額を除く)／助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	500000	166.7	500000	100.0	500000	100.0	
	実績	358167	1023078	285.6	191830	18.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	集会施設の改善により、地域住民が利用しやすくなり、サービス向上につながる。	4
効率性	負担割合の適正化	地域コミュニティが希薄化する中で、その核となる施設の改修費等にかかる事業費の1/2の負担は適当であるが事業内容についてチェックが必要と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	工事内容など建築担当と連携を図り自治会へより良い工事方法の提案などを行える体制を作る必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	市民ニーズが変化中、施設整備のほか施設利用のための設備助成も必要であるとの要望があるため検討する必要がある

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020400		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	地域コミュニティ活性化事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項	コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	地域住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民と行政による協同のまちづくりを推進するため、地域の課題に対する助言を行いコミュニティ活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域単位を小学校区とし、県民交流広場と連携しながら、地域課題を抽出し、課題の解決に取り組んでいけるよう支援することにより、地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	地域の現状、課題の把握	地区数	8	8	8	8	
	地域活動の支援	件数	8	8	8	8	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.040	0.020	50	0.024	120		0	
	臨時職員	0.040	0.004	10	0.004	100		0	
支出内訳	人件費	745,294	509,554	68	566,880	111	341,992	60	
	事業費	355,142		0					
	合計	1,100,436	509,554	46	566,880	111	341,992	60	
財源内訳	国庫支出金			-					
	県支出金	175,000		0					
	市債			-					
	その他			-					
	一般財源	925,436	509,554	55	566,880	111	341,992	60	
合計	1,100,436	509,554	46	566,880	111	341,992	60		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域の現状、課題の把握							
指標説明(式)		地域の現状、課題の把握							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2		地域活動の支援							
指標説明(式)		地域活動の支援							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			

【効率性】

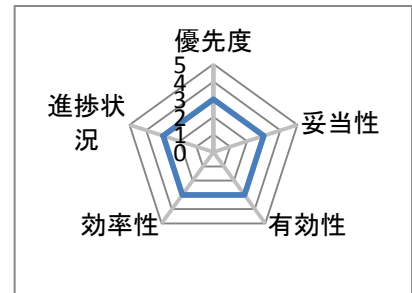
指標名1		地域活動団体における実施事業数							
指標説明(式)		地域活動団体における実施事業数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	60	60	100.0	60	100.0	50	83.3	
	実績	50	49	98.0	49	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新しい課題に取り組んでいる地域もある。	3
	市民サービス	住民の意見や自主性を誘発するきっかけになるため、住民サービスにつながる。	
効率性	執行体制の効率性	地域活動の推進について自治会会長等と連携をし活動の推進を行う。	3
	手段の最適性	行政主導型から、住民自発型に推進するためのパイプ役として必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	すぐに成果がでる事業ではないが、成果が表れた地域もあり、必要な施策である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	各地域において制度活用がなされ事業完了の目途がついた



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	H30から件において機器の更新のための支援が創設されるため相談体制の充実を図る

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020500		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	地縁団体事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項	コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方自治法第260条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自治会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地縁団体の認可を行うことで自治会名義で不動産登記が行うことができる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地縁団体の認可事務				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	地縁団体認可件数	件	0	0	1	
	証明書発行件数	件	3	6		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.040	0.020	50	0.024	120	0.048	200	
	臨時職員	0.040	0.012	30	0.012	100	0.016	133	
支出内訳	人件費	745,294	530,410	71	587,952	111	768,872	131	
	事業費			-		-		-	
合計		745,294	530,410	71	587,952	111	768,872	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	900		0		-		-	
	一般財源	744,394	530,410	71	587,952	111	768,872	131	
合計		745,294	530,410	71	587,952	111	768,872	131	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地縁団体認可件数							
指標説明(式)		許可件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

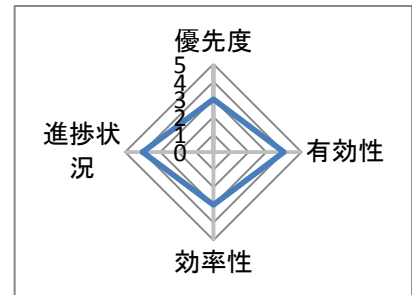
指標名1		認可1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費/認可件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	450000	450000	100.0	450000	100.0	450000	100.0	
	実績	745294	530410	71.2	587952	110.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	証明書の発行等、法令に基づいて事務処理を行う。	
効率性	コストの節減	事務の省力化に努めた。	3
	執行体制の効率性	件数が少ないため、手作業が有効であるが、事務処理の効率は悪い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に実施されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	認可に当たっての資料づくりは自治会には負担が大きい



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	事務マニュアルにより迅速かつ丁寧な業務を行う

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101020700	事業の種類	2
年度	29	事務事業名	佐方福祉センター維持管理事業	予算事業名	佐方福祉センター管理事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	宇久勝志	担当者名
取組み事項	コミュニティ活動を活性化する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市立佐方福祉センターの設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	佐方福祉センター			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地元住民の福祉向上に努めるとともに、センターの利便性を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉センターの維持管理事業(平成20年～ 地元佐方連合自治会へ指定管理)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	施設の点検	円	44,280	44,280	303280	44280
	遊具等の修繕等	円	280,800	86,400	298080	0
	管理委託料	円	749,386	741,718	751080	800000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.184	0.132	72	0.068	52	0.104	153	
	臨時職員			-	0.004	-		0	
支出内訳	人件費	1,721,942	1,343,046	78	906,472	67	1,168,376	129	
	事業費	1,074,466	872,398	81	1,352,440	155	877,000	65	
	合計	2,796,408	2,215,444	79	2,258,912	102	2,045,376	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,796,408	2,215,444	79	2,258,912	102	2,045,376	91	
合計	2,796,408	2,215,444	79	2,258,912	102	2,045,376	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用量							
指標説明(式)		年間利用件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	240	260	108.3	280	107.7	280	100.0	
	実績	269	275	102.2	286	104.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		指定管理に係る管理経費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	800,000	800,000	100.0	800,000	100.0	800000	100.0	
	実績	749,386	741,718	99.0	751080	101.3			

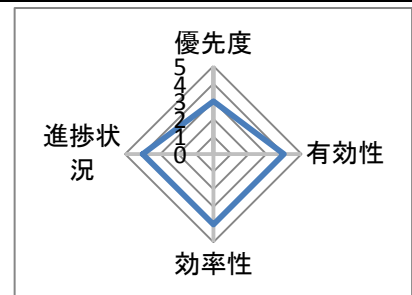
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	地域住民の福祉向上に貢献している。	4
効率性	コストの節減	施設の管理運営に対する経費負担等明確にすることにより、経費削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設について、老朽化してきており、適正な維持管理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	適正な維持管理を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030100	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	相生市定住促進PR事業	予算事業名	相生市定住促進PR事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室	
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	次代を担うかけがえのない子どもたちが夢と希望をもち健やかに育つために			
	誰(何)を対象として	子育て世帯・若者世帯			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの笑顔があふれ、子育てに喜びを実感できるよう、家庭、地域、学校、行政みんなが手を携え、地域全体で子育てを支えるまちを目指す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て応援都市・定住促進PRを市内外で実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	PRパンフレット配布	枚	3,000	3,000	3,000	3,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.936		0		-		-	
	臨時職員	0.320		0		-		-	
支出内訳	人件費	15,636,486	348,426	2	371,112	107	341,992	92	
	事業費	3,937,807		0	1,965,029	-	1,400,000	71	
	合計	19,574,293	348,426	2	2,336,141	670	1,741,992	75	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,574,293	348,426	2	2,336,141	670	1,741,992	75	
合計	19,574,293	348,426	2	2,336,141	670	1,741,992	75		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会増減数							
指標説明(式)		転入者数ー転出者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	92	33	35.9	-51	-154.5			
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		ポータルサイト(11の鍵)への訪問者件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15,000	17,000	113.3	17,000	100.0	15,000	88.2	
	実績	16,654	14,577	87.5	12,968	89.0			

【効率性】

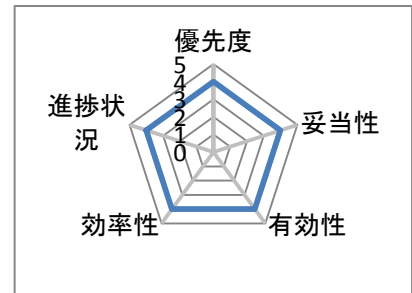
指標名1		PR数							
指標説明(式)		定住・子育て施策のPR実施手法数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
手法	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	10	12	120.0	11	91.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年度においては社会増となっており、定住施策を継続する中で、少なからず効果が表れたものと考えられる。	4
	成果の向上	より多くの方に発信できるよう様々な媒体の活用や、イベント等での個人への事業説明など、様々な角度から効果が高いと思われる手法により成果の向上に努めた。	
効率性	コストの節減	職員自らが集客力の高い施設等でイベントを行うことで、低コストで効果的なPRを実施した。	4
	手段の最適性	メディア等を通じPRすることにより、市外の方にも広く相生市の施策を知っていただく機会を得ることができるとともに、ホームページへの誘導を図ることが出来る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象とする世代への周知は広がっており、社会増減の減少幅は小さくなっているが、周知できている範囲は近隣市町にとどまっている現状もある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市外のターゲット層に対し、様々なアプローチにより効果的なPR手法の検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	イベント実施場所の新規開拓など、ターゲットに対しての直接的PRを実施する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030200	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業	予算事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業 優先度 4
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室	
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名 北條 麻梨香
取組み事項	まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		新婚世帯賃貸住宅家賃補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者			
	誰(何)を対象として	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		居住用住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で夫婦どちらかの年齢が40歳未満の世帯に対し、月額1万円を3年間で36万円交付する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	交付決定件数	件	301	278	241	280
	〃 (新規分)	件	96	61	74	75
	〃 (継続分)	件	205	217	167	205

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.140		0		-		-	
	臨時職員	0.200		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,896,534	348,426	18	371,112	107	341,992	92	
	事業費	25,440,000		0	21,030,000	-	25,530,000	121	
	合計	27,336,534	348,426	1	21,401,112	6,142	25,871,992	121	
財源内訳	国庫支出金	20,812,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,524,534	348,426	5	21,401,112	6,142	25,871,992	121	
合計	27,336,534	348,426	1	21,401,112	6,142	25,871,992	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	60	120.0	60	100.0	55	91.7	
	実績	56	41	73.2	51	124.4			
指標名2		新規交付決定件数のうち市外からの転入者数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	130	-	120	92.3	110	91.7	
	実績	136	82	60.3	113	137.8			

【効率性】

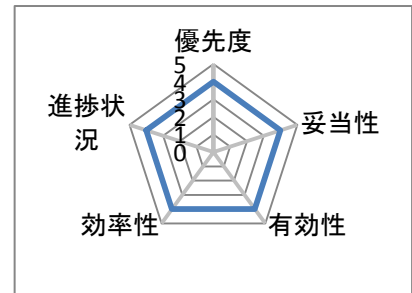
指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した不動産業者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
社	目標	30	25	83.3	25	100.0	25	100.0	
	実績	12	22	183.3	21	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用が促進でき、活力ある地域づくり、活気あるまちづくりに貢献している。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられるが、本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	毎年、住民票及び戸籍謄本等を添付して申請させることで要件を満たさなくなった者を除外でき、適正な運営とともにコストの節約を図っている。	4
	手段の最適性	制度のPRついて、不動産業者へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRの手段がとれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規交付者(転入者)の件数は前年度に比べると微増である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	他市町で行われている同内容の事業について研究し、差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業見直しの年度となるため、対象者や交付期間、金額等の内容を検討する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030300	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	相生市定住・移住相談事業	予算事業名	相生市定住・移住相談事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室	
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市に定住・移住の意思がある人			
	誰(何)を対象として	相生市に定住・移住の意思がある人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市に定住・移住を考える人に対し、相談会等を実施することで、転入促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市部での相談会へ参加し、移住を希望する人に対しで相生市の情報を提供した。また、市内を見学・体験するツアーを実施した。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	相談会等参加回数	回	-	2	1	2
	体験ツアー実施回数	回	-	2	0	1

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		348,426	-	371,112	107	341,992	92	
	事業費			-	545,880	-	414,000	76	
	合計		348,426	-	916,992	263	755,992	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		348,426	-	916,992	263	755,992	82	
合計		348,426	-	916,992	263	755,992	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会増減数							
指標説明(式)		転入者数－転出者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	92	33	35.9	-51	-154.5			
指標名2		相談件数							
指標説明(式)		相談会及び窓口、電話等での移住に関する相談件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	-	-	35	-	35	100.0	
	実績	18	32	177.8	40	125.0			

【効率性】

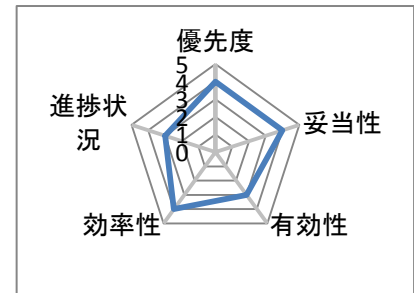
指標名1		体験ツアー参加者数							
指標説明(式)		相生市を見学・体験するツアーの参加者数(2回累計)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	20	-	10	50.0	
	実績	-	19	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	相談会等では個々の相談内容に応じた対応ができています。	3
	成果目標(改善)達成度	ターゲットとする子育て世代の参加数は少ないため、周知方法の改善が必要である。	
効率性	手段の最適性	兵庫県や西播磨県民局が主催する相談会へ参加することで、より広域的に情報発信ができています。	4
	執行体制の効率性	ターゲット層を顧客にもつ事業者と連携して事業が実施できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	開催時期等については概ね計画通りに進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	ターゲット層とする子育て世代へのツアー告知のため、PRイベントや広告など他事業とも連携させた周知方法の改善が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	周知方法だけではなく、実施内容や時期等も再度研究し、目的とするターゲットの参加者を増加させる。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030400		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業 優先度 5	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市定住者住宅取得奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	誰(何)を対象として	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者及び転入者の住宅取得を容易にし、定住の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内在住の40歳未満の世帯又は市外からの転入世帯が、市内に住宅を新築又は購入した場合に、最大で80万円を交付する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	交付決定件数	件	135	205	280	354
	〃 (新規分)	件	47	70	77	75
	〃 (継続分)	件	88	135	203	279

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.132		0		-		-	
	臨時職員	0.120		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,635,158	348,426	21	371,112	107	341,992	92	
	事業費	14,920,000		0	30,830,000	-	39,670,000	129	
	合計	16,555,158	348,426	2	31,201,112	8,955	40,011,992	128	
財源内訳	国庫支出金	9,794,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,761,158	348,426	5	31,201,112	8,955	40,011,992	128	
合計	16,555,158	348,426	2	31,201,112	8,955	40,011,992	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	30	150.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	33	17	51.5	30	176.5			
指標名2		新規交付決定件数のうち市外からの転入者数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績	107	57	53.3	90	157.9			

【効率性】

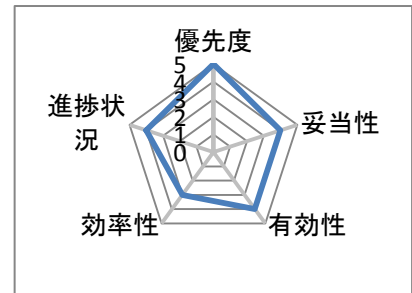
指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した住宅メーカー数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
社	目標	45	45	100.0	45	100.0	45	100.0	
	実績	14	41	292.9	44	107.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新規交付件数のうちの転入者の割合は昨年度より増加し、30%を超えている。また、新婚世帯家賃補助金からの切り替えの割合についても25%程度を維持しており、転入促進、転出抑制になっていると考えられる。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられる。若い世代が定住先を選択し、住宅を新築・購入する上では本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	迅速かつ効率的に審査が行えている。	3
	手段の最適性	住宅メーカー等へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRが図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子育て世帯の転入促進、転出抑制に効果がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	他市町で行われている同内容の事業について研究し、差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業見直しの年度となるため、対象者や交付期間、金額等の内容を検討する。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030500	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	宅地供給促進助成金交付事業	予算事業名	宅地供給促進助成金交付事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部定住促進室	
施策名(中)	市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市宅地供給促進助成金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化区域内に農地を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人			
	誰(何)を対象として	市街化区域内に農地を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市街化区域内の土地の利活用を促進し、宅地供給の増加を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要	市街化区域内に所有する面積500平方メートル以上の農地等を3区画以上の住宅分譲地整備を行うために売却した個人に対し、1契約ごとに譲渡価額から取得費及び譲渡費用、特別控除額を差し引いた譲渡所得金額の3%を助成する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	宅地供給促進助成金交付決定件数	件	0	1	3	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.020		0	-	-	-	-	
	臨時職員	0.000		-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	494,894	348,426	70	371,112	107	341,992	92	
	事業費	0		-	1,844,500	-	1,000,000	54	
	合計	494,894	348,426	70	2,215,612	636	1,341,992	61	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	494,894	348,426	70	2,215,612	636	1,341,992	61	
合計	494,894	348,426	70	2,215,612	636	1,341,992	61		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	整備区画数								
指標説明(式)	助成対象により分譲地として整備された区画数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	10	100.0	10	100.0	5	50.0	
	実績	0	4	-	23	575.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		分譲地整備届出件数							
指標説明(式)		分譲地整備を目的とする開発届出及び農地転用届出件数(助成対象外含)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	5	5	100.0	5	100.0	2	40.0	
	実績	2	4	200.0	2	50.0			

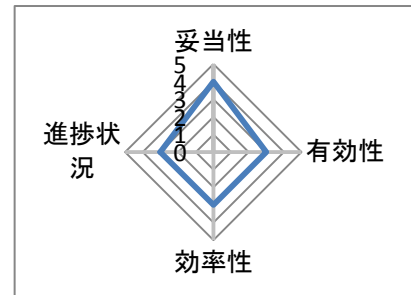
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	面積や区画数に制限があり、調査対象にはあがるものの、助成対象に至るケースは少ない。	3
	市民サービス	土地売却益による譲渡所得に係る市民税(3%)相当額を助成することで、有効な土地活用が期待できる。	
効率性	手段の最適性	不動産事業者へはチラシ、所有者へはホームページや広報紙での周知となっており、さらなる周知の必要がある。	3
	執行体制の効率性	開発届出や農業委員会提出議案の確認などにより、対象者への周知を適正に行えている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請者に対して速やかに助成金が執行されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	15

【効率性】

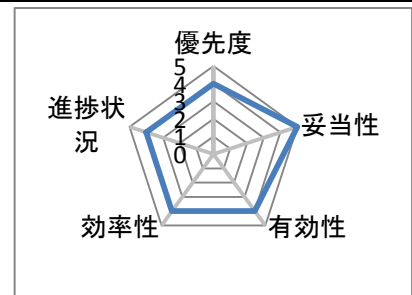
指標名1		アクションプログラムの結果に対するヒアリング							
指標説明(式)		相生市もつと活力上昇計画におけるアクションプログラム結果に対する進捗ヒアリング							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	2	-	2	100.0	
	実績	-	-	-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	地域創生の大きな目標である人口減少対策において、出生数は維持することができているが、社会増減については社会減という結果であった。	4
	上位施策への貢献度	最上位計画である総合計画の目標達成に向け、実効性を伴った戦略を進めることは市によってプラスである。	
効率性	コストの節減	国及び県の地域創生関連交付金を活用できるよう事業展開の検討を行った。	4
	執行体制の効率性	アクションプログラムを策定することで、具体的な進捗状況の管理ができている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目標に向けて概ね順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域創生としての活性化のため、交流人口の増加が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	シティプロモーションを継続するとともに、交流拠点の連携に向けた取り組みを検討する。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101030700	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	シティプロモーション事業	予算事業名	シティプロモーション事業 優先度 4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		まち・ひと・しごとによる人口減少対策を行う		担当者名	北條 麻梨香
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内外に住むすべての人			
	誰(何)を対象として	市内外に住むすべての人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の魅力を広域に発信することにより、市の知名度とイメージを向上させることで交流人口・定住人口の増加を図り、人口減少を抑制する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		様々な媒体を活用したプロモーションを展開し、市の知名度とイメージを向上させる。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	テレビCM放映回数	回	-	100	100	100
	映画館CM放映回数	回	-	11,015	4,866	5,100
	イベント時パンフレット配布数	部	-	703	931	900
	推進協議会	回	-	1	2	2

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.380	-	0.636	167	0.720	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		3,211,726	-	5,279,760	164	6,063,112	115	
	事業費		11,932,362	-	7,446,300	62	6,600,000	89	
	合計		15,144,088	-	12,726,060	84	12,663,112	100	
財源内訳	国庫支出金		11,866,912	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		3,277,176	-	12,726,060	388	12,663,112	100	
合計		15,144,088	-	12,726,060	84	12,663,112	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会増減数							
指標説明(式)		転入者数－転出者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	92	33	35.9	-51	-154.5			
指標名2		ホームページ閲覧数							
指標説明(式)		相生市ホームページへの訪問者件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	-	-	450,000	-	455,000	101.1	
	実績	441,326	446,525	101.2	450,280	100.8			

【効率性】

指標名1		映画館CM(シネアド)放映時の観客動員数							
指標説明(式)		映画館CM(シネアド)放映時の観客動員数(アースシネマズ姫路、OS神戸ハーバーランド)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	170,000	-	230,000	135.3	
	実績	-	364,418	-	199,044	54.6			

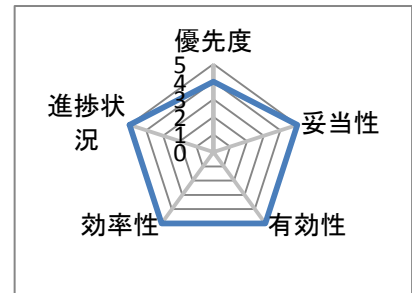
指標名2		プロモーション動画再生回数							
指標説明(式)		YouTubeでのプロモーション動画再生回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	20,000	-	22,000	110.0	
	実績	-	7,000	-	15,774	225.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	社会減となっているものの、出生数は維持されており、ターゲット層である子育て世代の転に対して、市の魅力である子育て応援都市のPR効果が表れていると考えられる。	5
	成果の向上	様々なメディア媒体を連携させて活用することで、市外の人にも広く相生市を知ってもらう機会を得ることができるとともに、ホームページへの誘導を図ることが出来た。	
効率性	手段の最適性	より多くの人に発信できるよう様々な媒体の活用や、イベント等での個人への事業説明など、様々な角度から効果が高いと思われる手法により成果の向上に努めた。	5
	コストの節減	プロモーションのために大きな費用を要しているが、映画館やYouTubeといった広域的な媒体を活用することで、多くの人に知ってもらうことができ、費用対効果は高いと考える。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	推進協議会において関係機関と連携を図りながら、市としてのシティプロモーションの方向性を示した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新たな情報発信ツールを研究するなど、ターゲット層の目にとまるプロモーションが必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	広域的な発信に加え、SNSなどの個人ツールの活用など、より多くの人々の目にとまるようなプロモーションを行う。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102010100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	広報事業		予算事業名	広報事業	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	寺田 知広	
取組み事項	情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民					
	誰(何)を対象として	全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政に関する様々な情報を提供することにより、市政への関心度を高め、住民参加、協働のまちづくりの支援の役割を果たす。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		月1回の広報紙の発行により市民への情報提供を行うとともに、報道各社への情報提供により市外への発信も行っている。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	広報紙発行	部	164400	164700	1680000	168000
	報道各社への情報提供	件	240	270	235	250

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.652	0.752	115	0.552	73	0.432	78	
	臨時職員	0.560	0.560	100	0.560	100	0.880	157	
支出内訳	人件費	6,634,158	7,474,666	113	6,106,488	82	6,275,624	103	
	事業費	6,590,433	6,595,063	100	6,142,181	93	7,270,000	118	
	合計	13,224,591	14,069,729	106	12,248,669	87	13,545,624	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,224,591	14,069,729	106	12,248,669	87	13,545,624	111	
合計	13,224,591	14,069,729	106	12,248,669	87	13,545,624	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広報紙の総発行部数							
指標説明(式)		1回あたりの発行部数×月1回×12ヶ月							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	164,400	164,400	100.0	168,000	102.2	168,000	100.0	
	実績	164,400	164,700	100.2	168,000	102.0			
指標名2		報道各社への情報提供							
指標説明(式)		情報提供件数(市以外の機関からの情報提供を除く)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	250	250	100.0	270	108.0	250	92.6	
	実績	240	270	112.5	235	87.0			

【効率性】

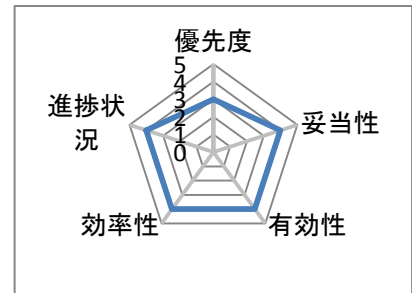
指標名1		広報紙発行コスト							
指標説明(式)		一部当たりの単価 (印刷製本費－有料広告費)÷(発行部数) (有料広告は、平成17年度から採用)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30	30	100.0	25	83.3	20	80.0	
	実績	23.9	21.8	91.2	20.4	93.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	広報紙は、市政に関わる情報を中心とし、市民にとって読みやすいように編集している。また、今年度からInstagramを開始しており、インターネットサービスやアプリへの掲載などと合わせて、市外に向けた情報発信も行っている。	4
	市民サービス	全世帯への配布により、市民全てが情報を入手できる状態にある。新聞社5社及びNHKに情報を提供し、報道機関を活用した情報発信も行っている。	
効率性	コストの節減	広報紙については、有料広告の採用と紙面の削減によって、発行コストの大幅な削減に繋がっている。	4
	手段の最適性	市政情報を全世帯へお知らせできる重要な手段である。SNSの活用や報道各社による記事掲載により市外に向けた情報発信も行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	有料広告の募集、市内コンビニ店等への広報紙配置を実施	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	普段、広報紙を読んでいる人たちに手に取ってもらえるような工夫が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	SNSでの発信を含め、積極的に手に取ってもらえるような紙面を作成する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102010200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	まちかど出前講座事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	寺田 知広
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(行政情報を発信することによる市民と協働のまちづくりの実現)					
	誰(何)を対象として	全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政情報や行政の施策を直接説明することで、市政に対する関心を高めて、市民参加の協働のまちづくりを進める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市内に在住している中学生以上の10人以上のグループ等の求めに応じ、普段、市政について疑問に思っていることなど、市職員がわかりやすく説明を行っている。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	まちかど出前講座	人	1995	369	384	400	
	まちかど出前講座回数	回	18	11	14	15	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.032	67	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100		0	
支出内訳	人件費	754,770	762,246	101	794,256	104	596,264	75	
	事業費			-		-		-	
合計		754,770	762,246	101	794,256	104	596,264	75	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	754,770	762,246	101	794,256	104	596,264	75	
合計		754,770	762,246	101	794,256	104	596,264	75	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均受講者数							
指標説明(式)		延べ受講者数÷延べ講座開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	35	30	85.7	35	116.7	30	85.7	
	実績	111	34	30.6	27	79.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

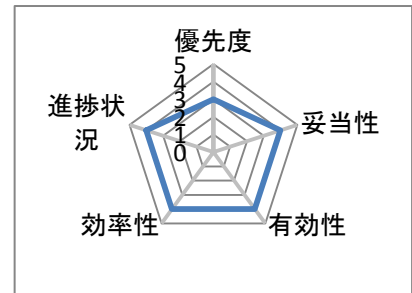
指標名1		講座1回あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費÷延べ講座開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	45000	40000	88.9	40000	100.0	40000	100.0	
	実績	41932	69295	165.3	56733	81.9			
指標名2		参加者一人あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費÷延べ受講人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1500	500	33.3	1000	200.0	1000	100.0	
	実績	378	2065	546.3	2068	100.1			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	担当市職員による説明と質疑応答などの対話を通じて、より市政に対する理解が深まる。	4
	期待する目標	講座を行うことで、市政に対する理解を深め、市民と協働のまちづくりを目指している。	
効率性	手段の最適性	時代や市民のニーズに合った講座内容にしている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	毎年、継続して周知しており、会議や集まりの場でよく活用されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	活用いただいている団体がある程度限られている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	様々な年齢層に幅広く周知し、利用数を増やすことが必要である。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102010300		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	情報公開・個人情報保護等事業		予算事業名	情報公開・個人情報保護等事業 優先度 3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	三宅 淳一 担当者名 宮崎 良資			
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市情報公開条例 個人情報保護条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民						
	誰(何)を対象として	すべての市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政に係る情報を公開することにより、市民の市政参加を促進し、市政に対する市民の信頼と理解が深まるようになる。公開請求した公文書が適格に公開され、希望する情報が入手で						

2 事業の概要 Do

実施の概要		情報公開・個人情報保護事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	公文書公開請求件数	件	15	13	20	20
	公文書公開件数	件	13	11	18	20
	個人情報開示請求件数	件	3	2	5	5
	個人情報開示件数	件	3	2	2	5

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.052	0.072	138	0.080	111	0.140	175	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	734,318	890,946	121	988,552	111	1,454,432	147	
	事業費	64,380	9,680	15	0	0	321,000	-	
	合計	798,698	900,626	113	988,552	110	1,775,432	180	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	798,698	900,626	113	988,552	110	1,775,432	180	
合計	798,698	900,626	113	988,552	110	1,775,432	180		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公開件数							
指標説明(式)		年度内の公開件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	15	150.0	20	133.3	
	実績	13	11	84.6	18	163.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

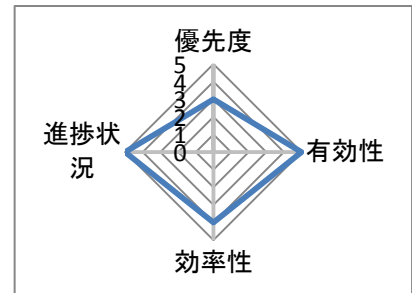
指標名1		公開1件当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/公開件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	91453	128222	140.2	85600	66.8	88771	103.7	
	実績	61438	81875	133.3	54919	67.1			
指標名2		公開率							
指標説明(式)		公開件数(部分公開含む)/公開請求件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	89	85	95.5	90	105.9			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、20件の公開請求があり、公開7件、部分公開11件、文書不存在2件となっており、適正に公開できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	条例に基づき、公開できる行政情報については、情報公開できた。	
効率性	コストの節減	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果として捉えることは難しいと考えるが、請求件数は増となり、コストは減となった。	4
	執行体制の効率性	現行の状態以最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き実施していく。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後、情報公開件数の増加及び請求文書の複雑化などが予想されるが、遅滞なく事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	請求された公文書を情報公開条例に基づき、迅速・的確に開示する。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102010400		事業の種類	0	
年度	29	事務事業名	地価公示閲覧事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課			
施策名(中)	情報提供の充実を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	竹内 佐輝子	
取組み事項	情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地価公示法、地方自治法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	正常な価格などに関する情報を入手・利用したい人					
	誰(何)を対象として	窓口来庁者並びに電話での問い合わせでの依頼者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	正常な価格を公示し、一般の土地の取引価格に対しての指標、及び公共の利益となる土地に対する適正な補償金の額の算定等に資し、適正な地価の形成に寄与すること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		・地価公示標準地数・閲覧者数				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	地価公示標準地数	点	12	12	12	12
	閲覧者数	人	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		閲覧者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人当たりの閲覧者にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費÷閲覧者数(予定閲覧者数10名)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30911	31644	102.4	33099	104.6	34199	103.3	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	来庁し、閲覧を希望する者がいなかったため、変化は生じていない。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	地価公示法第7条第2項の規定に則し、一般の閲覧に供し得る状態である。	
効率性	手段の最適性	閲覧者がいないため、閲覧場所(税務課1箇所)を継続する。	3
	執行体制の効率性	妥当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	必要とされるレベルに到達している。	4

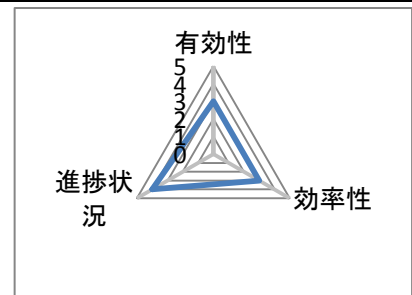
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき適切に遂行されているため、現状の体制を維持していく。



配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102010500	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	ホームページ整備事業	予算事業名	ホームページ整備事業 優先度 3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)	情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名 寺田 知広
取組み事項	情報発信力を強化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		ホームページ保守		ホームページ更新	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人			
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を更新し、提供できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		CMSを使ったホームページの運用を行っている。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	ホームページ更新件数	件	2513	1997	2340	
	アクセス件数	件	441326	446525	450280	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.216	108	
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.100	100		0	
支出内訳	人件費	2,093,554	2,116,126	101	2,178,112	103	2,058,328	95	
	事業費	2,020,464	2,020,464	100	4,364,064	216	2,021,000	46	
	合計	4,114,018	4,136,590	101	6,542,176	158	4,079,328	62	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,114,018	4,136,590	101	6,542,176	158	4,079,328	62	
合計	4,114,018	4,136,590	101	6,542,176	158	4,079,328	62		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページへのアクセス件数(1月あたり)							
指標説明(式)		年間アクセス数÷12							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	38000	38000	100.0	38000	100.0	38000	100.0	
	実績	36777	37210	101.2	37523	100.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

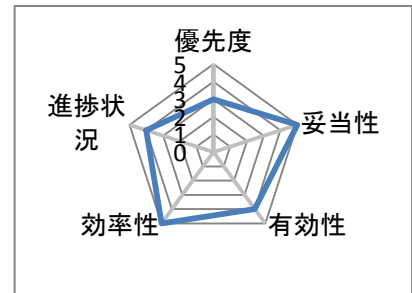
指標名1		1アクセスに要する経費							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷年間アクセス数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9	9	100.0	9	100.0		0.0	
	実績	9	9	100.0	14.5	161.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市内外の人が求める情報を見つけやすく、かつ分かりやすいページを作成する。	4
	市民サービス	それぞれの業務担当において、市民のニーズに迅速に対応できる情報提供が可能となっている。	
効率性	手段の最適性	担当部署でCMSを操作してアップできるため、迅速に情報を提供できる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ニーズに合ったページとなるよう、ホームページのチェックとCMSの操作指導などを個別に行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	見たい情報がホームページ上にあるか、探しやすいものになっているかを図る手段がない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ホームページのしくみや見出し、サブサイトなど見やすいページとなるよう、担当者の意識向上を目指す。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102020100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	市民対話事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	寺田 知広
取組み事項		広聴活動を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(各種団体を含む)					
	誰(何)を対象として	全市民(各種団体を含む)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市長等が地域に出向き市政運営について意見交換し、市民との参画と協働を進めていく。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		原則、小学校区単位で、市長以下市幹部が地元に出向き、市政について意見交換を実施。また、市民からの申し込みがあった場合や重要な施策展開を行う場合に実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	コスモトーク	回数	23	10	10		
	参加人数	人	703	484	423		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.340	89	0.400	118	
	臨時職員	0.280	0.280	100	0.280	100	0.120	43	
支出内訳	人件費	3,893,734	3,941,686	101	3,732,752	95	3,861,432	103	
	事業費			-		-		-	
合計		3,893,734	3,941,686	101	3,732,752	95	3,861,432	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,893,734	3,941,686	101	3,732,752	95	3,861,432	103	
合計		3,893,734	3,941,686	101	3,732,752	95	3,861,432	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		コスモトーク開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	23	10	43.5	10	100.0	10	100.0	
	実績	23	10	43.5	10	100.0			
指標名2		コスモトーク出席者数							
指標説明(式)		年間出席者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	570	81.4	500	87.7	450	90.0	
	実績	703	484	68.8	423	87.4			

【効率性】

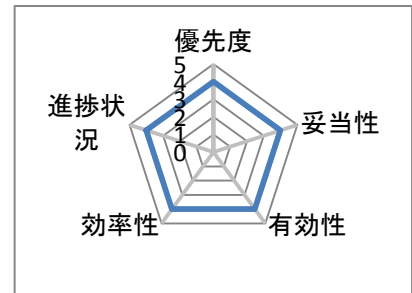
指標名1		参加者1人あたりコスト							
指標説明(式)		開催費用(人件費相当額)÷参加人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4000	7400	185.0	8000	108.1	8000	100.0	
	実績	5538	8144	147.1	8824	108.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	直接、市長と対話することで、市政への理解が深まり、行政の役割や市民自らがやるべきことが明確になった。	4
	市民サービス	市政の説明をすることで、市の現状を理解いただき、その後の質疑応答での活発な意見交換につながっている。	
効率性	手段の最適性	小学校区及び自治会単位だけでなく金ヶ崎学園大学や各種団体などに参加促進を行い、幅広く声かけを行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	毎年実施しており、継続して幅広く周知を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	より幅広い年代の人に参加いただくことが課題である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	幅広く参加いただくための事業のあり方を検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060102020200		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	市民要望意見収集事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名		
取組み事項	広聴活動を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	広く市民や各種団体からの陳情・要望等を受け、住民の市政に対するニーズを把握することにより、効率的な住民サービスを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内9カ所に設置した投書箱での意見収集及びメール等による意見収集を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	コスモスの箱	件	19	10	7	
	メール	件	26	26	33	
	陳情・要望等	件	23	25	20	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100		0	
支出内訳	人件費	1,044,574	1,055,506	101	1,093,912	104	977,672	89	
	事業費			-		-		-	
合計		1,044,574	1,055,506	101	1,093,912	104	977,672	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,044,574	1,055,506	101	1,093,912	104	977,672	89	
合計		1,044,574	1,055,506	101	1,093,912	104	977,672	89	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

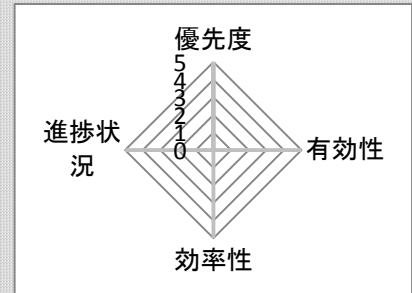
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060103010100	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	行政評価システム推進事業	予算事業名	行政評価システム推進事業 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		行政経営を推進する		担当者名	北條 麻梨香
実施計画事業名		行政評価システム改修事業		実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	庁内組織			
	意図(どのような状態にしたいのか)	NPMの考えのもと行政評価を適切に運用し、成果重視の行政運営になり、従来の削減型行政改革では解決しない課題について、一定のデータのもと戦略的な自治体経営をする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		行政活動を妥当性、有効性、効率性などの面から客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるため全事務事業及び施策について評価を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	事務事業評価	事業	546	543	537	540
	職員研修	回	0	0	0	0
	施策評価	施策	165	165	169	169
	第三者評価対象	-	7事務事業	11事務事業	9事務事業	11事務事業

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.312	0.296	95	0.332	112	0.280	84	
	臨時職員	0.040		0		-		-	
支出内訳	人件費	2,780,398	2,578,786	93	2,933,488	114	2,566,872	88	
	事業費	659,480	646,500	98	657,580	102	709,000	108	
	合計	3,439,878	3,225,286	94	3,591,068	111	3,275,872	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,439,878	3,225,286	94	3,591,068	111	3,275,872	91	
合計	3,439,878	3,225,286	94	3,591,068	111	3,275,872	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業の改革改善率							
指標説明(式)		100-(継続事業本数÷総事業本数×100)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	15	150.0	15	100.0	
	実績	5.1	15.8	309.8	14.9	94.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

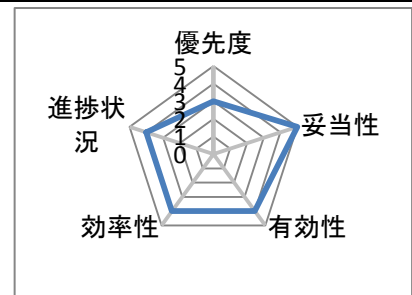
指標名1		ヒアリングに要した時間数							
指標説明(式)		行政改革推進委員会及び第三者評価委員会による評価結果ヒアリング時間数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	16	16	100.0	16	100.0	16	100.0	
	実績	20	14	70.0	14	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第三者評価等で指摘のあった事業について、統廃合や内容の見直しを行うなど評価結果に対してフィードバックを行っている。	4
	市民サービス	事務事業評価の全事業を一覧表としてホームページにて公表し、市民へ周知することにより、行政運営の透明性を高めた。	
効率性	手段の最適性	システムを活用した評価を行うことで、財務データとの整合性を高めることができ、また各種計画とも連携を図ることができるため手段として適切である。	4
	執行体制の効率性	システムの導入により作業が簡素化されてはいるものの、各体系データの修正等、手作業で行う必要がある部分について効率性の向上を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	評価の各段階で軽微なシステム修正は行ったものの、概ね計画通り実施できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新規・廃止事業のシステムへの反映は手作業となっており、各担当課への確認・調整に時間を要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務分掌変更に伴う施策体系等の編集、財政データとの突合など、評価時期までに計画的な準備を行う。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060103010200	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	公共施設マネジメント推進事業	予算事業名	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる		担当課長	
取組み事項		行政経営を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	相生市所有の公共施設及びインフラ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口減少・厳しい財政状況のなかで老朽化した施設の計画課的な更新及び施設量の適正配置			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市有の公共施設の現状を把握するだけでなく、今後の人口や財源などを考慮したなかで総量圧縮や多機能化、長寿命化を含めた公共施設のマネジメント計画を策定する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	公共施設数	施設	110	110	111	111
	下水施設数	施設	13	13	13	13
	公共施設床面積	m ²	128,457	128,457	129,511	129,511
	下水関係施設床面積	m ²	10,321	10,321	10,321	10,321

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.124		0					
	臨時職員	0.040		0					
支出内訳	人件費	1,373,782	348,426	25	371,112	107	341,992	92	
	事業費								
	合計	1,373,782	348,426	25	371,112	107	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金				0		0		
	県支出金				0		0		
	市債				0		0		
	その他				0		0		
	一般財源	1,373,782	348,426	25	371,112	107	341,992	92	
合計	1,373,782	348,426	25	371,112	107	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		適正床面積							
指標説明(式)		保有床面積縮減目標を設定する。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	45.0	-	45.0	100.0	-	-	
	実績	-	-	-	45.0	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

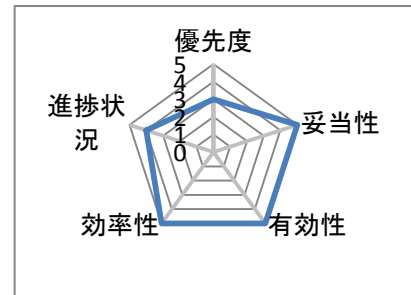
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		公共施設に係る維持管理経費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	1,000,000	-	1000000	100.0	
	実績	1,040,000	868515	83.5		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	施設の適正化に向けた施設総量の削減目標が設定できたので、今後は個別計画の策定に向けて、施設間の優先順位付けを行っていき、さらに有効である。	5
	市民サービス	施設の床面積縮減のために市民サービスの低下にならないよう公共施設が持つ機能を複合・集約することは有効である。	
効率性	手段の最適性	民間活力活用が目標達成のためには効率的である。	5
	コストの節減	維持管理経費、更新経費等の将来コストの縮減が大きな目的であり、計画どおりに進捗させることが効率的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公共施設等総合管理計画によって取り組みを進める。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実行計画である個別計画の策定が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	個別計画の策定に向けて、施設間の優先順位付けを行っていく必要がある。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060103020100		事業の種類	4			
年度	29	事務事業名	行政改革推進事業		予算事業名	行政改革事業		優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる			担当課長	松尾 次郎		担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		費用対効果を精査する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	庁内組織							
	意図(どのような状態にしたいのか)	分権時代にふさわしい計画的で効率的な行財政運営を図り、市民サービスが向上するようになる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		事務改善等による行政改革 第3期相生市行財政健全化計画の推進(平成28年度～32年度)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	行政改革懇話会	回	2	1	1	1	
	本部会及び委員会	回	7	4	2	3	
	アウトソーシング検討委員会	回	2	4	3	3	

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100		
	参事以下職員	0.112	0.060	54	0.052	87	0.040	77		
	臨時職員	0.020		0		-		-		
支出内訳	人件費	1,233,618	800,526	65	772,448	96	659,832	85		
	事業費	93,400	46,100	49	38,500	84	47,000	122		
	合計	1,327,018	846,626	64	810,948	96	706,832	87		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,327,018	846,626	64	810,948	96	706,832	87		
合計	1,327,018	846,626	64	810,948	96	706,832	87			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		指定管理者導入施設数								
指標説明(式)		アウトソーシングとして民間活力活用施設数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
施設	目標	19	19	100.0	18	94.7	18	100.0		
	実績	19	19	100.0	18	94.7				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

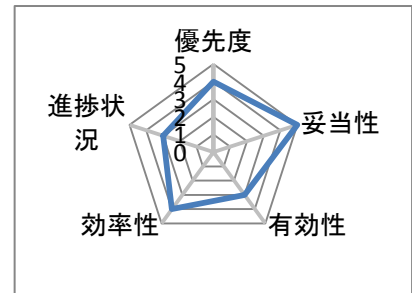
指標名1		重点見直し事業数							
指標説明(式)		第3期行財政健全化計画							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	-	9	-	13	144.4	7	53.8	
	実績	-	9	-	13	144.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	積極的な民間活力を目標としているが、新たな施設開設においては直営施設となっている。	3
	組織運営・適正管理	行政改革として全庁的な業務改善のため、制度設計の見直しが必要であるが、不十分である。	
効率性	手段の最適性	行財政改革を組織横断として、財政課と連携して進めることは効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	第3期行財政健全化計画については概ね計画どおり進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	効率的な行政運営となるような制度連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各種制度の連携を図り、行政改革を推進する。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060103030100	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	市有財産管理事業	予算事業名	市有財産管理事業 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる		担当課長	大西 博之
取組み事項		資産の有効活用を図る		実施計画への記載	有
実施計画事業名		奥の寺池改修工事		市有地整備事業	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、法人、各種団体等			
	誰(何)を対象として	公有財産を統括し、普通財産の有効活用、取得処分及び適正管理を図る。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅用地・駐車場用地等の提供。 適正管理による良好な居住環境の整備。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		普通財産の管理、貸付け、取得処分等の推進				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	管理面積	m ²	3856626	3857206	3857177	3850434
	有償貸付面積	m ²	50359	52064	52784	52784
	無償貸付面積	m ²	62242	62242	62242	62242
	売却面積	m ²	1435	325	1509	6743

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.880	0.920	105	0.680	74	0.760	112	
	臨時職員	0.320	0.320	100	0.320	100	0.320	100	
支出内訳	人件費	7,735,494	8,114,866	105	6,462,232	80	7,290,392	113	
	事業費	36,680,229	67,955,475	185	10,268,530	15	13,471,000	131	
	合計	44,415,723	76,070,341	171	16,730,762	22	20,761,392	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	0	44,702,280	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	33,558,770	31,368,061	93		0		-	
	一般財源	10,856,953	0	0	16,730,762	-	20,761,392	124	
合計	44,415,723	76,070,341	171	16,730,762	22	20,761,392	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		未利用地の活用促進状況							
指標説明(式)		(有償貸付面積+無償貸付面積)÷管理面積							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.9	2.9	100.0	3.0	103.4	3.0	100.0	
	実績	2.9	3.0	103.4	3.0	100.0			
指標名2		土地売却料及び貸付料収入の増減							
指標説明(式)		土地売却料+貸付料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	175172141	149661149	85.4	150664149	100.7	148608149	98.6	
	実績	95102002	43371588	45.6	35942712	82.9			

【効率性】

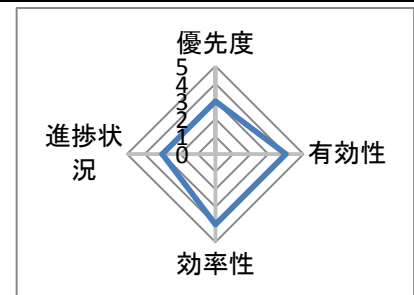
指標名1		1㎡当りの管理経費の増減							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷管理面積							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	29.2	24.7	84.6	5.0	20.2	5.4	108.0	
	実績	11.5	19.7	171.3	4.3	21.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業用地として2件4筆1509.56㎡を売却した。	4
	期待する目標	普通財産の売却や有効活用の推進による、定住化の促進と税込・賃貸料等の増加が期待できる。	
効率性	コストの節減	草刈り等の管理については、できるだけ職員が実施するなど、経費コストの節減に努めた。	4
	負担割合の適正化	土地の売却については、相生市不動産価格審議会の諮問により最低売却価格決定し、貸付料については、固定資産税の評価替の翌年度に改定することで価格の適正化を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	草刈り等の市有地管理は、概ね適正に対応している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	過大地やがけ地等のため、個人への売却は不向きな土地が売れ残っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地下下落の動向を踏まえ、価格の見直しを行うとともに、売却困難な土地については、借地による有効活用等を検討する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060103040100		事業の種類	3				
年度	29	事務事業名	広域行政事業		予算事業名	広域行政事業		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		改革に挑戦する市役所をつくる			担当課長	松尾 次郎		担当者名	北條 麻梨香	
取組み事項		効率的で実践的な広域連携システムの推進			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	広域圏域の住民								
	誰(何)を対象として	周辺市町村との連携								
	意図(どのような状態にしたいのか)	広域的な住民活動や産業活動などができる								

2 事業の概要 Do

実施の概要		加入している各広域団体で、広域的に必要な取り組みに対して要望を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	兵庫県市長会	回	2	2	2	2	
	西播磨市町長会	回	2	2	2	2	
	山陽本線沿線市町連絡会	回	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.012	75	
	臨時職員	0.008		0	-	-		-	
支出内訳	人件費	485,118	468,986	97	494,600	105	437,344	88	
	事業費	164,000	153,820	94	214,280	139	153,000	71	
	合計	649,118	622,806	96	708,880	114	590,344	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	649,118	622,806	96	708,880	114	590,344	83	
合計	649,118	622,806	96	708,880	114	590,344	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広域的な協議会への参画数							
指標説明(式)		各協議会数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
-	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

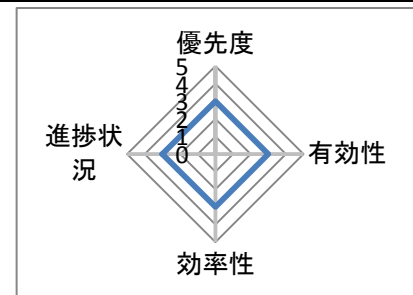
指標名1		広域団体としての要望手段数							
指標説明(式)		西播磨市町長会等の広域団体での要望手段数(西播磨市町長会、兵庫県市長会、山陽本線沿線市町連絡会)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
-	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市町単独での解決が困難な課題に対して広域的に要望を提出することにより、圏域の問題として国や県へ認識され、早期の取り組みが期待できる。	3
	成果目標(改善)達成度	連携中枢都市圏という枠組みは有効であるが、連携事業における取組の成果としては十分とはいえない。	
効率性	執行体制の効率性	要望活動等については、幹事市が持ち回りであるため効率的である。	3
	負担割合の適正化	それぞれの団体における負担割合は、自治体規模等からみて適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね広域的に取り組む事項は網羅している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	具体的な成果として繋げることが困難となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	要望事項及び連携事業においても、社会情勢にあった前進するものに随時見直しを行っていく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060104010100		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	人事給与管理事業		予算事業名	人事給与管理事業 優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		効率的で効果的な組織体制を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名 宮下 忠和
取組み事項		効率的、効果的な組織を構築する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		給与システム					
根拠法規及び関連法規		相生市職員定数条例、相生市職員の定年等に関する条例、相生市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例、相生市職員の給与に関する条例 等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(行政事務の執行のため)、市職員、臨時職員					
	誰(何)を対象として	市職員、市臨時職員、常勤特別職					
	意図(どのような状態にしたいのか)	職員の定員管理及び職員配置による公務能率の向上、合理的かつ効率的な支給事務、報酬の適正化					

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務の効率化を図り、効果的な組織体制となるよう、職員の選考、任免、配置を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	職員数(正規職員)	人	263	261	253	259
	職員数(臨時職員)	人	69	74	75	72

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	3.002	3.076	102	3.033	99	3.010	99	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	22,806,218	23,526,086	103	23,779,806	101	24,259,452	102	
	事業費	5,823,681	4,130,026	71	3,114,525	75	3,858,000	124	
	合計	28,629,899	27,656,112	97	26,894,331	97	28,117,452	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,070,183		0		-		-	
	一般財源	27,559,716	27,656,112	100	26,894,331	97	28,117,452	105	
合計	28,629,899	27,656,112	97	26,894,331	97	28,117,452	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

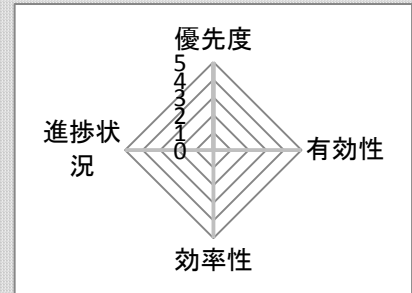
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	第5次定員適正化計画の基づき、職員数の適正化を図っている。	
	組織運営・適正管理	厳正な服務規律の確保により、職員の意識付けが行われている。	
効率性	執行体制の効率性	職員の減少が住民サービスの低下とならないような職員配置に努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060104020100		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	人材育成事業		予算事業名	職員研修事業	優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		効率的で効果的な組織体制を図る			担当課長	三宅 淳一	担当者名	前田 大輔
取組み事項		職員の資質向上を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市職員研修規程、相生市職員勤務成績評定規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員						
	誰(何)を対象として	相生市職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市人材育成基本方針に基づき、研修、適正な勤務評定等により職員資質の向上を図り、効果的な行政運営を推進し、市民から信頼される行政に寄与する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		効果的な行政運営を推進するため、相生市人材育成基本方針に基づき、職員研修や勤務評定を適正かつ的確に行う。 また、市民から信頼される行政を目指し、職員の服務規律の確保について、指導を徹底す					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	単独・派遣研修実施回数	回	59	62	62	75	
	単独・派遣研修実施人数	人	334	329	342	404	
	勤務評定実施率	%	100	100	100	100	
	服務規律通知	回	3	5	5	5	

3 投入資源

インプット指標		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.752	0.792	105	0.812	103	0.832	102	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,971,718	6,316,146	106	6,638,128	105	6,953,064	105	
	事業費	2,537,630	2,513,576	99	2,091,628	83	2,862,000	137	
	合計	8,509,348	8,829,722	104	8,729,756	99	9,815,064	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	157,360		0		-		-	
	一般財源	8,351,988	8,829,722	106	8,729,756	99	9,815,064	112	
合計	8,509,348	8,829,722	104	8,729,756	99	9,815,064	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		勤務評定実施率							
指標説明(式)		勤務評定実施人数÷職員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2		職員研修実施率							
指標説明(式)		職員研修受講者数÷研修受講計画者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

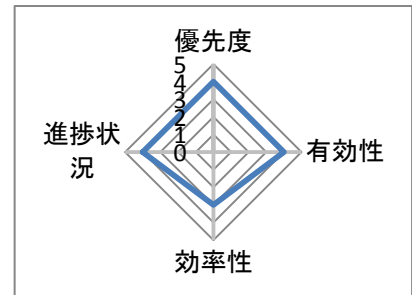
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	受講対象職員に対して、適正に研修を実施した。	4
	成果目標(改善)達成度	研修実施計画に基づき、各種研修を実施した。	
効率性	コストの節減	受講対象者や受講年度等を精査し、経費の削減を図った。	3
	手段の最適性	自己成長意識を喚起するため応募制の研修の充実を図り、研修効果向上を図った。結果、応募者数は年度により異なるが、平成26年度は減となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更なる職員資質の向上のため、引き続き実施していく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	応募制研修への応募者が減少傾向にある。併せて、より効果的な研修実施のため研修課程の拡大等検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	所属長における部下職員への問題提起等による自己成長意識の喚起及び研修メニュー・研修機関等の拡大・充実

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060104030100	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	基幹系システム管理運営事業	予算事業名	基幹系システム管理運営事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)	効率的で効果的な組織体制を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	行政情報システムの整備と業務の効率化を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名	基幹系システム更新(住基・税)		電算周辺機器更新		
	電算室移設工事		社会保障・税番号制度システム整備事業		
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・事業所			
	誰(何)を対象として	職員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	基幹業務である住民情報システムは市民に与える影響が多いため、運用・保守管理および情報保護の両面から信頼性と安全性を保持し、機器の安定稼働を図り、更に電子計算機器			

2 事業の概要 Do

実施の概要		電子計算機器等の保守管理、住基・税等の基幹系システムの運用支援、委託事業者との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	住民情報システム端末台数	台	39	51	51	51
	財務会計システム端末台数	台	39	51	51	51

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.980	1.168	119	1.128	97	1.080	96	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	7,697,766	9,149,306	119	9,077,016	99	8,923,672	98	
	事業費	41,308,253	59,068,872	143	32,619,803	55	54,640,000	168	
	合計	49,006,019	68,218,178	139	41,696,819	61	63,563,672	152	
財源内訳	国庫支出金	26,775,000	14,320,000	53	503,000	4	0	0	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	22,231,019	53,898,178	242	41,193,819	76	63,563,672	154	
合計	49,006,019	68,218,178	139	41,696,819	61	63,563,672	152		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基幹系システム処理業務件数							
指標説明(式)		基幹系システムで処理している業務の件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	19	19	100.0	19	100.0	19	100.0	
	実績	19	19	100.0	19	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

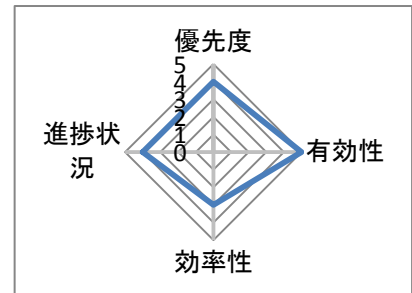
指標名1		市民1人当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷人口(該当年度の4月1日現在)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1127	2305	204.5	1570	68.1	2121	135.1	
	実績	1360	2245	165.1	1380	61.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会保障・税番号制度について、庁内ネットワークの整備及び番号連携サーバーの構築を実施し、平成29年7月からの運用開始に対応した。	5
	組織運営・適正管理	国が進める自治体情報システム強靱化に基づく二要素認証システムを運用するほか、管理ソフトウェアを利用した外部記憶媒体の利用制限などのセキュリティ対策を実施している。	
効率性	コストの節減	基幹業務システムのほとんどをパッケージソフトとすることで、法改正対応によるシステム改修費が削減され、バッチ処理等が各担当課で容易に可能となり、運用支援の労力が軽減している。	3
	執行体制の効率性	二要素認証の導入や外部記憶媒体の利用適正化に加え、番号連携サーバーの運用が始まるなど、システムの運用が大きく変化しており、関係各課との情報共有の強化に努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会保障・税番号制度について、県及び近隣自治体等との情報共有を図りながら、適切に運用できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	基幹システムについて、より安全で効率的な運用体制を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	平成30年4月から運用予定の基幹システムのクラウド化について、業務への影響を最低限に抑えながら、より効率的な運用体制を構築する。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060104030200	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	情報系システム管理運営事業	予算事業名	情報系システム管理運営事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)	効率的で効果的な組織体制を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	行政情報システムの整備と業務の効率化を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名	情報系システム更新(購入)		LGWANシステム更新		
情報系システム					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	行政サービスを受ける市民			
	誰(何)を対象として	職員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政事務の簡素・効率化に努める共に、情報化の進展と多様化する市民ニーズに合わせ、IT(情報技術)を活用した多角的な情報サービス機能の整備促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	職員が使用するパソコン機器等の運用・保守管理、チームウェア等の情報系システムの運用支援・管理、セキュリティ向上を図るために情報化リーダーとの連絡調整を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	ノートパソコン	台	245	245	245	245
	デスクトップパソコン	台	17	17	17	17
	サーバ	台	4	4	4	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.910	0.996	109	0.988	99	0.960	97	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	7,153,874	7,853,286	110	7,996,496	102	7,970,152	100	
	事業費	25,358,730	27,857,370	110	34,403,056	123	35,675,000	104	
	合計	32,512,604	35,710,656	110	42,399,552	119	43,645,152	103	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-		-		-	
	県支出金	0	0	-		-		-	
	市債	0	0	-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	32,512,604	35,710,656	110	42,399,552	119	43,645,152	103	
合計	32,512,604	35,710,656	110	42,399,552	119	43,645,152	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	職員(事務補助員等含む)へのパソコンの一人一台配置								
指標説明(式)	パソコン配置台数/職員数(事務補助員等含む)								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
台/人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

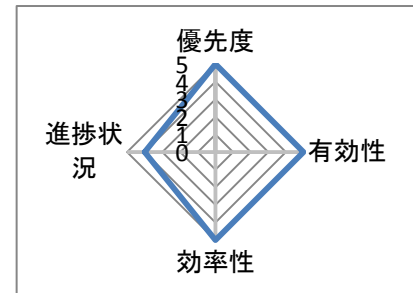
指標名1		パソコン1台当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷パソコン配置台数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	101656	100519	98.9	146580	145.8	136164	92.9	
	実績	96789	106326	109.9	131309	123.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成20年度にシステム全体を更新し、パソコン一人一台配置を達成している。平成26年度の更新により、パソコンOSはWindows7に変更している。	5
	組織運営・適正管理	統一的に管理・監視が可能なセキュリティアプリを使用した詳細な端末管理を行うとともに、平成29年度に県セキュリティアクラウドへの参加によるLGWAN系及びインターネット系の完全分離を実施し、セキュリティの更なる強化を図っている。	
効率性	コストの節減	平成26年度の更新において、セキュリティ機能を追加するとともに、新たな管理・監視システムを導入したが、前回(平成20年度)更新と比較して、導入・保守費用の5年間ベースで約32.5%の削減が見込まれる。	5
	執行体制の効率性	運営・管理については、主として職員自ら行っているが、平成26年度更新分の保守から、機器保守に加え運用支援についても委託しており、万一のセキュリティ対策に迅速に対応できるような体制を強化している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県セキュリティアクラウドへの参加によるネットワーク分離を計画通り実施しており、適切なセキュリティ対策を図ることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	多様化する外部からの攻撃に対し、確実に対処できる体制を維持する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	ネットワークの完全分離によるセキュリティ体制を維持するとともに、セキュリティポリシーの周知徹底による職員の意識の向上を図る。

配点	25
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010100		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	納税普及推進事業		予算事業名	税務総務費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課			
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	中里 智美	
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地方税法、市税条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、納税者						
	誰(何)を対象として	市民、納税者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公正適正な課税内容の理解を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)固定資産評価審査委員会の運営 (2)税に関する広報 (3)税の統計・公表				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	審査委員会回数	回	3	1	1	1
	広報回数	回	8	6	6	6
	ホームページ更新回数	回	7	2	3	2
	固定資産税閲覧・縦覧件数	件	66	46	39	62

3 投入資源

		会計区分			一般会計		事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.552	0.552	100	0.552	100	0.552	100	
	臨時職員	0.202	0.202	100	0.202	100	0.202	100	
支出内訳	人件費	4,984,156	5,034,360	101	5,163,516	103	5,302,268	103	
	事業費	2,669,189	1,867,707	70	2,362,600	126	2,829,000	120	
	合計	7,653,345	6,902,067	90	7,526,116	109	8,131,268	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,653,345	6,902,067	90	7,526,116	109	8,131,268	108	
合計	7,653,345	6,902,067	90	7,526,116	109	8,131,268	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広報記事掲載回数							
指標説明(式)		税に対する市民の理解を深めるための広報記事の掲載回数。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	8	6	75.0	6	100.0			
指標名2		ホームページ更新回数							
指標説明(式)		税に対する市民の理解を深めるためのホームページの更新回数。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	7	2	28.6	3	150.0			

【効率性】

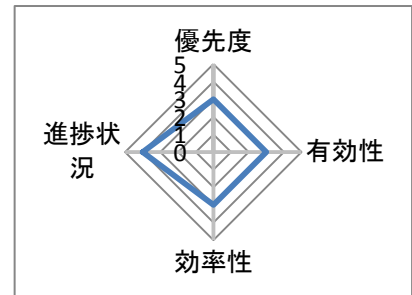
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	閲覧・縦覧により、理解が得られた。	3
	組織運営・適正管理	閲覧・縦覧処理を適正に行った。	
効率性	手段の最適性	統計については市税概要を作成し、公文書公開コーナーに設置した。	3
	執行体制の効率性	市民税係の職員が、審査委員会事務局の書記を担当し、審査・決定以外の職務を処理している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	広報の記事は内容の分かりやすさを重視し、広報で足りない部分はホームページにより情報の充実を図り、概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	審査委員会の担当事務局については、固定資産税を担当する課以外の部署で担当するよう通達が出ている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	審査委員会事務局のあり方について協議し、審査委員の選任方法について検討する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010200	事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	市民税等課税事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(市民税等)	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	中里 智美
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		地方税共通納税システム整備事業					
根拠法規及び関連法規		市税条例、地方自治法第223条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	納税義務者					
	誰(何)を対象として	納税義務者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正公平な課税のための調査・資料収集を行い、納税義務者への説明責任を果たし、納得して納税できる環境を醸成する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正公平な課税のための業務 (1)申告受付事務 (2)課税資料整理・内容審査事務 (3)課税データ入力事務 務 (4)課税データ変更・異動入力事務 (5)課税内容調査事務					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	市民税等 調定額	千円	1893156	1875108	1798447	1770000	
	個人市民税 納税者数	人	14266	14137	14254	14100	
	法人市民税 納税者数	社	604	601	604	600	
	軽自動車課税台数	台	12698	12715	12597	12697	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	4.287	4.243	99	4.320	102	4.478	104	
	臨時職員	1.133	1.170	103	1.162	99	0.918	79	
支出内訳	人件費	35,274,615	35,369,621	100	36,773,580	104	38,533,136	105	
	事業費	10,399,060	9,096,052	87	6,152,614	68	8,161,000	133	
	合計	45,673,675	44,465,673	97	42,926,194	97	46,694,136	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	45,673,675	44,465,673	97	42,926,194	97	46,694,136	109	
合計	45,673,675	44,465,673	97	42,926,194	97	46,694,136	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		課税調査実施件数(個人市民税+法人市民税)							
指標説明(式)		扶養調査、個人未申告調査及び不申告事業所調査の実施件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	230	230	100.0	230	100.0	230	100.0	
	実績	336	311	92.6	305	98.1			
指標名2		課税調査による課税更正額(個人市民税+法人市民税)							
指標説明(式)		扶養調査、個人未申告調査及び不申告事業所調査の実施による課税更正額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	895	1189	132.8	1163	97.8			

【効率性】

指標名1		調定額100万円あたりの課税コスト							
指標説明(式)		事業費÷調定額(百万円)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	26626	26795	100.6	24579	91.7	26381	107.3	
	実績	24126	23714	98.3	23868	100.6			

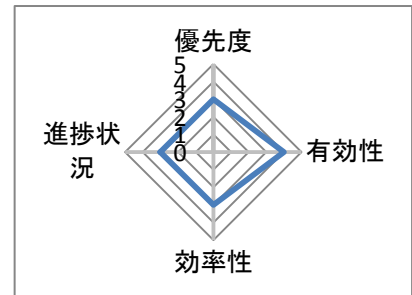
指標名2		職員1人あたりの納税者数							
指標説明(式)		(個人市民税納税者数+法人市民税納税社数+軽自動車課税台数)÷職員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5101	5243	102.8	5037	96.1	5051	100.3	
	実績	5062	5048	99.7	4983	98.7			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	税法に基づいた適正な課税事務の執行を行っている。	4
	成果目標(改善)達成度	課税の公平性確保のため、課税対象の把握や調査、被扶養者の精査等を引き続き実施する。	
効率性	コストの節減	税制改正で課税資料の電子媒体による提出が義務付けられ、基本的には課税データを基幹系システムに直接取り込んで効率的に課税処理ができるはずだが、実情は直接取り込めないものや取り込み後の修正が多いことにより、時間外処理が増えている	3
	執行体制の効率性	個人住民税の公的年金からの特別徴収や国税連携の開始により課税作業は複雑化している。事務処理マニュアルを活用し、職員個々の能力に見合った作業を分担して賦課処理しているが、一部の職員の作業負担が重くなっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	近年、目まぐるしい税制改正に対応可能な専門的知識を有することがより一層重要となっているが、実情は職員個々の知識や能力に差があり、説明責任の観点から考えて納税義務者の納得を得るレベルには達していない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	電子化により簡素化された作業がある一方、それぞれの電算システムの互換性などの影響により、従前にはなかった問題が生じ、課税作業が複雑化している



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	電子化により複雑化する課税作業を検証し、職員の作業負担に差がでないよう、より正確で効果的な処理ができるように事務改善を図る。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010300	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	固定資産税賦課事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(固定資産税) 優先度 3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部税務課	
施策名(中)	財政の健全化を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名 竹内 佐輝子
取組み事項	安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名	固定資産税家屋評価システム更新		航空写真撮影業務		
	固定資産税評価替え作業		固定資産税土地評価支援システム更新		
根拠法規及び関連法規	市税条例、地方自治法第223条				
事業の目的	誰のために(具体的に)	納税義務者			
	誰(何)を対象として	納税義務者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正公平な課税を行い、納税義務者が納得して納税できる環境を醸成する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	適正公平な課税のための業務 (1)課税客体の把握調査 (2)資産の評価事務 (3)賦課事務 (4)評価替作業 (5)評価額の時点修正作業					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	固定資産税 賦課件数	件	21371	21399	21480	21513
	固定資産税 調定額	千円	2133849	2130546	2251920	2256183
	都市計画税 賦課件数	件	17730	17472	17546	17600
	都市計画税 調定額	円	286742	285529	286235	278761

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	5.651	5.679	100	5.750	101	6.493	113	
	臨時職員	0.720	0.724	101	0.724	100		0	
支出内訳	人件費	44,439,716	45,027,159	101	46,656,628	104	51,935,370	111	
	事業費	5,321,336	19,926,175	374	12,869,694	65	5,943,000	46	
	合計	49,761,052	64,953,334	131	59,526,322	92	57,878,370	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	49,761,052	64,953,334	131	59,526,322	92	57,878,370	97	
合計	49,761,052	64,953,334	131	59,526,322	92	57,878,370	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	固定資産税・都市計画税の適正課税 (成果目標達成度)								
指標説明(式)	固定資産の価格等に重大な錯誤があることによる修正により、還付を行った件数(現年度分)								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	12	12	100.0	12	100.0	12	100.0	
	実績	9	3	33.3	11	366.7			
指標名2	固定資産現所有者兼相続人代表者指定届件数 (根拠法令等から見た効果)								
指標説明(式)	地方税法の要請する適正な課税を行っているかどうかを相続人代表者の指定届により確認し、指定漏れの減少を目指すため、件数の増加を目指す。								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	160	160	100.0	160	100.0	160	100.0	
	実績	165	202	122.4	183	90.6			

【効率性】

指標名1		一人当たりの賦課事務に係る時間外勤務の時間数（コストの節減）							
指標説明(式)		賦課事務に係るコストの節減及び事務の効率化を図っているかどうかを一人当たりの賦課事務に係る時間外勤務の時間数により確認し、数値の減少を目指す。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
時間/人	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	73	87	119.2	118	135.6			

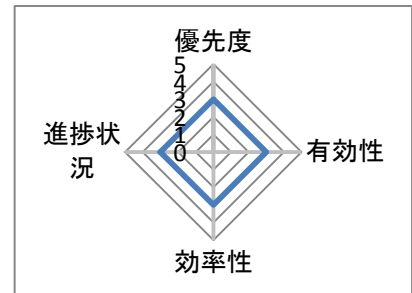
指標名2		具体的な評価方法等の取扱いの作成件数（執行体制の効率性）							
指標説明(式)		評価事務取扱要領に明記されていない具体的な評価方法等を作成し、公平な評価及び評価事務の簡素化を図っているかどうかを作成件数により確認する。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1	2	200.0	-	-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	課税更正(重大な錯誤による)に伴う、還付(現年度分)件数が前年度より増加した。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	死亡者課税を防ぐため、相続人に「固定資産現所有者兼相続人代表者指定届」の提出を促すことができたが、更に納税義務者等の確定を図る必要がある。	
効率性	コストの節減	今年度は評価管事務等の関係でコスト(時間外勤務)は増加したが、以前からの課題であった市街化調整区域の全ての宅地評価土地に間口及び不整形等の補正を適用し、適切な評価方法とすることができた。今後も事務の効率化を図りながら、適正な事務を遂行していく必要がある。	3
	執行体制の効率性	評価事務取扱要領自体の見直しを行ったので、今年度の実績は計上していません。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	一定の成果はあったが、全ての納税義務者の納得を得るレベルには達していない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	土地や家屋等の課税客体の変更(地目変更、家屋滅失、倉庫等小規模な建築など)の情報を早期に把握できるよう努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	効率性に留意しつつ、公平な課税を行うため、適正な評価及び課税客体の把握に努める。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010400	事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	市税徴収事務事業	予算事業名	賦課徴収費事務経費(徴収)ほか	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室		
施策名(中)	財政の健全化を図る		担当課長	平松 孝夫	担当者名	桂 安邦
取組み事項	安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	滞納管理システム更新		ページ口座振替受付サービス導入事業			
	滞納管理システム保守					
根拠法規及び関連法規	地方税法、国税徴収法、国税通則法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	納税者				
	誰(何)を対象として	納税者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	(1)滞納整理事務 市税収入額 (3)収納対策事務 コンビニ収納利用促進 (2)啓発事務 口座振替加入促進 (4)換価充当事務 インターネット公売実施					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	市税収入額	千円	4338469	4300584	4327284	4300000
	市税口座振替加入者数	人	10268	10406	10846	11000
	コンビニ収納利用件数	件	10070	11501	16779	15000
	インターネット公売市税充当額	千円	4261	3060	1147	1000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	2.280	2.032	89	1.912	94	1.884	99	
	臨時職員	1.088	1.136	104	0.984	87	1.040	106	
支出内訳	人件費	20,144,886	18,621,098	92	17,719,784	95	18,267,936	103	
	事業費	31,275,269	22,583,825	72	17,493,465	77	31,514,000	180	
	合計	51,420,155	41,204,923	80	35,213,249	85	49,781,936	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	51,420,155	41,204,923	80	35,213,249	85	49,781,936	141	
合計	51,420,155	41,204,923	80	35,213,249	85	49,781,936	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市税現年度分徴収率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	99	99	100.0	99	100.0	99	100.0	
	実績	99.3	99.3	100.0	99.1	99.8			
指標名2		市税滞納繰越分徴収率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	27	27	100.0	27	100.0	25	92.6	
	実績	33.8	26.9	79.6	20.1	74.7			

【効率性】

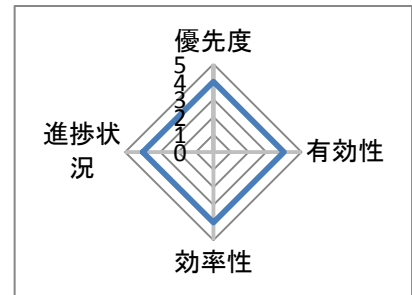
指標名1		市税口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数／納税義務者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	45	45	100.0	45	100.0	45	100.0	
	実績	35	35	100.0	37	105.7			
指標名2		現年度コンビニ収納利用率							
指標説明(式)		調定件数／コンビニ収納利用件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	20.99	24.25	115.5	27.02	111.4			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	徴収率は納付困難な滞納者が残っている滞納繰越分が6.8ポイント、また現年分で0.2ポイント、全体で0.1ポイント低下しているが、おおむね現状を維持している。	4
	市民サービス	コンビニ収納の利用定着により、住民の利便性が向上するとともに現年度徴収率が維持できている。	
効率性	手段の最適性	口座振替加入率は横ばいであるが、コンビニ収納実施に伴い、窓口での収納事務の軽減を図った。また、クレジットカード収納導入に伴い、より利便性が向上した。	4
	執行体制の効率性	窓口での収納事務の軽減により、滞納繰越分に対し、財産調査等の滞納整理を徹底することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	口座振替加入率が伸び悩んでいる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	クレジットカード収納の普及啓発に努める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010500		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	介護保険収納事業		予算事業名	介護保険事業(徴収) 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室		
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	平松 孝夫	担当者名	萩原 大樹
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法 介護保険施行法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自立した日常生活を営むためのサービスを提供するにあたり、各人の負担能力に応じた保険料を納付してもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の徴収・催告				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	保険料賦課人数	人	10232	10315	10391	10400
	うち普通徴収人数	人	1037	1012	1247	1200
	督促状発送件数	件	864	835	792	800
	口座振替利用者数	人	318	322	262	300

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計				事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.736	0.740	101	0.676	91	0.692	102	
	臨時職員	0.080	0.040	50	0.136	340	0.140	103	
支出内訳	人件費	6,053,526	6,028,606	100	5,946,704	99	6,238,504	105	
	事業費			-	98,048	-	169,000	172	
	合計	6,053,526	6,028,606	100	6,044,752	100	6,407,504	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,053,526	6,028,606	100	6,044,752	100	6,407,504	106	
合計	6,053,526	6,028,606	100	6,044,752	100	6,407,504	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護保険料収納率							
指標説明(式)		保険料収納額 ÷ 保険料調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.5	97.5	100.0	97.5	100.0	97.5	100.0	
	実績	99.29	99.37	100.1	99.38	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

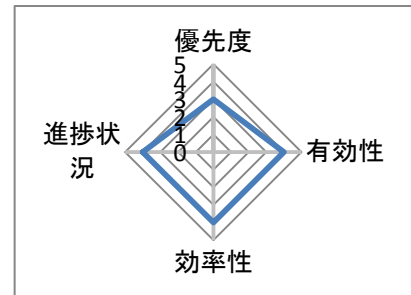
指標名1		口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数÷普通徴収賦課人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	40	40	100.0	40	100.0	40	100.0	
	実績	31	32	103.2	21	65.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	収納率は目標値を上回ることができたが、口座振替加入率は達成することができなかった。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	滞納整理を積極的に行うことができた。	
効率性	コストの節減	事務経費はほぼ前年と同等である。	4
	執行体制の効率性	他税との一斉催告等により、初期滞納件数を抑制させることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	口座振替加入率が伸び悩んでいる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	口座振替の加入促進に向け普及啓発に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010600		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	市営住宅家賃収納事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室			
施策名(中)	財政の健全化を図る		担当課長	平松孝夫	担当者名	桂 安邦	
取組み事項	安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営住宅法 公営住宅法施行令 公営住宅法施行規則 相生市市営住宅条例 相生市市営住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市営住宅入居者(住居に困窮している市民)					
	誰(何)を対象として	市営住宅入居者(住居に困窮している市民)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、納期限内に家賃の納付を徹底させ市営住宅運営の安定化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)啓発事業 口座振替加入促進 (2)収納整理事務 現年度分収入額 (3)滞納整理事務 滞納繰越分収入額				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	口座振替加入者数	人	53	54	49	50
	現年度分収入額	千円	16231300	15417600	14801300	15500000
	滞納繰越分収入額	千円	2169200	1667700	2118100	1800000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.340	0.376	111	0.396	105	0.424	107	
	臨時職員	0.104	0.068	65	0.068	100	0.088	129	
支出内訳	人件費	3,151,110	3,358,862	107	3,606,552	107	3,961,192	110	
	事業費			-		-		-	
合計		3,151,110	3,358,862	107	3,606,552	107	3,961,192	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,151,110	3,358,862	107	3,606,552	107	3,961,192	110	
合計		3,151,110	3,358,862	107	3,606,552	107	3,961,192	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市営住宅家賃現年度分収納率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	89.6	87.5	97.7	86.0	98.3			
指標名2		市営住宅家賃滞納繰越分収納率							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	17.8	16.5	92.7	19.9	120.6			

【効率性】

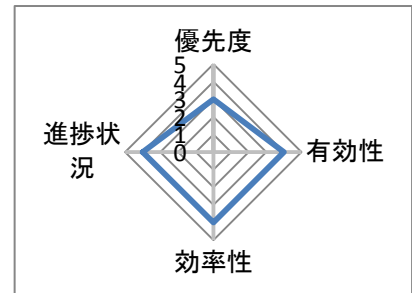
指標名1		口座振替加入率							
指標説明(式)		口座振替加入者数／市営住宅入居者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	43	43	100.0	43	100.0	43	100.0	
	実績	42	43	102.4	43	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	一括納付できない低所得者が多く、納付環境は非常に厳しいなか、建設管理課と滞納整理に努めた結果、滞納繰越分3.4%の収納率増となったが、現年度分は1.5%の収納率減となり、全体としては0.9%の収納率減となった。	4
	成果の向上	長引く不況により、低所得世帯が多いが、建設管理課と連携し定期的に催告を行うことにより、全体として滞納整理が進んできている。	
効率性	手段の最適性	口座振替率の向上を図り、引き続き居住者に対し適切な納付指導を行っている。	4
	手段の最適性	滞納世帯へ継続的に訪問し、状況把握のうえ納付指導を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	未納額の縮減に向けて順調に進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	督促、催告の強化。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	債権管理条例等に基づく債務整理の実施。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105010700	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	後期高齢者医療保険収納事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業(徴収) 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部徴収対策室
施策名(中)		財政の健全化を図る		担当課長	平松 孝夫
取組み事項		安定的に財源を確保する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	萩原 大樹
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、相生市後期高齢者医療に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療保険料納付対象者			
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療保険料納付対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	納期内納付の徹底及び収納率の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)啓発事業 口座振替加入促進 (2)収納整理事務 現年度分収入額、督促状の発付 (3)滞納整理事務 滞納繰越分収入額				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	収納率(現年)	%	99.71	99.67	99.62	99.7
	督促状発送件数	件	495	568	499	500

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.300	0.336	112	0.496	148	0.600	121	
	臨時職員	0.304	0.248	82	0.448	181	0.368	82	
支出内訳	人件費	3,355,630	3,526,722	105	5,379,272	153	6,155,448	114	
	事業費	219,133	138,061	63	144,835	105	226,000	156	
	合計	3,574,763	3,664,783	103	5,524,107	151	6,381,448	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,574,763	3,664,783	103	5,524,107	151	6,381,448	116	
合計	3,574,763	3,664,783	103	5,524,107	151	6,381,448	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		徴収率(現年課税分)							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	99.7	99.7	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	
	実績	99.7	99.67	100.0	99.62	99.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		口座振替率							
指標説明(式)		口座振替世帯数／被保険者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	
	実績	65.66	66.24	100.9	67.33	101.6			

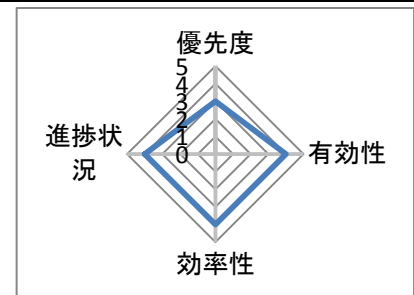
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	収納率については微減であるが、ほぼ例年並みの徴収率は維持できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等に基づき適正な事務処理を行った。	
効率性	手段の最適性	口座振替を積極的にを行うことで、効率的な収税業務を行うことができた。	4
	執行体制の効率性	他税との一斉催告等により、初期滞納件数を抑制させることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	口座振替加入率が伸び悩んでいる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	口座振替の加入促進に向け普及啓発に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060105020100	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	財政運営事務	予算事業名	一般管理費事務経費(財政) 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課	
施策名(中)	財政の健全化を図る		担当課長	大西 博之	担当者名
取組み事項	財源を効率的に運用する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	基幹系システム更新(財務会計)		起債管理システム整備事業		
	財務書類作成事業				
根拠法規及び関連法規	地方自治法、地方財政法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(市の方針に沿った予算編成、執行管理により、健全な財政運営を図る)			
	誰(何)を対象として	市全体の事務事業(予算による各課の事務事業)を対象として			
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全で弾力的な財政基盤を築き、有効な予算配分と執行管理により財政の健全化を推進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	予算編成の方針を周知し、その方針に沿った予算編成と執行管理を行う。そのうえで、必要な財源の確保、財政見通しの把握を行うとともに、予算及び決算状況の公表を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	当初予算総額	千円	27762387	25227500	24823100	23395500
	一般会計当初予算総額	千円	15700000	13020000	12790000	12420000
	実質公債費比率	%	13.8	14.4	14.3	14
	経常収支比率	%	95.9	98.7	98.8	95.9

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	3.228	3.235	100	3.253	101	3.200	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	24,497,150	24,724,151	101	25,477,766	103	25,769,192	101	
	事業費	348,904	13,180,285	3,778	5,911,773	45	6,660,000	113	
	合計	24,846,054	37,904,436	153	31,389,539	83	32,429,192	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	24,846,054	37,904,436	153	31,389,539	83	32,429,192	103	
合計	24,846,054	37,904,436	153	31,389,539	83	32,429,192	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	実質公債費比率								
指標説明(式)	$\frac{(\text{当該年度の元利償還金} + \text{公営企業元利償還金への一般会計繰越金等公債費類似経費})}{(\text{元利償還金等の特定財源} + \text{普通交付税の基準財政需要額算入公債費})} \div \text{標準財政}$								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15.9	14	88.1	14	100.0	14	100.0	
	実績	13.8	14.4	104.3	14.3	99.3			
指標名2	経常収支比率								
指標説明(式)	財政構造の弾力性を測定する指標 $\text{経常経費充当一般財源} \div \text{経常一般財源} \times 100$								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	94.9	95.9	101.1	95.9	100.0	95.9	100.0	
	実績	95.9	98.7	102.9	98.8	100.1			

【効率性】

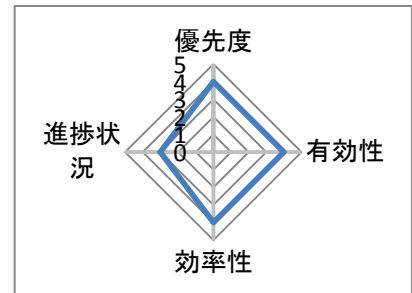
指標名1		労働時間数							
指標説明(式)		財政係員の総労働時間数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	6113	6113	100.0	6113	100.0	6013	98.4	
	実績	6070	6005	98.9	6048	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	28年度と29年度の単年度数値比較において、29年度が1.5ポイント下回っているため実質公債費比率が低下した。これは、公債費の減少に加え、公共下水特会などの公債費に対する繰出金が減少したことにより数値が改善した。公債費や繰出金などが減少したものの、補助費等や物件費の増加により経常経費は微増。さらに、市税(償却資産)や税交付金の増収があったものの、地方交付税や臨財債の減など経常一般財源が微減した結果、経常収支比率は0.1ポイント上昇した。	4
	成果目標(改善)達成度		
効率性	コストの節減	システム関係の更新が終了したため、大幅な事業費削減となった。今後5年間は、システムの保守経費や使用料は同額見込み。	4
	執行体制の効率性	事務の共有化を図るなど効率的な体制で取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	突発的な大規模事業の実施により厳しい財政状況となっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	経常収支比率の上昇



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	第3期行財政健全化計画の中間見直し、使用料及び手数料の設定基準策定による見直し

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	秘書業務		予算事業名	一般管理費事務経費(秘書) 優先度 4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)		その他			担当課長	松尾 次郎	担当者名 西山 学
取組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	来庁者、市内外の住民、職員等					
	誰(何)を対象として	市長、副市長					
	意図(どのような状態にしたいのか)	来庁者、各種団体、職員等との情報交換や交渉をスムーズに行えるよう、市長・副市長が職務に専念できる環境を整える。また、市の公益に貢献した人を表彰することで市政の発展等					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市長・副市長の日程調整、来庁者への対応。市内外の個人、団体等への表彰。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	椿賞	人	5	9	15	2	
	コスモス賞	人	3	2	1	2	
	その他表彰	人	4	0	6	2	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.940	0.940	100	0.940	100	1.780	189	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100		0	
支出内訳	人件費	9,897,334	10,038,326	101	10,260,032	102	14,485,872	141	
	事業費	3,493,006	3,294,730	94	3,712,186	113	4,651,000	125	
	合計	13,390,340	13,333,056	100	13,972,218	105	19,136,872	137	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,390,340	13,333,056	100	13,972,218	105	19,136,872	137	
合計	13,390,340	13,333,056	100	13,972,218	105	19,136,872	137		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

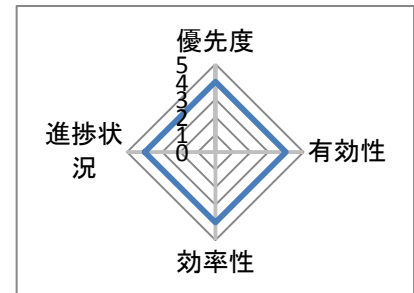
指標名1		支出経費の1日あたりのコスト							
指標説明(式)		支出経費(人件費+事業費)÷365日							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	41086	41413	100.8	41710	100.7	52430	125.7	
	実績	36686	36529	99.6	38280	104.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	市の施策に対し、各担当との連絡を密にするとともに、係内での業務に関する情報の共有化を図ることができている。	4
効率性	コストの節減	旅費及び市長交際費について、必要性、妥当性等を考慮し、節減に努め、適正な執行を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市長、副市長が業務を円滑に行うための、各関係機関等との連絡調整を適切に実施することができた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市長、副市長の考えを的確かつ迅速に担当部門へ伝達するため、連絡調整の体制をさらに向上させる必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	更なる業務効率化に努め、情報伝達体制など、業務の進め方の改善を図る。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010200		事業の種類	3			
年度	29	事務事業名	契約検査事業		予算事業名	財産管理費事務経費	優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他			担当課長	大西 博之		担当者名	宮崎 晃
取組み事項		その他			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		電子入札システム導入							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	依頼課(庁内各関係課)							
	誰(何)を対象として	公共工事及び業者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	工事の入札・契約、物品の購入・修繕において、公平性、透明性、競争性を高めた制度を推進し、適正な契約検査事務を執行する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		工事及び委託の執行のために、入札、契約等を行い、工事等施工業者の登録を行う。また、契約のとおり工事が施工されたか検査を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	工事契約件数	件	55	52	48	41	
	工事検査件数	件	46	38	36	41	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1,240	1,240	100	1,360	110	1,040	76	
	臨時職員	0.160	0.200	125	0.160	80	0.165	103	
支出内訳	人件費	10,025,974	10,213,226	102	11,289,032	111	9,074,762	80	
	事業費	1,351,513	576,887	43	730,420	127	642,000	88	
	合計	11,377,487	10,790,113	95	12,019,452	111	9,716,762	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,377,487	10,790,113	95	12,019,452	111	9,716,762	81	
合計	11,377,487	10,790,113	95	12,019,452	111	9,716,762	81		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事検査による基準点以上の割合							
指標説明(式)		基準点以上の工事件数／工事検査実施件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	100	105.3	
	実績	95	100	105.3	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

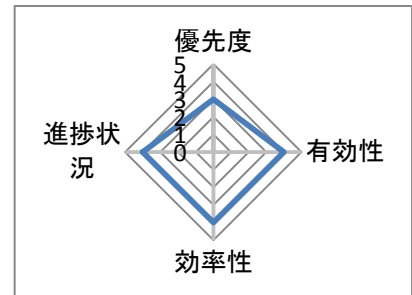
指標名1		工事契約取扱事務1件当りのコスト							
指標説明(式)		工事契約事務事業費／工事契約取扱件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	214698	205328	95.6	219907	107.1	269910	122.7	
	実績	206863	207502	100.3	250405	120.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	電子入札システムの活用により、業者同士の接触が希薄化し談合防止の効果が高まり、事務が簡素化され時間短縮することで入札事務の作業効率も高まっている。また、契約検査の実施により、適正な公共工事の実施が図られている。	4
	市民サービス	電子入札システムの活用により、入札者が指定された日時に来庁する必要がなくなった。また、開札執行のために福祉会館の研修室等を使用していたが、その必要性がなくなり、当該研修室等が他の用途に共されることで、市民サービスの向上に寄与している。	
効率性	コストの節減	兵庫県電子入札共同運営に加入し、県や他市町と共同で電子入札システムを用いることで、コスト削減を図っている。また、工事検査については、市職員が直接行う体制を組み、コスト削減を図っている。	4
	執行体制の効率性	電子入札システムの導入により、必要最小限度の職員で開札執行が可能となり、効率的な運営が図られている。また、工事検査については、市職員による検査が困難な場合は外部委託を行うことで、適正かつ効率的な検査体制の構築を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正な事務事業の遂行が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	兵庫県電子入札共同システムは、5年毎に機器の更新を行っていることから、より効率的な機能等の搭載要望を行っていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	工事検査の手法等、入札制度全般について改善を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010300	事業の種類	2
年度	29	事務事業名	庁舎維持管理事業	予算事業名	庁舎管理事業(管財) 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之
取組み事項		その他		担当者名	中野 聡
		実施計画への記載		有	主要事業の指定
				無	
実施計画事業名		庁舎整備事業 (旧)相生市民会館改修工事		庁舎維持修繕	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	来庁者及び庁舎内で業務を行う者			
	誰(何)を対象として	庁舎及び来庁者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	庁舎施設・設備の適正な管理により、市民が快適に利用でき、職員が働きやすい庁舎環境をつくる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		庁舎の維持管理及び警備				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	燃料費	円	775677	3166996	3783901	1490000
	光熱水費	円	14506512	17598212	19971926	18000000
	維持修繕費	円	3118164	11967648	6108807	3000000
	委託料	円	18758768	26917934	20673103	17977000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.592	0.700	118	0.762	109	0.780	102	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.280	117	0.280	100	
支出内訳	人件費	5,379,158	6,248,606	116	6,989,748	112	7,335,632	105	
	事業費	41,323,387	194,580,569	471	423,705,980	218	46,991,000	11	
	合計	46,702,545	200,829,175	430	430,695,728	214	54,326,632	13	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	2,500,000	119,000,000	4,760	355,200,000	298		0	
	その他		610,000	-	600,000	98	600,000	100	
	一般財源	44,202,545	81,219,175	184	74,895,728	92	53,726,632	72	
合計	46,702,545	200,829,175	430	430,695,728	214	54,326,632	13		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

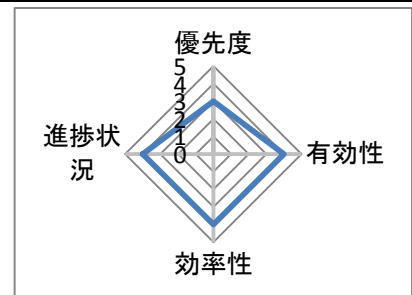
指標名1		1日当りの維持管理費							
指標説明(式)		事業費・人件費合計／年間管理日数(365日)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	162510	590983	363.7	1275113	215.8	148840	11.7	
	実績	127952	550217	430.0	1179988	214.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	迅速な修繕の実施により、良好な職場環境づくりに努めている。	4
	市民サービス	耐震化を進め、庁舎の延命化と来庁者等の安全向上を図っている。	
効率性	コストの節減	電力自由化を受け、見積り合わせを実施し、特定規模電気事業者(PPS)から電力調達しているほか、夏冬時のエアコン定時運転の実施、昼休みの時間中の消灯等、節電に取り組みコスト節減を図っている。	4
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね適正に維持管理できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	庁舎の経年劣化とともに維持管理費は上昇傾向であり、経費を抑え、かつ市庁舎としての機能及び快適性を高める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の維持修繕を行い、さらなる安心、安全な施設運営に取り組む。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010400		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	公用車両管理事業		予算事業名	公用車両管理事業 優先度 3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之		担当者名	中野 聡
取組み事項		その他		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		公用車購入(財政)						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	公用車を利用する職員、公用車の修繕等を必要とする所管課						
	誰(何)を対象として	公用車						
	意図(どのような状態にしたいのか)	共用公用車の効率的な運用、適切な車両整備を行い、職員の交通安全講習を実施し、交通事故の減少を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		共用公用車の効率的な貸出と適切な管理及びグリーンカーの導入の推進並びに交通事故の減少を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	年間走行距離	km	192323	203404	190503	190000
	車検件数	件	10	13	14	16
	事故件数	件	5	1	1	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.560	1.584	102	1.556	98	1.452	93	
	臨時職員	2.284	2.274	100	2.276	100	1.258	55	
支出内訳	人件費	17,770,570	18,212,184	102	18,375,304	101	15,454,820	84	
	事業費	10,150,560	11,287,752	111	8,871,164	79	10,944,000	123	
	合計	27,921,130	29,499,936	106	27,246,468	92	26,398,820	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	27,921,130	29,499,936	106	27,246,468	92	26,398,820	97	
合計	27,921,130	29,499,936	106	27,246,468	92	26,398,820	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		共用公用車1台当りの使用距離							
指標説明(式)		年間走行距離/共用公用車数 (H27年度28台、H28年度29台、H29年度28台、H30年度28台)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
km	目標	7400	7100	95.9	7100	100.0	7100	100.0	
	実績	6868	7013	102.1	6803	97.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

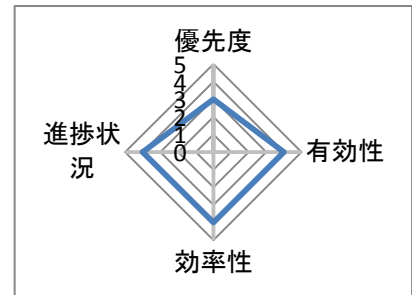
指標名1		共用自動車1台当りの経費							
指標説明(式)		事業費・人件費合計／共用自動車台数 (H27年度28台、H28年度29台、H29年度28台、H30年度28台)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1110000	1160000	104.5	1060000	91.4	942815	88.9	
	実績	997183	1017239	102.0	973088	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用用途により使用距離は大きく左右されるが、前年度並みの使用距離となった。	4
	組織運営・適正管理	安全運転管理者講習会の受講や公用車の利用者意識向上のために定期的な洗車を行い、円滑な公用車管理ができた。	
効率性	執行体制の効率性	公用車の集中管理により、効率的な運用管理体制の構築を行った。	4
	コストの節減	車両更新時にアイドリングストップ機能を搭載した低燃費車への買い替えを行い、燃料使用量の削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね適正に維持管理できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	急停車急発進をしないことや近距離の移動は自転車を使用する等、使用者ひとりひとりの省エネ意識が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	使用時の日常点検励行を徹底するとともに、職員による洗車を引き続き実施し、使用意識の向上を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010500		事業の種類	9				
年度	29	事務事業名	企画費事務経費		予算事業名	企画費事務経費		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他			担当課長	松尾 次郎		担当者名	岩田 智美	
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)									
	誰(何)を対象として	係内の庶務								
	意図(どのような状態にしたいのか)									

2 事業の概要 Do

実施の概要		企画係における旅費及び需用費(庶務的経費)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.240	0.180	75	0.300	167	0.300	100	
	臨時職員	0.120	0.040	33	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,443,214	1,809,006	74	2,791,872	154	2,839,472	102	
	事業費	825,052	80,369	10	787,417	980	111,000	14	
	合計	3,268,266	1,889,375	58	3,579,289	189	2,950,472	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,268,266	1,889,375	58	3,579,289	189	2,950,472	82	
合計	3,268,266	1,889,375	58	3,579,289	189	2,950,472	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1										
指標説明(式)										
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

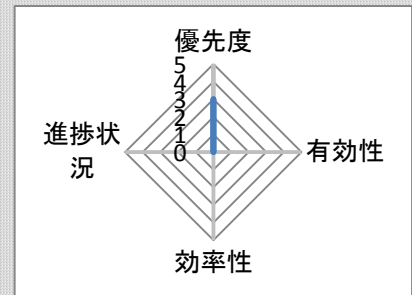
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010600	事業の種類	2
年度	29	事務事業名	事故等賠償事業	予算事業名	事故等賠償事業
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之
取組み事項		その他		担当者名	中野 聡
		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市の公金			
	誰(何)を対象として	市の故意・過失により損害を被った方への賠償 盗難等にあつた公金の損失補てん			
	意図(どのような状態にしたいのか)	保険による賠償・補てんで市財政の安定的な運営を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		事故等の発生で、市に賠償責任や損失が生じた際、適切かつ迅速に損害賠償や損失補てんを行うとともに、行財政運営に支障が生じないよう保険での対応を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	賠償件数	件	2	0	0	1
	損失補てん件数	件	0	0	0	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.320	0.320	100	0.280	88	0.280	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,739,494	2,759,626	101	2,532,152	92	2,566,872	101	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000,000	-	
	合計	2,739,494	2,759,626	101	2,532,152	92	3,566,872	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-	1,000,000	-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,739,494	2,759,626	101	2,532,152	92	2,566,872	101	
合計	2,739,494	2,759,626	101	2,532,152	92	3,566,872	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保険料に対する賠償・補てん額の割合							
指標説明(式)		(損害賠償額+損失補てん額)/保険料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	110.8	0	0.0	0	-			
指標名2		損害事案・損失事案の発生件数							
指標説明(式)		損害賠償件数+損失補てん件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	0	0.0	2	-	
	実績	2	0	0.0	0	-			

【効率性】

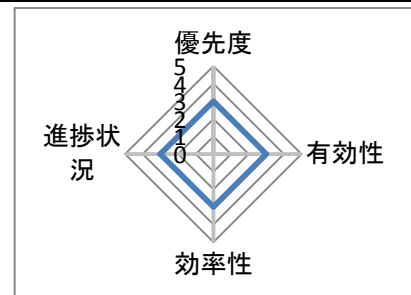
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	事故発生に伴う迅速かつ適切な損害賠償・損失補てんの実施は、組織運営上必要な事項であり、また、多額の賠償事案・損失事案が生じた場合の備えとして、安定的な行財政運営を図る上で保険加入は有効である。	3
	市民サービス	被害者の意向に応じて、保険者から自動車修理工場等に直接保険料支払する等、柔軟な対応が図られている。	
効率性	手段の最適性	保険加入により、多額の補償補填賠償金の予算を組む場合でも財源を心配する必要がない。	3
	コストの節減	全国市長会の保険加入により、保険料コストの節減を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事故等の発生を防止しつつ万一の備えとして保険加入は必要であり、毎年度加入更新している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010700		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	財政調整基金事業		予算事業名	財政調整基金事業 優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之		担当者名	岸本 一郎
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として							
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		財政調整基金に係る積立金 (前年度基準財政需要額の1%以上、実質収支1/2以上、預金利息、財産売り払い収入等)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積立金	千円	514708	337470	268910	69995

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.020	0.036	180	0.020	56	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,894	619,686	125	525,472	85	500,912	95	
	事業費	514,707,736	337,470,000	66	268,909,543	80	69,995,000	26	
	合計	515,202,630	338,089,686	66	269,435,015	80	70,495,912	26	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	515,202,630	338,089,686	66	269,435,015	80	70,495,912	26	
合計	515,202,630	338,089,686	66	269,435,015	80	70,495,912	26		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

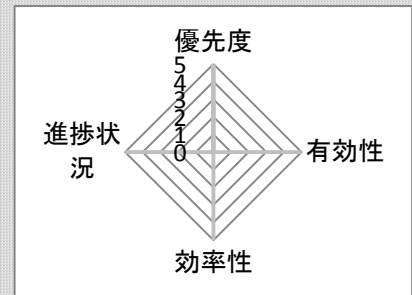
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010800		事業の種類	9			
年度	29	事務事業名	減債基金事業		予算事業名	減債基金事業		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他			担当課長	大西 博之		担当者名	岸本 一郎
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)								
	誰(何)を対象として								
	意図(どのような状態にしたいのか)								

2 事業の概要 Do

実施の概要		減債基金に係る積立金				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積立金	千円	253	121	135	62

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.012	150	0.008	67	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	405,110	438,846	108	432,856	99	405,560	94	
	事業費	253,343	121,013	48	135,078	112	62,000	46	
	合計	658,453	559,859	85	567,934	101	467,560	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	658,453	559,859	85	567,934	101	467,560	82	
合計	658,453	559,859	85	567,934	101	467,560	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

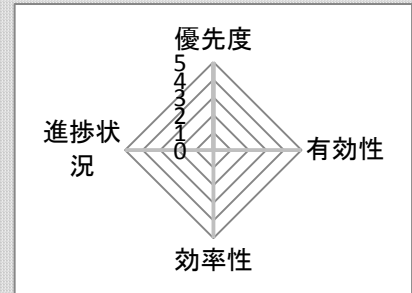
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106010900		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	公債費元金償還事業		予算事業名	公債費元金償還事業 優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)		その他			担当課長	大西 博之		
取組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として							
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		既発債に係る元金償還金				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	元金償還金	千円	1409524	1426033	1378067	1403032

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.012	0.016	133	0.022	138	0.016	73	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	435,038	468,986	108	540,908	115	469,128	87	
	事業費	1,409,523,535	1,426,032,895	101	1,378,066,803	97	1,403,032,000	102	
	合計	1,409,958,573	1,426,501,881	101	1,378,607,711	97	1,403,501,128	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,409,958,573	1,426,501,881	101	1,378,607,711	97	1,403,501,128	102	
合計	1,409,958,573	1,426,501,881	101	1,378,607,711	97	1,403,501,128	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

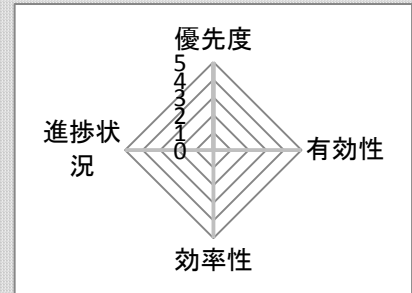
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011000		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	公債費利子償還事業		予算事業名	公債費利子償還事業 優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之		担当者名	岸本 一郎
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として							
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		既発債に係る利息償還金				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利息償還金	千円	168822	150447	129742	108988

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.012	0.016	133	0.022	138	0.016	73	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	435,038	468,986	108	540,908	115	469,128	87	
	事業費	168,822,015	150,447,163	89	129,742,489	86	108,988,000	84	
	合計	169,257,053	150,916,149	89	130,283,397	86	109,457,128	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	169,257,053	150,916,149	89	130,283,397	86	109,457,128	84	
合計	169,257,053	150,916,149	89	130,283,397	86	109,457,128	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

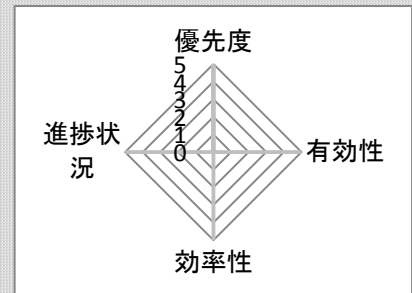
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011200		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	予備費	予算事業名	予備費	優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために			担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)	その他			担当課長	大西 博之	担当者名	岸本 一郎
取組み事項	その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため用途を特定しないで歳入歳出予算に計上し執行機関にその使用を委ねた目的外予算 なお、予備費は他の科目へ充用するため決算額は0となる。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	予備費充用額	千円	0	657	1278	10000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.012	150	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	405,110	408,706	101	432,856	106	437,344	101	
	事業費	0	0	-	0	-	10,000,000	-	
	合計	405,110	408,706	101	432,856	106	10,437,344	2,411	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	405,110	408,706	101	432,856	106	10,437,344	2,411	
合計	405,110	408,706	101	432,856	106	10,437,344	2,411		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

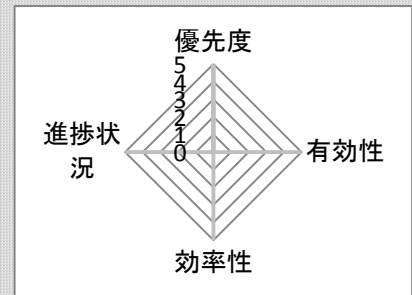
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011300		事業の種類	9			
年度	29	事務事業名	遺族年金事業		予算事業名	遺族年金事業		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		その他			担当課長	三宅 淳一		担当者名	小林 佳代子
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市職員の退職年金等に関する条例及び平成15年以降における遺族年金の年額の改定に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	遺族年金受給者							
	誰(何)を対象として	遺族年金受給者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族年金の支給を適正に行う							

2 事業の概要 Do

実施の概要		遺族年金支給事務				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	遺族年金支給者数	人	1	1	1	1
	遺族年金支給回数	回	4	4	4	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.056	100	0.056	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	764,246	770,386	101	803,320	104	786,968	98	
	事業費	830,900	830,900	100	830,900	100	840,000	101	
	合計	1,595,146	1,601,286	100	1,634,220	102	1,626,968	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,595,146	1,601,286	100	1,634,220	102	1,626,968	100	
合計	1,595,146	1,601,286	100	1,634,220	102	1,626,968	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

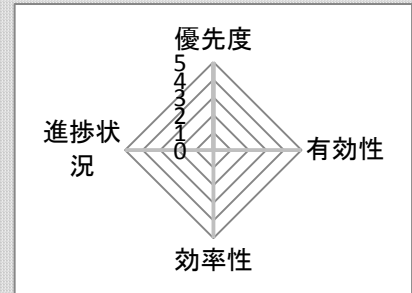
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	条例及び規則の基づき適正に支給した。	
効率性	執行体制の 効率性	条例及び規則の基づき適正に支給した。	
進捗状況	事業計画に 対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011400		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	職員退職手当基金事業		予算事業名	職員退職手当基金事業 優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	石原 良樹
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市職員退職手当基金の設置、管理及び処分に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市職員					
	誰(何)を対象として	市職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画的な予算の執行					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一般会計における前年度の給料決算額の100分の3を基金に積み立てる。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	退職者数	人	19	16	18	12

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.082	0.082	100	0.082	100	0.082	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	958,778	966,296	101	1,003,988	104	993,564	99	
	事業費	26,248,405	25,354,770	97	25,092,600	99	24,146,000	96	
	合計	27,207,183	26,321,066	97	26,096,588	99	25,139,564	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,113,405		0		-		-	
	一般財源	26,093,778	26,321,066	101	26,096,588	99	25,139,564	96	
合計	27,207,183	26,321,066	97	26,096,588	99	25,139,564	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

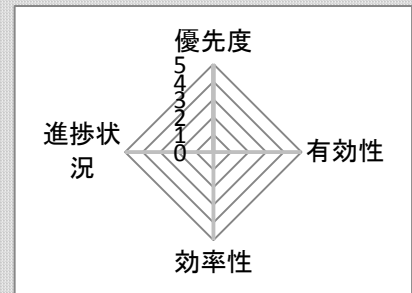
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011500		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	総務管理事業		予算事業名	文書事務管理事業ほか 優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	宮崎 良資
取組み事項		その他		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		電話交換機更新事業						
根拠法規及び関連法規		相生市行政手続条例、相生市行政手続条例施行規則、相生市役所処務規則、相生市決裁規程等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民						
	誰(何)を対象として	相生市職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	行政事務の適正化を推進することで行政サービスの向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		行政事務手続きの適正化を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	審査請求件数	件	3	0	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.776	2.450	138	2.993	122	2.900	97	
	臨時職員	1.000	1.000	100	0.988	99		0	
支出内訳	人件費	16,152,286	21,416,176	133	26,073,478	122	23,385,392	90	
	事業費	23,950,290	25,707,160	107	23,810,894	93	31,309,000	131	
	合計	40,102,576	47,123,336	118	49,884,372	106	54,694,392	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,102,576	47,123,336	118	49,884,372	106	54,694,392	110	
合計	40,102,576	47,123,336	118	49,884,372	106	54,694,392	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

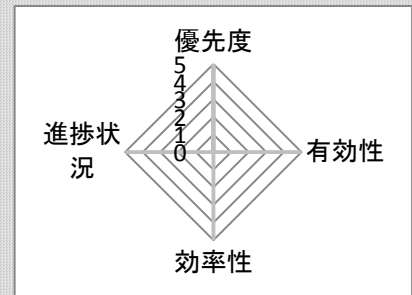
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011600		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	非核平和展事業		予算事業名	非核平和展事業 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名 宮崎 良資
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		なし					
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民					
	誰(何)を対象として	すべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	核兵器廃絶平和都市宣言のまちにふさわしい平和を希望する市民意識が育つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		非核平和展事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	非核平和展	人	387	1571	1442	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.028	0.040	143	0.044	110	0.044	100	
	臨時職員			-	0.012	-		0	
支出内訳	人件費	554,750	649,826	117	742,312	114	691,616	93	
	事業費	23,755	32,183	135	29,073	90	39,000	134	
	合計	578,505	682,009	118	771,385	113	730,616	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	578,505	682,009	118	771,385	113	730,616	95	
合計	578,505	682,009	118	771,385	113	730,616	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		非核平和展参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	1600	320.0	1600	100.0	
	実績	387	1571	405.9	1442	91.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

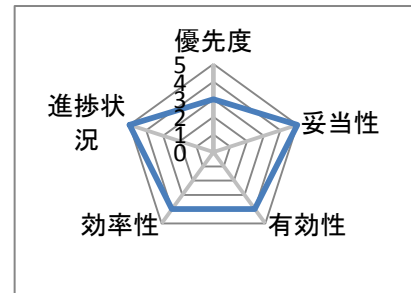
指標名1		参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1133	1340	118.3	469	35.0	456	97.2	
	実績	1495	434	29.0	534	123.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化会館小ホールで上映していたビデオをホワイエで流すことにより、ビデオの来場者が増加し、また、非核平和展を全てホワイエにて開催することができた。	4
	市民サービス	土日も実施し、適切であった。	
効率性	コストの節減	来場者数が減となったことで、参加者一人あたりコストは増加した。	4
	手段の最適性	適切であった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き実施していく。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年、内容が固定されているので、違った内容・イベント等を検討し、変化を付ける必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	他市の状況等を参考にしながら、魅力的な内容・イベント等を検討する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011700		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	福利厚生事業		予算事業名	福利厚生事業	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	前田 大輔
取組み事項	その他		実施計画への記載			主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市職員の共済制度に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員及びその家族					
	誰(何)を対象として	相生市職員及びその家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	職員の福利厚生等の充実を図り、職員が安心して生きがいをもって働けるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 職員の福利厚生及び共済組合に関すること。 兵庫県市町村職員年金者連盟に関すること。 				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	職員共済会補助金	千円	2500	2500	2500	2200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.374	0.374	100	0.374	100	0.374	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,143,522	3,166,516	101	3,257,644	103	3,313,796	102	
	事業費	2,500,000	2,500,000	100	2,500,000	100	2,200,000	88	
	合計	5,643,522	5,666,516	100	5,757,644	102	5,513,796	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,643,522	5,666,516	100	5,757,644	102	5,513,796	96	
合計	5,643,522	5,666,516	100	5,757,644	102	5,513,796	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

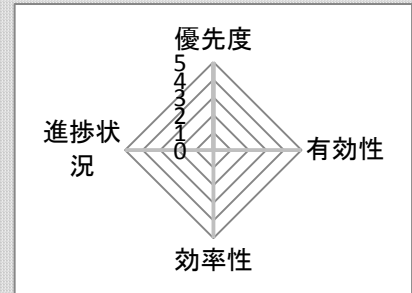
指標名1		会員1人当たりの補助金単価							
指標説明(式)		補助金額÷会員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
効率性	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011800		事業の種類	9			
年度	29	事務事業名	労務管理事業		予算事業名	労務管理事業		優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		その他			担当課長	三宅 淳一		担当者名	前田 大輔
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市職員安全衛生管理規程							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市職員(非常勤職員含む)							
	誰(何)を対象として	相生市職員(非常勤職員含む)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	職場における労働災害の防止と職員の健康保持増進を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		職員の公務災害補償事務及び健康管理の充実					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	職員の公務災害数	件	0	0	0	0	
	安全衛生委員会開催数	回	2	1	1	1	
	健康診断受診者数	人	184	184	171	175	
	人間ドック受診者数	人	124	131	134	135	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.292	0.292	100	0.292	100	0.292	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,529,998	2,548,646	101	2,624,768	103	2,662,224	101	
	事業費	4,169,338	4,536,117	109	4,363,099	96	6,085,000	139	
	合計	6,699,336	7,084,763	106	6,987,867	99	8,747,224	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	525,260		0		-		-	
	一般財源	6,174,076	7,084,763	115	6,987,867	99	8,747,224	125	
合計	6,699,336	7,084,763	106	6,987,867	99	8,747,224	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公務災害発生率							
指標説明(式)		災害者数÷職員数×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

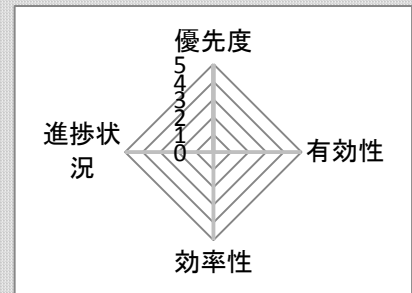
指標名1		健康診断1人当たり単価							
指標説明(式)		健康診断手数料÷受検者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理		
	成果目標(改善)達成度		
効率性	執行体制の効率性		
	コストの節減		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106011900		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	労働組合対応事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	その他		担当課長	三宅 淳一		担当者名	宮下 忠和
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方公務員法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員					
	誰(何)を対象として	職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	労働組合との適正な関係を築き、職員の士気を高める					

2 事業の概要 Do

実施の概要		労働条件の改善、生活安定及び組合員の相互親睦と地方自治の発展向上を図ることを目的に組織された職員労働組合連合会等と労使交渉を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	団体交渉回数	回	2	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.164	0.164	100	0.164	100	0.164	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,572,302	1,584,166	101	1,636,864	103	1,645,136	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,572,302	1,584,166	101	1,636,864	103	1,645,136	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,572,302	1,584,166	101	1,636,864	103	1,645,136	101	
合計	1,572,302	1,584,166	101	1,636,864	103	1,645,136	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		団体交渉回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

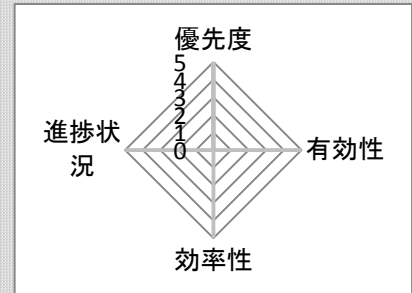
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	労働組合との労使交渉を行い、適正な関係に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	節度ある交渉が行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012000		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	統計調査事務事業		予算事業名	統計調査事務事業 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎	担当者名	久保 敏宏
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 関係機関 各種統計資料利用者					
	誰(何)を対象として	各種統計資料利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市に関する各種統計資料を公表し、市民や関係機関の利用に供するとともに、市の現状や統計調査についての理解を深めてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		統計書の編集・発行 協議会への出席 登録統計調査員の確保対策				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	相生市統計書	部	80	80	80	80
	登録統計調査員	人	92	86	86	86

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.108	0.160	148	0.040	25	0.024	60	
	臨時職員	0.080		0	0.120	-	0.120	100	
支出内訳	人件費	1,354,830	1,554,026	115	995,912	64	873,736	88	
	事業費	75,020	86,580	115	86,920	100	100,000	115	
	合計	1,429,850	1,640,606	115	1,082,832	66	973,736	90	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-		-		-	
	県支出金	35,000	46,000	131	44,000	96	54,000	123	
	市債	0	0	-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	1,394,850	1,594,606	114	1,038,832	65	919,736	89	
合計	1,429,850	1,640,606	115	1,082,832	66	973,736	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		外部施設等への統計書配布数							
指標説明(式)		統計書配布数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
部	目標	45	45	100.0	45	100.0	20	44.4	
	実績	45	45	100.0	20	44.4			
指標名2		登録統計調査員の登録率							
指標説明(式)		登録統計調査員/登録基準数*100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	191.7	179.2	93.5	179.2	100.0			

【効率性】

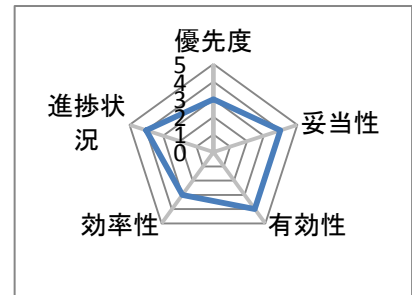
指標名1		統計書1部を作成するためにかかるコスト							
指標説明(式)		統計書作成にかかる経費/統計書部数 (平成17年度より庁内印刷:経費100,000で計算)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1250	1250	100.0	1250	100.0	1250	100.0	
	実績	1250	1250	100.0	1250	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録統計調査員確保対策については、既に登録基準数を超える調査員を確保できている。	4
	市民サービス	各種統計資料の公表により、市民が市の現状を理解することができる。	
効率性	コストの節減	庁内印刷を行っているため、コストは低く抑えられている。	3
	手段の最適性	ホームページを利用し広く公表している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	統計書を予定どおり編集発行できた。 平成29年度からは外部機関への印刷物の配布をホームページ掲載の案内に代え、効率化を図った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国・県の統計の統廃合等に伴い、市統計書への掲載内容の見直しを図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	統計資料としての連続性を意識し、掲載項目を精査する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012100		事業の種類	0			
年度	29	事務事業名	工業統計調査事業		予算事業名	工業統計調査事業 優先度		-	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎		担当者名	久保 敏宏	
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令							
事業の目的	誰のために(具体的に)	工業統計調査に関する情報利用者 行政機関							
	誰(何)を対象として	製造業に属する事業所(国営企業に属する事業所を除く)(全数)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	統計調査の結果を市民に公表するとともに、行政施策の立案・実行の基礎資料とするため、迅速かつ正確な統計調査を行う。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		工業統計調査にかかる事業					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	対象事業所	件	0	0	60	59	
	調査客体	件	0	0	42	39	

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100		
	参事以下職員	0.000	0.180	-	0.065	36	0.024	37		
	臨時職員	0.004		0	0.480	-	0.320	67		
支出内訳	人件費	355,330	1,704,726	480	2,137,102	125	1,442,136	67		
	事業費	2,000	8,000	400	171,440	2,143	252,000	147		
	合計	357,330	1,712,726	479	2,308,542	135	1,694,136	73		
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-		
	県支出金	2,000	8,000	400	188,000	2,350	280,000	149		
	市債	0		-		-		-		
	その他	0		-		-		-		
	一般財源	355,330	1,704,726	480	2,120,542	124	1,414,136	67		
合計	357,330	1,712,726	479	2,308,542	135	1,694,136	73			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工業統計調査調査票の回収率								
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	-	-	-	100	-	100	100.0		
	実績	0	0	-	88.1	-				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-				

【効率性】

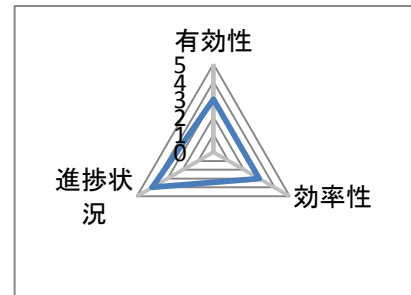
指標名1		工業統計調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	45656	-	43439	95.1	
	実績	0	0	-	54965	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	昨今の経済不況により、調査に非協力的な事業者が増加する傾向にある。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	国によるコールセンターの設置やオンライン調査の拡大により、調査の効率的かつ円滑な実施を図った。	
効率性	コストの節減	全額県支出金を充当のため、市の裁量はない。	3
	執行体制の効率性	調査員による対面調査のため、経済情勢の悪化や個人情報保護意識の高まり等により、調査が困難となってきたことから、オンライン調査のPRIに努め、利用拡大を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年6月1日を基準日として調査を実施した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	調査員による対面調査のため、経済情勢の悪化や個人情報保護意識の高まり等により、調査が困難となってきた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	オンライン調査の利用拡大や民間委託等、新たな調査手段の活用を国に要望するとともに、登録統計調査員との連携を強化し資質向上を図る。

配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012200		事業の種類	0		
年度	29	事務事業名	経済センサス事業		予算事業名	経済センサス事業 優先度 -		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎		担当者名	久保 敏宏
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令						
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済センサスに関する情報利用者 行政機関						
	誰(何)を対象として	事業所及び企業						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業所及び企業の経済活動の状態を調査し、すべての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を全国的及び地域別に明らかにすること、各種統計調査実施のため						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済センサスに係る事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象事業所	件	-	1404	-	-
	調査客体	件	-	1036	-	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.831	519		0	0.020	-	
	臨時職員	0.152		0		-	0.120	-	
支出内訳	人件費	1,925,262	6,610,011	343	371,112	6	841,952	227	
	事業費	124,613	1,360,338	1,092	7,000	1	170,000	2,429	
	合計	2,049,875	7,970,349	389	378,112	5	1,011,952	268	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	174,000	1,500,000	862	7,000	0	170,000	2,429	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	1,875,875	6,470,349	345	371,112	6	841,952	227	
	合計	2,049,875	7,970,349	389	378,112	5	1,011,952	268	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経済センサス調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	86.2	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		経済センサス1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	1739	7693	442.4	-	-	-	-	

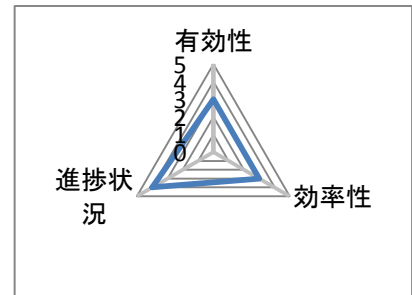
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	本年度調査なしのため、調査区管理事務のみ。	3
効率性	コストの節減	本年度調査なしのため、調査区管理事務のみ。 (全額県支出金を充当のため、市の裁量はない。)	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本年度調査なしのため、調査区管理事務のみ。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成31年の経済センサス基礎調査実施に向けた回収率の向上対策が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成31年経済センサス基礎調査の準備事務を着実に実施するとともに、回収率向上対策を図る。

配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012300	事業の種類	0
年度	29	事務事業名	厚生労働統計調査事業	予算事業名	厚生労働統計調査事業(市民) 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課	
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	人口動態調査令・人口動態調査令施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	国、兵庫県			
	誰(何)を対象として	出生、死亡、婚姻、離婚届等提出者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口動向を調査することにより、国・地方公共団体の各種施策のための基礎資料として活用			

2 事業の概要 Do

実施の概要	人口動態調査令により次の事務を行う。 出生票・死亡票・婚姻票・離婚票・死産票 作成					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	人口動態調査票作成件数	件	779	806	832	859

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100
	参事以下職員	0.410	0.180	44	0.077	43	0.077	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	3,412,874	1,704,726	50	965,398	57	953,834	99
	事業費	38,526	45,655	119	43,977	96	44,000	100
	合計	3,451,400	1,750,381	51	1,009,375	58	997,834	99
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金	29,477	37,655	128	36,977	98	37,000	100
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	3,421,923	1,712,726	50	972,398	57	960,834	99
合計	3,451,400	1,750,381	51	1,009,375	58	997,834	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	人口動態調査票作成時間								
指標説明(式)	人口動態調査票作成の平均時間								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	2	40.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

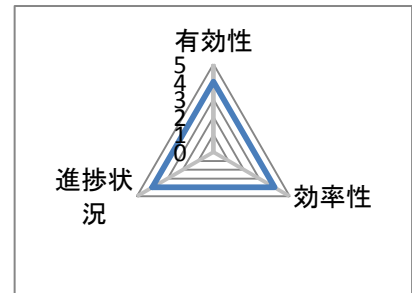
指標名1		1件あたりの調査票作成コスト							
指標説明(式)		総事業費／調査票作成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10037	1218	12.1	1240	101.8	1162	93.7	
	実績	4431	2172	49.0	1213	55.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの調査票作成コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	調査票作成業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き戸籍事務処理と連携し、正確・迅速な処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	戸籍事務処理と連携し、正確・迅速な処理を行う。

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012400	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	証明書交付事業	予算事業名	戸籍住民基本台帳等事務事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課	
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名 塚本 裕貴
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名	住基ネットシステム		戸籍事務電算化		
	戸籍システム保守料		住民票等コンビニ交付事業		
	住民票等コンビニ交付事業(保守)				
根拠法規及び関連法規	戸籍法、住民基本台帳法、相生市印鑑条例、相生市手数料条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	戸籍等謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の申請者			
	誰(何)を対象として	戸籍等謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の申請者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	住居身分関係などの公証を受けることにより、年金受給手続・相続手続等各種届出の添付書類として日常生活において利便性を確保できる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	戸籍法に基づく戸籍謄抄本等や住民基本台帳に基づく住民票の写し等及び、相生市印鑑条例に基づく印鑑証明書の交付や、手数料の徴収、納付を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	証明書交付件数(有料)	件	35400	34282	34079	34000
	証明書交付件数(無料)	件	3672	3932	3541	3500

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.440	0.591	134	0.995	168	1.006	101	
	臨時職員	1.152	1.004	87	0.859	86	0.774	90	
支出内訳	人件費	6,539,222	7,419,039	113	10,313,128	139	10,535,376	102	
	事業費	21,867,136	14,081,470	64	18,106,835	129	36,894,000	204	
	合計	28,406,358	21,500,509	76	28,419,963	132	47,429,376	167	
財源内訳	国庫支出金	10,322,000	5,152,000	50	7,493,000	145	9,769,000	130	
	県支出金	8,000	8,000	100	7,000	88	7,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	13,389,250	12,881,250	96	12,731,200	99	13,342,000	105	
	一般財源	4,687,108	3,459,259	74	8,188,763	237	24,311,376	297	
合計	28,406,358	21,500,509	76	28,419,963	132	47,429,376	167		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	証明書交付平均時間								
指標説明(式)	戸籍謄抄本・住民票の写し・印鑑証明書等の請求受け付けから交付までの平均時間								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

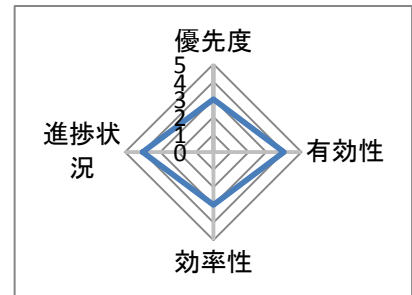
指標名1		1件あたりの証明書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費/証明書交付件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	544	563	103.5	790	140.3	1265	160.1	
	実績	727	563	77.4	755	134.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	コンビニ交付を開始し、市民の利便性を図った。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの証明書交付コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできるよう努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確、迅速に事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	正確な証明書を発行するよう、交付前に複数人での確認を行う。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012500		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	戸籍事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名	大川 彩恵	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		社会保障・税番号制度システム整備事業					
根拠法規及び関連法規		戸籍法・戸籍法施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に本籍地を有する人					
	誰(何)を対象として	戸籍届出及び受付事務並びに戸籍簿、除籍簿の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	国籍及び身分関係、居住関係等について公証を受けられることにより、市民が安心して暮らせる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		戸籍新システムを活用し、戸籍法に基づき、戸籍届出の受付、審査、受理、記載を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	戸籍届出受付件数	件	1783	1730	1753	1755
	年度末本籍数	件	16188	16090	16188	16155

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	2.946	2.952	100	2.542	86	2.547	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	22,387,226	22,591,746	101	19,990,268	88	20,580,454	103	
	事業費			-		-		-	
	合計	22,387,226	22,591,746	101	19,990,268	88	20,580,454	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,387,226	22,591,746	101	19,990,268	88	20,580,454	103	
合計	22,387,226	22,591,746	101	19,990,268	88	20,580,454	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		戸籍簿作成平均日数							
指標説明(式)		戸籍関係届出受付から戸籍簿作成までに要する日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		1件あたりの戸籍届出受付コスト							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

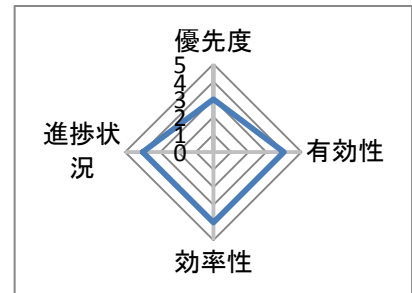
指標名1		1件あたりの戸籍届出受付コスト							
指標説明(式)		総事業費／戸籍届出受付総件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13535	12792	94.5	12002	93.8	11727	97.7	
	実績	12556	13059	104.0	11403	87.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて1件あたりの戸籍届出受付コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	システムを活用し、受付に伴う時間短縮、関連事務の効率化、事務の正確化を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	システムの機能を活用し、引き続き正確・迅速に事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	システムの機能を活用し、さらに事務の効率化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012700		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	印鑑登録事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹		担当者名	桔梗 称花
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市印鑑条例、相生市印鑑条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	印鑑登録者					
	誰(何)を対象として	印鑑登録者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	印鑑登録をし、提出が義務付けられている不動産登記や公正証書作成等に印鑑証明を添付することにより、本市に在住する本人であることの証明となり、取引等の安全性を確保できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市印鑑条例に基づく、印鑑登録の申請、印鑑登録の廃止申請等の受付。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	印鑑登録等申請受付件数	件	1316	1210	1228	1230	
	年度末登録総件数	件	20754	20643	20510	20400	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.292	0.343	117	0.312	91	0.312	100	
	臨時職員	0.152	0.103	68	0.121	117	0.052	43	
支出内訳	人件費	2,912,886	3,201,452	110	3,097,842	97	2,968,928	96	
	事業費			-		-		-	
	合計	2,912,886	3,201,452	110	3,097,842	97	2,968,928	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	286,200	270,300	94	275,400	102	285,000	103	
	一般財源	2,626,686	2,931,152	112	2,822,442	96	2,683,928	95	
合計	2,912,886	3,201,452	110	3,097,842	97	2,968,928	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		印鑑登録作成平均時間							
指標説明(式)		印鑑登録の申請から登録までの平均時間							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	8	114.3	7	87.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

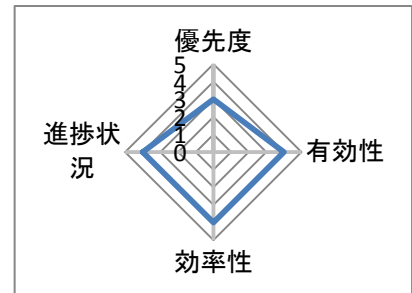
指標名1		1件あたりの印鑑登録等申請受付コスト							
指標説明(式)		総事業費／印鑑登録等申請受け付け件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2300	2331	101.3	2609	111.9	2414	92.5	
	実績	2213	2646	119.6	2523	95.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの印鑑登録等申請受付コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできるよう努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確・迅速に事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務の効率化・迅速化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012800		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	住民基本台帳事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名	塚本 裕貴	
取組み事項	その他		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		住民基本台帳法、住民基本台帳法施行令、住民基本台帳法施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に住所地を有する人					
	誰(何)を対象として	住民基本台帳の記録管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	居住関係の交渉を受け、選挙人名簿に登録されるとともに、各種行政サービスを受けることができ、市民の利便性が確保できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住民基本台帳法に基づく住民記録処理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	年度末台帳管理総件数	件	30380	30209	29972	29768
	登録・異動処理件数	件	4960	4526	4520	4500

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.426	1.923	135	2.004	104	2.020	101	
	臨時職員	0.440	0.552	125	0.612	111	0.419	68	
支出内訳	人件費	12,122,946	16,277,295	134	17,449,992	107	17,583,710	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	12,122,946	16,277,295	134	17,449,992	107	17,583,710	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,122,946	16,277,295	134	17,449,992	107	17,583,710	101	
	合計	12,122,946	16,277,295	134	17,449,992	107	17,583,710	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民基本台帳登録・異動処理平均時間							
指標説明(式)		住民基本台帳法に基づく登録や異動の申請から処理が終わるまでの平均時間							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

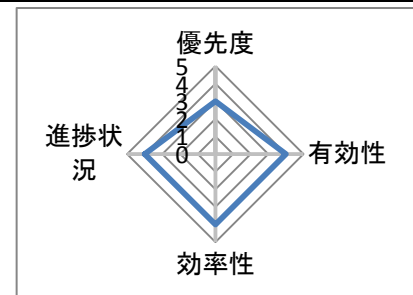
指標名1		1件あたりの登録・異動処理コスト							
指標説明(式)		総事業費／登録・異動処理件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1289	3440	266.9	3890	113.1	3907	100.4	
	実績	2444	3596	147.1	3861	107.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に処理した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたりの登録・異動処理コストが増加した。	4
	執行体制の効率性	登録・異動業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確・迅速に事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き事務処理の正確化・迅速化に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106012900		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	臨時運行許可事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹		担当者名	桔梗 称花
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		道路運送車両法、相生市自動車臨時運行許可規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	臨時運行許可申請者					
	誰(何)を対象として	臨時運行許可申請者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	車の継続検査時、新規登録時の検査場への回送等の目的で道路を運行する為の特例的な許可制度であり、申請者の利便性を確保する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		道路運送車両法第34条第2項に基づく自動車の臨時運行許可申請に対する審査・許可				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	臨時運行許可件数	件	190	108	132	135

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.050	0.050	100	0.066	132	0.066	100	
	臨時職員	0.027	0.021	78	0.022	105	0.014	64	
支出内訳	人件費	787,367	779,923	99	938,448	120	906,216	97	
	事業費			-		-		-	
合計		787,367	779,923	99	938,448	120	906,216	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	142,500	81,000	57	99,000	122	112,000	113	
	一般財源	644,867	698,923	108	839,448	120	794,216	95	
合計		787,367	779,923	99	938,448	120	906,216	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		臨時運行許可申請受付平均時間							
指標説明(式)		臨時運行許可申請受付から、許可証・番号標を交付する平均時間							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	5	5	100.0	7	140.0	7	100.0	
	実績	5	7	140.0	7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

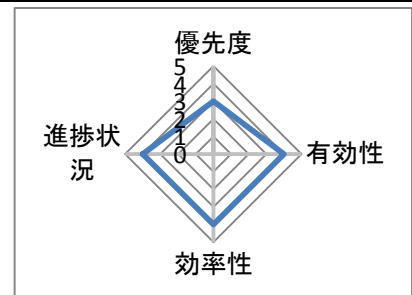
指標名1		1件あたりの許可コスト							
指標説明(式)		総事業費／許可件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4602	4378	95.1	7025	160.5	6713	95.6	
	実績	4144	7222	174.3	7109	98.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	1件あたりのコストが減少した。	4
	執行体制の効率性	窓口受付業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	正確・迅速に事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	個々において窓口対応のマニュアルを再確認し、交付前には2名体制での確認作業を実施し、事務の正確化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013000		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	公的個人認証受付事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原 正樹		担当者名	塚本 裕貴
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律、同法施行規則、同法施行令					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第3条及び第22条に基づく事務。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公的個人認証の受付、認証を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	公的個人認証事務件数	件	150	2004	465	400

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.070	125	0.070	100	
	臨時職員	0.026	0.010	38	0.018	180		0	
支出内訳	人件費	829,740	796,456	96	958,784	120	898,212	94	
	事業費			-		-		-	
合計		829,740	796,456	96	958,784	120	898,212	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	829,740	796,456	96	958,784	120	898,212	94	
合計		829,740	796,456	96	958,784	120	898,212	94	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公的個人認証申請受付平均時間							
指標説明(式)		公的個人認証申請受付から認証にかかる平均時間							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	15	15	100.0	10	66.7	10	100.0	
	実績	15	12	80.0	10	83.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

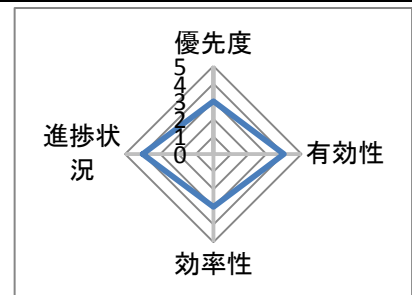
指標名1		1件あたりの認証コスト							
指標説明(式)		総事業費／認証件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14672	395	2.7	1556	393.9	2246	144.3	
	実績	5531	397	7.2	2062	519.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	前年度に比べて、1件あたり認証コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	認証業務を係内でカバーできる体制づくりに努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	さらに事務処理の効率化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内での研修を充実させ、さらに事務処理の効率化と正確化を図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013100		事業の種類	0		
年度	29	事務事業名	自衛官募集事務事業		予算事業名	優先度		-
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)		その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名	平林 良子	
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		自衛隊法施行令						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(日本人)						
	誰(何)を対象として	市民(日本人)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	自衛官募集の情報を提供することにより、就職の機会が広がる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		自衛官募集に関する次の事務を行う。 広報紙への募集記事の掲載、募集案内資料の設置、ポスター掲示場所の提供等					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	広報紙掲載回数	回	4	8	7	8	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.058	0.059	102	0.059	100	0.059	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	779,210	792,991	102	826,474	104	810,806	98	
	事業費			-		-		-	
合計		779,210	792,991	102	826,474	104	810,806	98	
財源内訳	国庫支出金	14,000	19,000	136	19,000	100	14,000	74	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	765,210	773,991	101	807,474	104	796,806	99	
合計		779,210	792,991	102	826,474	104	810,806	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自衛官募集広報紙掲載回数							
指標説明(式)		広報紙掲載回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	8	200.0	8	100.0	
	実績	4	8	200.0	7	87.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

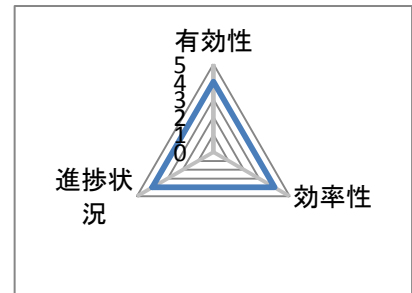
指標名1		広報紙掲載コスト							
指標説明(式)		総事業費／広報紙掲載回数×1回あたりの平均発行部数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11	14	127.3	7	50.0	7	100.0	
	実績	14	7	50.0	8	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。成人式の際に自衛官募集の啓発グッズ及びパンフレットを配布し、周知を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に執行した。	
効率性	コストの節減	1件あたりの広報掲載コストが減少した。	4
	執行体制の効率性	募集時期にあわせて、随時広報紙に掲載している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	引き続き効果的な方法で周知する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	適時の広報と関係団体との連携を図る。

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013200		事業の種類	0	
年度	29	事務事業名	日雇特例被保険者事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原正樹	担当者名	木下卓巳	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		健康保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	日雇特例被保険者					
	誰(何)を対象として	日雇特例被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日雇特例被保険者の生活の安定と福祉の向上に寄与する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日雇特例被保険者に関する報告等を作成する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	被保険者手帳交付等状況報告書作成	件	—	—	—	—

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			—		—		—	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費			—		—		—	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		被保険者手帳交付等状況報告							
指標説明(式)		報告件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

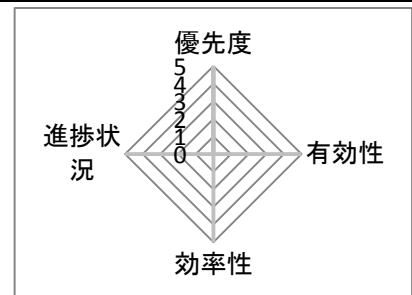
指標名1		事業費1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費/報告件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年2月28日をもって、相生市の区域については、新規に当該被保険者となる者の見込みがないため、申請により、厚生労働大臣が指定する日雇特例被保険者に係る事務の一部を行わせる地域から除外された。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013300	事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	福祉医療費等助成事業	予算事業名	福祉医療費一般事務経費 優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)	その他		担当課長	佐原正樹	担当者名	木下卓巳
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	福祉医療費助成システム構築事業					
根拠法規及び関連法規	福祉医療費等助成条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人(高齢期移行者)、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児				
	誰(何)を対象として	老人(高齢期移行者)、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児				
	意図(どのような状態にしたいのか)	これらの者に係る医療費の一部を助成し、もってこれらの者の福祉の増進を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	老人(高齢期移行者)、重度障害者(児)、乳幼児等、子ども、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び遺児に係る医療費を助成するための各種受給者証の交付にかかる事務経費 各種事業評価は別シートあり					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	福祉医療費一般事務経費	円	25984220	13503277	13002842	15269000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100
	参事以下職員			-	-	-	-	
	臨時職員			-	-	-	-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92
	事業費	25,984,220	13,503,277	52	13,002,842	96	15,269,000	117
	合計	26,329,474	13,851,703	53	13,373,954	97	15,610,992	117
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金		3,405,568	-	3,616,728	106	3,762,775	104
	市債			-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-
	一般財源	26,329,474	10,446,135	40	9,757,226	93	11,848,217	121
合計	26,329,474	13,851,703	53	13,373,954	97	15,610,992	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

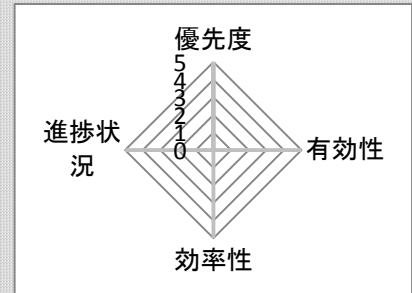
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013400		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	厚生労働統計調査事業(社会福祉)		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		その他		担当課長	片山 和彦	担当者名	長棟 尚美
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		統計法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉行政の実態を数量的に把握することにより、社会福祉行政運営の基礎資料とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉行政統計に係る経費の執行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	予算執行額	円	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-	-	-	-	-	
	臨時職員			-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

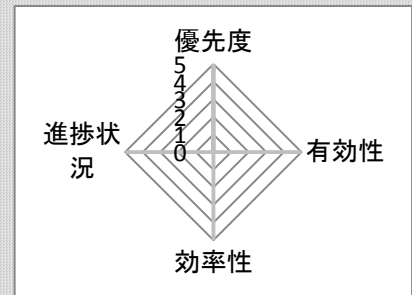
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013500		事業の種類	1				
年度	29	事務事業名	社会福祉総務費事務経費		予算事業名	社会福祉総務費事務経費(社会福祉)		優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	健康福祉部社会福祉課				
施策名(中)		その他			担当課長	片山 和彦		担当者名	番匠 芳敬	
取組み事項		その他			実施計画への記載	有		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		地域福祉計画策定事業								
根拠法規及び関連法規		社会福祉法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民								
	誰(何)を対象として	相生市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域福祉計画の基本理念、基本目標を実現し、小地域福祉活動(隣近所による見守り活動等)の活性化を図る。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域福祉計画策定にかかる経費の執行。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	アンケート調査	件	—	—	2,000	
	策定委員会の実施	回	—	—	5	
	推進委員会の実施	回	1	1	—	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.232	0.192	83	0.192	100	0.136	71	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	2,081,078	1,795,146	86	1,852,968	103	1,422,648	77	
	事業費	344,714	277,806	81	3,634,284	1,308	786,000	22	
	合計	2,425,792	2,072,952	85	5,487,252	265	2,208,648	40	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	2,425,792	2,072,952	85	5,487,252	265	2,208,648	40	
合計	2,425,792	2,072,952	85	5,487,252	265	2,208,648	40		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

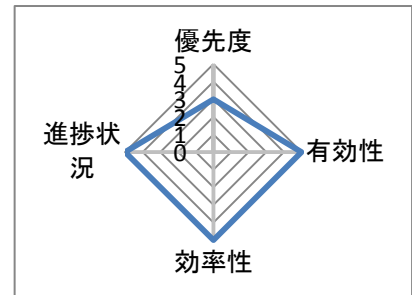
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	市民の見守り活動等を実施している民生委員・児童委員に対し、年7回研修会等を開催し、地域福祉への理解を深めることができた。	5
効率性	負担割合の適正化	民生・児童委員協議会で地域福祉の研修会の実施。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉計画策定委員会を立ち上げ、計画内容等を検討した。また、パブリックコメントを実施し、広く意見を求め、H30.3月末に第2次相生市地域福祉計画の策定をおこなった。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	民生児童委員、福祉委員、地区社協役員については、地域福祉の重要性について浸透しつつあるが、一般市民には計画内容が十分浸透していない



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	1 社協、自治会、民生・児童委員との連携強化 2 庁内推進体制へのフィードバック

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013600		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	障害者福祉費事務経費		予算事業名	障害者福祉費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		その他			担当課長	片山 和彦	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉関連サービスを受ける市民						
	誰(何)を対象として	障害福祉関連事務を執行する職員及び職場環境等の体制						
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害福祉担当職員の資質向上と事務機器等の整備・保守を適切に行い、市民が障害福祉関連サービスを円滑かつ適切に受けることのできる体制を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		事務処理のための環境・基盤整備を行うとともに、事務の効率化・円滑化を図るため、担当職員の専門知識の向上及び県並びに県下各自治体との連絡調整・情報共有を目的に、研修会や連絡会等に参加する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	障害者福祉費事務経費	円	3668454	1085265	723980	232000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.060	0.072	120	0.072	100	0.116	161	
	臨時職員	0.049	0.128	261	0.136	106	0.136	100	
支出内訳	人件費	917,605	1,224,642	133	1,285,032	105	1,650,240	128	
	事業費	3,668,454	1,085,265	30	723,980	67	232,000	32	
	合計	4,586,059	2,309,907	50	2,009,012	87	1,882,240	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,586,059	2,309,907	50	2,009,012	87	1,882,240	94	
合計	4,586,059	2,309,907	50	2,009,012	87	1,882,240	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

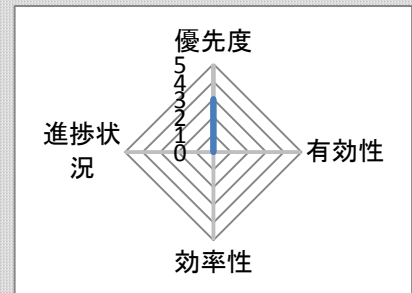
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013700	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	保健衛生総務事務経費	予算事業名	保健衛生総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)	その他		担当課長	清水 直子	担当者名 井上 勇治
取組み事項	その他		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名	健康管理システム更新		健康管理システム保守		
根拠法規及び関連法規	予防接種法、母子保健法、健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に暮らせる環境づくり			

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康管理システムの稼働(適正管理)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	健康管理システムリース料	円			2,198,880	3,298,320
	健康管理システム保守料	円	826,200	826,200	810,000	889,920
	健康管理システム更新料	円				486,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.600	0.260	43	0.260	100	0.342	132	
	臨時職員		0.300	-	0.570	190	0.340	60	
支出内訳	人件費	4,834,454	3,089,626	64	3,879,172	126	4,025,804	104	
	事業費	3,975,531	4,637,896	117	5,094,858	110	6,582,000	129	
	合計	8,809,985	7,727,522	88	8,974,030	116	10,607,804	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,809,985	7,727,522	88	8,974,030	116	10,607,804	118	
合計	8,809,985	7,727,522	88	8,974,030	116	10,607,804	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		健康管理システムリース料(円)							
指標説明(式)		健康管理システムリース料(円)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	2,397,600	-	3,298,320	137.6	
	実績			-	2,198,880	-			
指標名2		健康管理システム保守料(円/年)							
指標説明(式)		健康管理システム保守料(円/年)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	826,200	826,200	100.0	810,000	98.0	889,920	109.9	
	実績	826,200	826,200	100.0	810,000	98.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

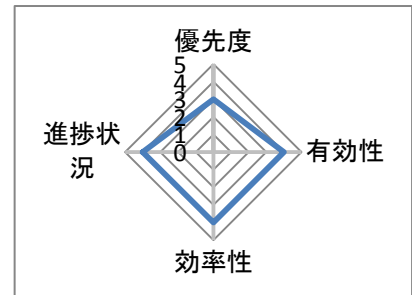
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	特定健診、基本健診、がん検診などの一般健診情報、予防接種、乳幼児健診、妊婦健診費助成などの母子保健情報をシステムに入力し、システムの維持管理を行った。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、予防接種法、母子保健法に定める実施事業の健康情報を逐次システムに入力した。	
効率性	執行体制の効率性	システム導入時のシステム保守点検料により、軽微な制度改正等によるバージョンアップを含めシステムの適正管理を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	出生から高齢に至る生涯にわたっての情報システムであり、健康情報を蓄積中である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	健診データ分析ソフトの更新により、適正管理を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	29年度からはリース契約により、システムを導入しているが、30年度以降もリースにより適正に運営していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013800	事業の種類	9
年度	29	事務事業名	児童福祉総務費事務経費	予算事業名	児童福祉総務費事務経費 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)	その他		担当課長	清水 直子	担当者名 高橋 克和
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		児童福祉法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育てを行うすべての家庭			
	誰(何)を対象として	児童及びその養育者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童を扶養または、監護している者の子育ての悩みに対して適切な援助し、適切な指導・助言を行い問題を解決していくことで、子どもが心身ともに健やかに生まれ育つ環境を整える。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもが心身ともに健やかに生まれ育つ環境を整備していくための経費を執行する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	会議等への出席	回	1	1	3	3
	里親会負担金	円	5000	5000	5000	5000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.367	0.138	38	0.088	64	0.075	85	
	臨時職員	0.435	0.370	85	0.060	16	0.185	308	
支出内訳	人件費	4,186,913	2,352,846	56	1,208,336	51	1,463,712	121	
	事業費	197,720	7,640	4	5,000	65	13,000	260	
	合計	4,384,633	2,360,486	54	1,213,336	51	1,476,712	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,384,633	2,360,486	54	1,213,336	51	1,476,712	122	
合計	4,384,633	2,360,486	54	1,213,336	51	1,476,712	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

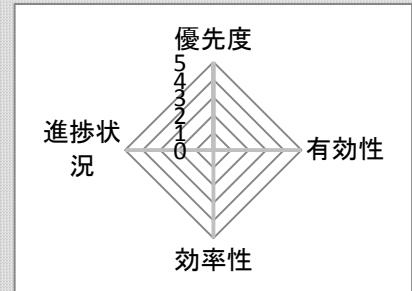
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106013900		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	建設管理課事務経費		予算事業名	建設管理課事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		その他		担当課長	團	担当者名	吉田	
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	建設管理課職員						
	誰(何)を対象として	建設管理課職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	建設管理課内に係る事務を円滑に遂行する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		建設管理課内に係る調整事務及び円滑な推進を図る				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	建設管理課事務経費	千円	317	309	1402	2439

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.200	0.196	98	0.100	51	0.100	100	
	臨時職員	0.128	0.128	100	0.080	63	0.080	100	
支出内訳	人件費	2,164,086	2,158,982	100	1,353,632	63	1,363,952	101	
	事業費	317,186	309,644	98	1,402,332	453	2,439,000	174	
	合計	2,481,272	2,468,626	99	2,755,964	112	3,802,952	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,481,272	2,468,626	99	2,755,964	112	3,802,952	138	
合計	2,481,272	2,468,626	99	2,755,964	112	3,802,952	138		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

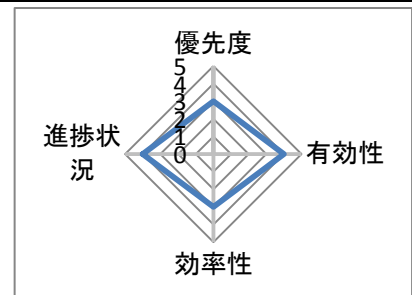
指標名1		建設管理課事務経費							
指標説明(式)		旅費＋消耗品費＋登記委託料等＋負担金及び交付金							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	350000	409000	116.9	2405000	588.0	2439000	101.4	
	実績	317186	309644	97.6	1402332	452.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	特段の問題無く行政サービスが図られている。	4
効率性	コストの節減	登記委託料等により事業費が増加傾向。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	経費の適切な執行に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014000	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	都市整備課事務経費	予算事業名	都市整備課事務経費 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		その他		担当課長	齊藤 誠
取組み事項		その他		担当者名	長治 宏幸
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	庁内の土木設計			
	誰(何)を対象として	市の土木積算システム			
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県内の市町が土木積算システムを共同利用する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		設計積算システムを使用し、設計積算業務の効率的で正確な事務処理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積算システム利用回数	回	150	150	236	150

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.112	-	0.112	100	
	臨時職員	0.397	0.420	106	0.220	52	0.220	100	
支出内訳	人件費	1,345,297	1,443,366	107	1,815,008	126	1,857,184	102	
	事業費	4,478,424	2,108,043	47	1,925,076	91	2,056,000	107	
	合計	5,823,721	3,551,409	61	3,740,084	105	3,913,184	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,823,721	3,551,409	61	3,740,084	105	3,913,184	105	
合計	5,823,721	3,551,409	61	3,740,084	105	3,913,184	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県土木積算共同利用率							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	17000	19100	112.4	13927	72.9	13707	98.4	
	実績	29856	14054	47.1	8157	58.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

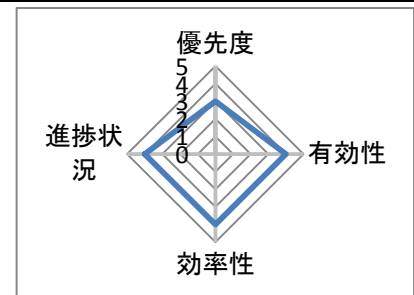
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである	4
効率性	コストの節減	兵庫県内の市町が共同で積算システムを利用するうため、ランニングコストが安価に抑えられる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	兵庫県と連携していくことが重要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	システムの適正運用が重要である。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014100		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	教育統計調査事業		予算事業名	教育統計調査事業 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		その他		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		統計法(昭和二十二年法律第十八号)第二条 学校基本調査規則(昭和二十七年三月十一日文部省令第四号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	文部科学省、地方公共団体(地方交付税算定基準等)					
	誰(何)を対象として	学校、卒業者及び不就学の学齢児童生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園、専修学校及び各種学校の教員、職員、幼児、児童及び生徒の数並びに学級数に関する事項について検査し、報告する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	学校基本調査	実施件数	19	19	19	19	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	674,762	681,110	101	711,440	104	693,936	98	
	事業費	24,000	25,000	104	24,000	96	24,000	100	
	合計	698,762	706,110	101	735,440	104	717,936	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	24,000	25,000	104	24,000	96	24,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	674,762	681,110	101	711,440	104	693,936	98	
合計	698,762	706,110	101	735,440	104	717,936	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

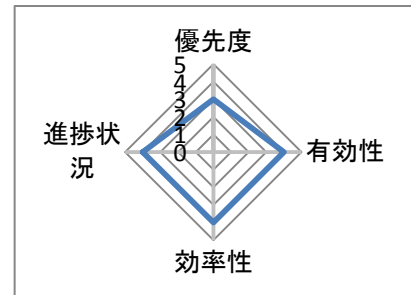
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正な調査による正確なデータの把握が図れた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた調査を実施した。	
効率性	手段の最適性	全て電算による報告により、効率的に行うことができた。	4
	執行体制の効率性	各学校における専門的立場の職員により実施した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入力項目についての認識誤りや、他調査との整合性がとれていない学校園があり、訂正に至るケースが散見された。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	他調査との整合性を保つために、入力担当者と管理職等による確認作業を徹底させる。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014200	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	議会事務局管理事業	予算事業名	議会費事務経費 優先度 4
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局	
施策名(中)	その他		担当課長	寺田 大輔	担当者名 坪田 知己
取組み事項	その他		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名	議会インターネット配信事業		インターネット配信		
根拠法規及び関連法規	相生市議会会議規則等				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市議会議員			
	誰(何)を対象として	市議会議員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正で効率的な議会事務局の管理、運営を図り、もって議員活動の効果的な支援を行える体制としたい。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)議場、委員会室等の管理 (2)来庁議員・市民等の受け入れ (3) 議会事務局職員の研修				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	来庁議員等対応日数	日	233	238	240	240
	職員研修日数	日	7	9	5	7

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.520	0.520	100	0.520	100	0.520	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	4,840,454	4,892,306	101	5,016,632	103	5,155,992	103	
	事業費	1,109,665	975,439	88	926,348	95	1,058,000	114	
	合計	5,950,119	5,867,745	99	5,942,980	101	6,213,992	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,950,119	5,867,745	99	5,942,980	101	6,213,992	105	
合計	5,950,119	5,867,745	99	5,942,980	101	6,213,992	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		来庁議員、市民等の受け入れ							
指標説明(式)		来庁議員、市民等の受け入れ対応日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日数	目標	240	240	100.0	240	100.0	240	100.0	
	実績	233	238	102.1	240	100.8			
指標名2		議会事務局職員研修							
指標説明(式)		議会事務局職員研修日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日数	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	9	128.6	5	55.6			

【効率性】

指標名1		来庁議員、市民等対応にかかる1日あたりのコスト							
指標説明(式)		管理経費(需用費、役務費、使用料及び賃借料)／対応日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2254	1363	60.5	1363	100.0	1363	100.0	
	実績	1749	1040	59.5	1140	109.6			

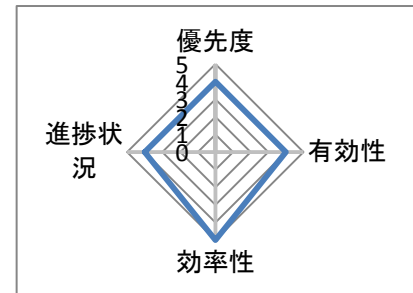
指標名2		職員研修にかかるコスト							
指標説明(式)		職員研修費(旅費、負担金)／日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	15869	15211	95.9	12360	81.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	最低限の必要経費を計上するなど予算を精査した。	4
	成果目標(改善)達成度	昨年度の実績も考慮し、管理経費としての必要経費(コスト)及び問題点(有用性の有無)を検証し、極力支出を抑制した。	
効率性	手段の最適性	職員研修にあたっては、研修内容を精査し、必要最小限の研修に留めた。	5
	負担割合の適正化	平成19年度より議会長等の負担金について、有用性の検証により適正化が図られた。併せて、職員研修内容等のあり方についても引き続き検討する。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	より開かれた議会を目指して、本会議インターネット動画配信のための調査・研究を行い、市民サービスの向上にむけた準備を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	所属している協議会の有効性等を含め、内容の向上を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	有効性とコストのバランスを考慮し、必要最小限の予算組を行った。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014300		事業の種類	3				
年度	29	事務事業名	議会活動支援事業		予算事業名	議会活動事業		優先度	4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	議会事務局議会事務局				
施策名(中)		その他			担当課長	寺田 大輔		担当者名	坪田 知己	
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市議会議員								
	誰(何)を対象として	市議会議員								
	意図(どのような状態にしたいのか)	議長政務の円滑な支援並びに、議員活動全体をサポートし、かつ研修・調査を企画・実施することにより議員の資質向上を図り、もって市民の負託に応える市議会としたい。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)議長政務の調整 (2)議員視察の依頼・調整 (3)議員視察の受け入れ (4)請願・陳情の受理 (5)議員報酬・共済費等支出の手続き					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	議長公務日数	日	146	144	141	150	
	請願・陳情件数	件	12	12	8	15	
	先進地調査件数	件	8	8	6	8	
	議員視察受入件数	件	40	34	26	40	

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100		
	参事以下職員	0.960	0.960	100	0.960	100	0.960	100		
	臨時職員	0.360	0.360	100	0.360	100	0.360	100		
支出内訳	人件費	8,434,814	8,520,546	101	8,728,632	102	8,993,272	103		
	事業費	142,445,268	124,749,804	88	124,978,716	100	125,624,000	101		
	合計	150,880,082	133,270,350	88	133,707,348	100	134,617,272	101		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	150,880,082	133,270,350	88	133,707,348	100	134,617,272	101		
合計	150,880,082	133,270,350	88	133,707,348	100	134,617,272	101			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		議長の公務日数								
指標説明(式)		公務日数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
日	目標	150	150	100.0	150	100.0	150	100.0		
	実績	146	144	98.6	141	97.9				
指標名2		議員調査件数								
指標説明(式)		各常任委員会、特別委員会、会派等による調査件数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
件	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0		
	実績	8	8	100.0	6	75.0				

【効率性】

指標名1		議員活動・調査にかかる1人当たりのコスト							
指標説明(式)		議員活動・調査にかかる旅費／議員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	258071	258429	100.1	249429	96.5	240786	96.5	
	実績	125722	134887	107.3	166330	123.3			

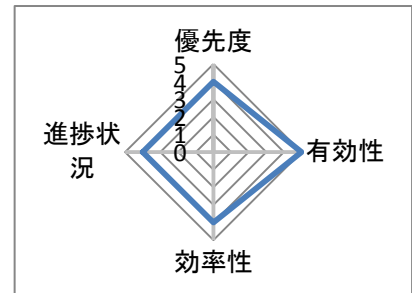
指標名2		議員活動・調査にかかる1人当たりのコスト							
指標説明(式)		政務調査費支出額／議員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	145714	144000	98.8	144000	100.0	144000	100.0	
	実績	122767	119011	96.9	114668	96.4			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市と同規模の自治体等との比較では、議員定数等は少ない方であるが、今後の議会活動の実効性等を検証する必要がある。	5
	組織運営・適正管理	26年度に議員定数の見直しを行う等、議云改革を継続して行っている。また、19年度より常任委員会を2つにすることで、調査件数が削減されたが、その弊害(調査項目の偏り等)も顕在化しており、今後の運営等が課題となっている。	
効率性	コストの節減	議員活動に対する経費(コスト)として、報酬、旅費等については、常に精査し今後の課題としている。また、政務活動費の適正支出を図るため、領収書原本添付を義務付けるなど、透明性の向上を図っている。	4
	手段の最適性	議員活動の調査研究については、インターネット等の情報化機器の活用により、最新の情報を収集するなど効率的な活動が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	議員一人ひとりの活動がより重要となっていることから、議会活動の成果の市民への情報提供及び経費等について、より透明性を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	議会報告会については、あり方や方法について、引き続き調査研究する。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014400		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	議会図書室整備事業		予算事業名		
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局			
施策名(中)	その他		担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方自治法、相生市議会会議規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	議員					
	誰(何)を対象として	議員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	議員の資質向上及び情報の提供を行うため整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1) 先進事例の提供 (2) 各種法令集の提供 (2) 会議録、相生市史等永久保存文書の保管					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	新規図書の購入	冊	3	3	0	2	
	市町村総覧の加除数	回	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	446,014	452,706	102	476,472	105	455,672	96	
	事業費			-		-		-	
合計		446,014	452,706	102	476,472	105	455,672	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	446,014	452,706	102	476,472	105	455,672	96	
合計		446,014	452,706	102	476,472	105	455,672	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規図書購入件数							
指標説明(式)		発注回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	3	3	100.0	0	0.0			
指標名2		地方公共団体総覧加除回数							
指標説明(式)		年度ごと加除回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

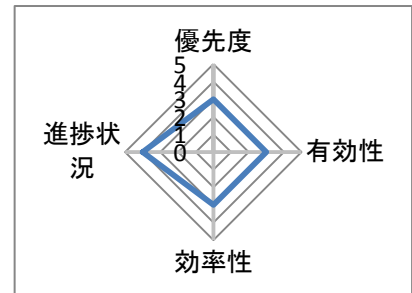
指標名1		議会図書室整備事業管理にかかるコスト							
指標説明(式)		総事業費／加除回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	多くの議会事務局が採用している「地方公共団体総覧」については、その必要性を検証し、平成18年度で廃止したが、図書室運営に支障はない。	3
	組織運営・適正管理	議会図書室の整備については、書籍による情報の収集とインターネットによる情報の収集との両面に対応している。	
効率性	コストの節減	議会図書室として必要な経費については、議会事務局一般事務経費と一本化することによりコストの縮減が図れた。	3
	執行体制の効率性	議会図書室の情報提供は、インターネット等によるものを利用し、できるだけ書籍の購入は避けるようにした。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	議会図書室の充実のため、議員の要望を適切に把握した書籍の選定を行うとともに、今後も継続的に書籍の更新を進める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	議会基本条例においても整備充実が求められている議会図書室の機能維持・向上を図っていく。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014500		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	会議録作成事業		予算事業名	会議録作成事業 優先度 3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	議会事務局議会事務局			
施策名(中)		その他		担当課長	寺田 大輔		担当者名	坪田 知己
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	議会の活性化の一環として、適正で効率的な議会運営を行い、もって開かれた議会を目指す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)本会議録の調整 (2)委員会記録の調整					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	本会議開催日数	日	15	15	15	15	
	委員会開催日数	日	27	28	29	29	
	会議録ページ数	頁	734	633	628	970	
	委員会録ページ数	頁	820	872	800	1200	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.360	0.360	100	0.360	100	0.360	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,542,574	3,582,426	101	3,676,392	103	3,770,952	103	
	事業費	2,759,683	2,506,913	91	3,926,835	157	3,785,000	96	
	合計	6,302,257	6,089,339	97	7,603,227	125	7,555,952	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,302,257	6,089,339	97	7,603,227	125	7,555,952	99	
合計	6,302,257	6,089,339	97	7,603,227	125	7,555,952	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		本会議開催							
指標説明(式)		本会議開催日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	16	15	93.8	15	100.0	15	100.0	
	実績	15	15	100.0	15	100.0			
指標名2		会議録検索システムアクセス数							
指標説明(式)		月平均アクセス数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	300	300	100.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	208	183	88.0	175	95.6			

【効率性】

指標名1		会議録作成にかかる1ページ当たりのコスト							
指標説明(式)		作成事業費／総ページ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2609	2914	111.7	2205	75.7	2205	100.0	
	実績	2145	2107	98.2	2098	99.6			

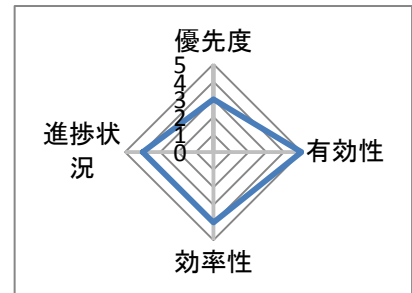
指標名2		会議録検索システムにかかる1ページ当たりのコスト							
指標説明(式)		総事業費／総ページ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1073	1183	110.3	885	74.8	885	100.0	
	実績	1110	1525	137.4	1082	71.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	相生市議会ホームページについて、随時最新情報に更新することで、市民への議会情報の迅速な提供を行うことができた。	5
効率性	コストの節減	委託契約の算定方法を見直し、音声データ反訳を分単位の契約に変更することにより、コスト増大を最小限に抑えた。	4
	コストの節減	会議録作成に併せ検索システムページ数等が経費に影響するため、音声データを分単位で精査するなど工夫によりコストの削減を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	より正確な議事記録とするため、議場マイク設備以外の施設機器も段階的な機器更新が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	今後もコストの増加を最小限に抑えるため、委託契約の算出方法等の検証を常に実施する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014600		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	議会広報事業		予算事業名	議会報作成事業	優先度	3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために			担当部局名	議会事務局議会事務局			
施策名(中)	その他			担当課長	寺田 大輔	担当者名	坪田 知己	
取組み事項	その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市議会会議規則等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	議会活動をわかりやすく市民に伝え、市民が身近に感じる市議会とすることにより、市議会への関心を高め、さらに開かれた市議会を目指す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		「相生市議会だより」の発刊					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	編集委員会開催数	回	7	8	8	8	
	発行部数	部	13500	13550	13700	13700	
	発刊回数	回	4	4	4	4	
	ページ数	頁	34	34	34	34	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.160	100	0.160	100	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	1,945,414	1,971,146	101	2,027,432	103	2,068,072	102	
	事業費	831,175	821,371	99	810,994	99	906,000	112	
	合計	2,776,589	2,792,517	101	2,838,426	102	2,974,072	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,776,589	2,792,517	101	2,838,426	102	2,974,072	105	
合計	2,776,589	2,792,517	101	2,838,426	102	2,974,072	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市議会だより発刊							
指標説明(式)		発刊回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		市議会だより発刊							
指標説明(式)		発行ページ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
頁	目標	34	34	100.0	34	100.0	34	100.0	
	実績	34	34	100.0	34	100.0			

【効率性】

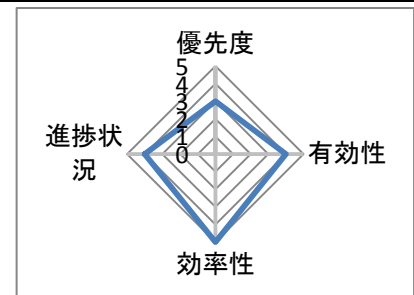
指標名1		市議会だより1部当たりのコスト							
指標説明(式)		市議会だより発行にかかる事業費／発行部数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	19	17	89.5	18	105.9	17	94.4	
	実績	15	15	100.0	15	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	議会改革として、議会の情報公開を推進するため、平成30年2月10日号から、次期定例会のお知らせの掲載を開始した。	4
	成果の向上	平成30年2月3日、なぎさホール中ホールにおいて、第2回議会報告会を開催し、46名の市民の方に参加していただいた。議会報告とともに、市民との意見交換を行うことで、議会と市民との情報共有を図ることができた。	
効率性	手段の最適性	平成23年度から議会報編集システムのパソコンを入れ替え、事務の効率化が図られている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	議会報告会においては、報告内容の工夫や役割分担の明確化など、改善すべき課題がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	議会報告会のあり方や実施方法など、第2回(平成29年度)の開催を踏まえ、調査研究を行う。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014700	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	選挙管理委員会一般事務	予算事業名	選挙管理委員会費事務経費 優先度 3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局 選挙管理委員会事務局	
施策名(中)	その他		担当課長	橋本 昌司	担当者名 山田 道子
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、地方自治法、検察審査会法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者			
	誰(何)を対象として	選挙人、選挙管理委員会委員、委員会事務局			
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙を執行する側の資質を高め、適正な管理執行を行い、公正・公平な選挙の執行が図られることにより、市民の政治や行政に対する要求を正しく反映させることができる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		委員会の開催、各種選挙人名簿の調製、検察審査員候補者・裁判員候補者の選定				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	委員会の開催	回	15	18	17	12
	各種選挙人名簿の調製	種	3	2	2	2
	検察審査員候補者の選定	人	9	9	9	9
	裁判員候補者の選定	人	37	63	49	49

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.804	0.805	100	0.416	52	0.400	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,360,782	6,414,101	101	3,581,800	56	3,520,392	98	
	事業費	1,630,293	1,593,158	98	1,195,068	75	1,264,000	106	
	合計	7,991,075	8,007,259	100	4,776,868	60	4,784,392	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	388,800		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,602,275	8,007,259	105	4,776,868	60	4,784,392	100	
合計	7,991,075	8,007,259	100	4,776,868	60	4,784,392	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		選挙管理委員会の開催							
指標説明(式)		定例委員会及び臨時委員会の開催							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	17	17	100.0	15	88.2	12	80.0	
	実績	15	18	120.0	17	94.4			
指標名2		各種選挙人名簿の作成							
指標説明(式)		選挙人名簿、農業委員会委員選挙人名簿(H27.9.4法改正により廃止)、海区漁業調整委員会委員選挙人名簿							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
種	目標	3	3	100.0	2	66.7	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

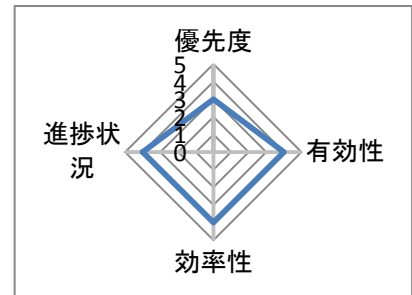
指標名1		選挙管理委員報酬							
指標説明(式)		委員長 @42,000円/月⇒@39,000円/月(平成18年6月より)⇒@38,500円/月(平成29年4月より)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1152000	1152000	100.0	1128000	97.9	1128000	100.0	
	実績	1152000	1128000	97.9	1128000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、適正に管理されている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、適正に処理されている。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
	執行体制の効率性	法の規制があるため、市民参画、市民活動との連携等は難しい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法、地方自治法等の関係法令に基づき、概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減を引き続き行っていく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106014800	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	明るい選挙推進事業	予算事業名	優先度 4
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局	
施策名(中)	その他		担当課長	橋本 昌司	担当者名 山田 道子
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		公職選挙法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該選挙人、児童・生徒、新成人			
	誰(何)を対象として	明るい選挙推進協議会委員、児童・生徒、新成人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙の啓発活動を行うことにより、市民の投票参加意識が高まる。未成年のうちから明るい選挙の推進に関心を持つ。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		パンフレット等による啓発、新有権者啓発、啓発ポスターの募集、推進協議会の開催				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	成人式での啓発誌配布	人	270	270	247	250
	啓発ポスターの募集	点	174	147	207	210
	推進協議会の開催	回	0	1	2	1
	啓発紙「白バラ」の配布	部	13200	13300	13400	13400

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.060	50	0.108	180	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,243,094	1,252,626	101	834,192	67	1,200,160	144	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,243,094	1,252,626	101	834,192	67	1,200,160	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,243,094	1,252,626	101	834,192	67	1,200,160	144	
合計	1,243,094	1,252,626	101	834,192	67	1,200,160	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		成人式での啓発誌配布							
指標説明(式)		成人式参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	270	270	100.0	270	100.0	250	92.6	
	実績	270	270	100.0	247	91.5			
指標名2		啓発ポスターの募集							
指標説明(式)		啓発ポスターの応募者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
点	目標	200	170	85.0	150	88.2	210	140.0	
	実績	174	147	84.5	207	140.8			

【効率性】

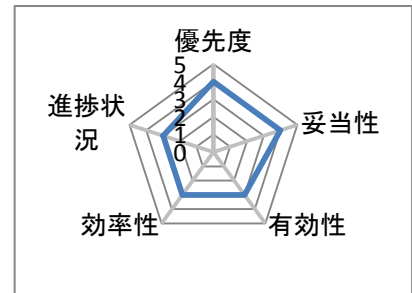
指標名1		啓発事業費							
指標説明(式)		西播4市明るい選挙推進協議会連合会負担金							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	対応策として、看護専門学校生を選挙事務従事アルバイトに採用し、若年層の啓発を図る。	3
	上位施策への貢献度	常時啓発の成果が各種選挙執行時の投票率に反映させる。	
効率性	コストの節減	選挙毎に検挙される選挙違反や、選挙に対する意識の希薄化から、明るい選挙の啓発の必要性は高まっており、減額できない。	3
	執行体制の効率性	各種団体から委員を選出してもらっているが、増員や、若年層が主たる構成員である団体からの委員の選出も検討すべきである。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	学生の選挙事務従事は継続できている。明るい選挙推進委員の若年層の採用は青年会議所からの代表が委員となっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	明るい選挙推進委員の若年層の採用



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	若年層委員の選任ができる環境について検討する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015200		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	市長選挙執行事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)		その他		担当課長	橋本 昌司	担当者名	山田 道子	
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者						
	誰(何)を対象として	市長選挙執行						
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を高め、参政権が守られる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市長選挙の執行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	市長選挙	回	0	1	0	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.242	-		0		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		2,171,896	-	371,112	17	341,992	92	
	事業費			-		-		-	
	合計		2,171,896	-	371,112	17	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		2,171,896	-	371,112	17	341,992	92	
	合計		2,171,896	-	371,112	17	341,992	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長選挙投票者数							
指標説明(式)		市長選挙における投票者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	17500	-	0	0.0	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

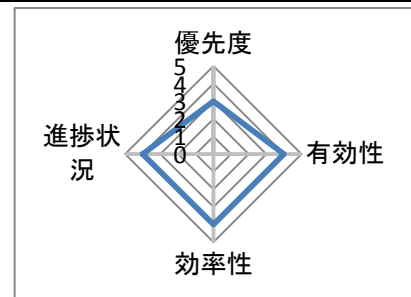
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる。	4
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率を向上させる。	
効率性	コストの節減	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通りに執行できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法等を検討

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015300		事業の種類	0	
年度	29	事務事業名	海区漁業調整委員会委員選挙執行事業		予算事業名	海区漁業調整委員会委員選挙執行事業	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)	その他		担当課長	橋本 昌司		担当者名	山田 道子
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	公職選挙法、選挙執行経費基準法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者					
	誰(何)を対象として	海区漁業調整委員会委員選挙執行事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業および漁業者の一般的利益を代表する機関として、海区漁業調整委員会委員を選出する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		海区漁業調整委員会委員選挙の執行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	海区漁業調整委員会委員選挙	回	0	1	1	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.160	-	0.012	8		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		1,554,026	-	463,728	30	341,992	74	
	事業費			-	46,266	-		0	
	合計		1,554,026	-	509,994	33	341,992	67	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		53,592	-	46,266	86		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,500,434	-	463,728	31	341,992	74	
合計		1,554,026	-	509,994	33	341,992	67		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		海区漁業調整委員会委員選挙投票者数							
指標説明(式)		海区漁業調整委員会委員選挙における投票者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	48	-	0	0.0	0	-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

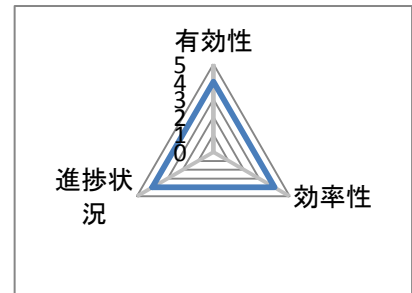
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる	4
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率を向上させる	
効率性	手段の最適性	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト削減は難しい。	4
	執行体制の効率性	選挙人が漁業者に限られるので、漁業地域のみでの執行体制とした。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通りに執行できた	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの削減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト削減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法等を検討

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015400		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	監査委員業務		予算事業名	監査委員事務事業	優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	監査事務局監査事務局		
施策名(中)		その他			担当課長	橋本 昌司	担当者名	高田 樹里
取組み事項		その他			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地方自治法、地方公営企業法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律						
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民						
	誰(何)を対象として	市の現金出納、市の決算及び財政健全化状況、市の財務に関する事務の執行、経営に係る事業の管理又は市の事務の執行						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公正で合理的かつ能率的な行政運営の確保のため、行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		毎年度策定する監査等年間計画に従い、地方自治法等に基づく監査等を着実に実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	例月出納検査	回	12	12	12	12	
	定期監査	回	9	9	9	9	
	決算審査	回	1	1	1	1	
	随時監査	回	1	0	0	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.806	1.800	100	1.718	95	1.710	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	13,857,746	13,911,426	100	13,630,636	98	13,929,652	102	
	事業費	2,014,895	2,000,345	99	2,063,759	103	2,208,000	107	
	合計	15,872,641	15,911,771	100	15,694,395	99	16,137,652	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,872,641	15,911,771	100	15,694,395	99	16,137,652	103	
合計	15,872,641	15,911,771	100	15,694,395	99	16,137,652	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		監査委員業務							
指標説明(式)		監査・検査実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	41	39	95.1	40	102.6	41	102.5	
	実績	42	41	97.6	41	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

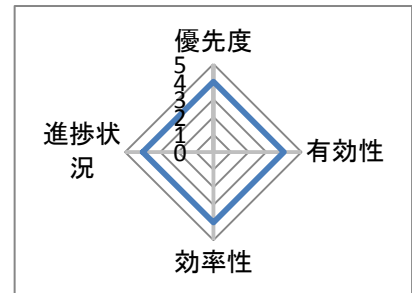
指標名1		年間の監査委員業務一人当たりコスト							
指標説明(式)		監査・検査業務総経費/(監査委員2名+事務局職員4名) ※H27・28年度は事務局職員2名、H29年度は事務局職員4名							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,111,879	4,150,962	101.0	2,665,332	64.2	2,689,608	100.9	
	実績	3,968,160	3,977,943	100.2	2,615,732	65.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	監査・検査実施回数は、前年度同様、年度当初に計画した目標数を達成している。	4
	成果の向上	客観的な立場から、違法・不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、それぞれの結果に対して監査委員の意見等を付して報告・公表することにより、市の行財政健全化に資している。	
効率性	コストの節減	地方自治法に基づいた市長から独立した必置機関であり、事業費の大半は人件費及び固定的な経費であることから、コスト削減の余地は少ない。	4
	執行体制の効率性	利害関係を排除した独立性・専門性が求められており、かつ地方自治法等に規定された固有事務であるため、現体制は適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	監査等年間計画に従い、地方自治法等に基づく監査等を着実に実施できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成32年度から監査基準の策定と公開が自治体に義務付けられたが、現在、相生市監査基準を作成していない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成32年度から監査基準による監査等の実施が義務付けられ、総務大臣からの指針等が示された段階で、その内容を踏まえた監査基準の策定を進める

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015500	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	公平委員会業務	予算事業名	公平委員会費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	公平委員会公平委員会
施策名(中)		その他		担当課長	橋本 昌司
取組み事項		その他		担当者名	高田 樹里
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		地方自治法、地方公務員法、相生市公平委員会設置条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員及び職員団体			
	誰(何)を対象として	職員及び職員団体			
	意図(どのような状態にしたいのか)	中立的かつ専門的な人事機関として、公正な任命権及び人事権の行使を保障し、市職員の利益を保護する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市職員の公正な労使関係を維持するため、公平委員会定例会・臨時会を開催する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	公平委員会定例会	回	4	4	4	4
	公平委員会臨時会	回	1	0	1	0

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.200	0.200	100	0.190	95	0.190	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,841,654	1,855,426	101	1,837,532	99	1,851,732	101	
	事業費	371,160	389,814	105	397,789	102	408,000	103	
	合計	2,212,814	2,245,240	101	2,235,321	100	2,259,732	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,212,814	2,245,240	101	2,235,321	100	2,259,732	101	
合計	2,212,814	2,245,240	101	2,235,321	100	2,259,732	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公平委員会業務							
指標説明(式)		公平委員会定例会等開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	4	80.0	5	125.0	4	80.0	
	実績	5	4	80.0	5	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

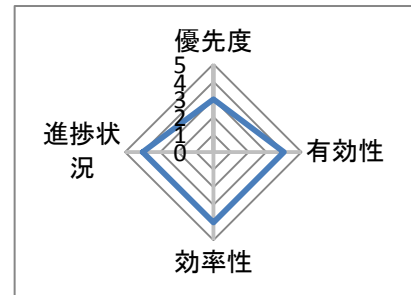
指標名1		年間の公平委員会業務一人当たりコスト							
指標説明(式)		公平委員会業務総経費/(公平委員3名+事務局職員4名) ※H27・28年度は事務局職員2名、H29年度は事務局職員4名							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	459,543	463,209	100.8	322,570	69.6	322,818	100.1	
	実績	442,563	449,048	101.5	319,331	71.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公平委員会定例会を開催し、公平委員へ人事行政に関する新しい情報の提供及び関連規則を整備することにより、不利益処分の審査請求及び措置要求に対する審理を公平で公正なものとしている。	4
	期待する目標	平成29年度は不利益処分の審査請求及び措置要求の事案はなかったが、人事行政の公平性を保障することにより、市職員が安心して職務に専念することができる環境を整備するものである。	
効率性	コストの節減	人事行政の公平性を保障する執行機関として市に設置されたものであるとともに、事業費の大半は人件費及び固定的な経費であることから、コスト削減の余地は少ない。	4
	手段の最適性	地方公務員法に基づき、公平委員会設置条例により人事行政の公平性を保障する執行機関として設置されているため、公平委員会の運営は行政が行うべきであり、外部委託はできない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年度は不利益処分の審査請求及び措置要求の事案はなかったが、計画通り、公平委員会定例会・臨時会を円滑に実施できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	不利益処分の審査請求等に的確に対応するため、市職員のプライバシーに配慮した相談方法及び早期対応が可能な体制整備が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	公務員制度改革による人事行政の変遷に伴い、不利益処分の審査請求等が顕著になる恐れがある。国の動向を注視し、情報収集に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015600	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	出納業務事業	予算事業名	一般管理費事務経費(出納) 優先度 3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	出納室出納室	
施策名(中)	その他		担当課長	森中 江美	担当者名 肥塚 佳代子
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		地方自治法149条第5項			
事業の目的	誰のために(具体的に)	債権者・納入義務者			
	誰(何)を対象として	支出負担行為・支出命令書・現金・有価証券・資金計画・指定金融機関・収納代理金融機関・出納員・各担当者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	1 現金及び有価証券等を適正に管理する。 2 公金の収納や支払を正確に処理する。 3 預金状況及び資金計画・資金運用を効率的に管理する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		1 公金の適正な支払 2 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査 3 出納員及び分任出納員の検査 4 効率的な資金計画及び資金運用 5 債権者の適正な管理 6 庶務担当者に対して適性な指導及び助言				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	支払件数	件	16799	17307	17049	17100
	口座振込支払件数	件	13138	13939	13365	13400
	指定及び収納代理の検査	店舗数	3	3	3	3

3 投入資源

インプット指標		会計区分 一般会計				事業費単位:円			
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.508	1.502	100	1.505	100	1.506	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	11,628,110	11,665,996	100	11,986,702	103	12,308,668	103	
	事業費	422,780	683,469	162	415,090	61	433,000	104	
	合計	12,050,890	12,349,465	102	12,401,792	100	12,741,668	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,050,890	12,349,465	102	12,401,792	100	12,741,668	103	
合計	12,050,890	12,349,465	102	12,401,792	100	12,741,668	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		口座振込支払件数							
指標説明(式)		口座振込支払件数/総支払件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	75	77	102.7	80	103.9	80	100.0	
	実績	78.2	80.3	102.7	78.4	97.6			
指標名2		支出命令提出遅延数							
指標説明(式)		支出命令提出遅延数/総支払件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.5	2.5	100.0	2.5	100.0	2.5	100.0	
	実績	2.9	2.8	96.6	2.8	100.0			

【効率性】

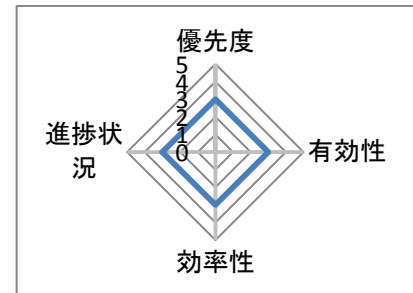
指標名1		支払1件当たりの単位コスト							
指標説明(式)		人件費・事業費合計/総支払件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	740	730	98.6	740	101.4	730	98.6	
	実績	717	714	99.6	727	101.8			
指標名2		指定及び収納代理金融機関の検査							
指標説明(式)		店舗数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	支出命令書等の提出遅延数は横ばい状態である。	3
	組織運営・適正管理	財務システムの活用により支払業務がスムーズに行えている。	
効率性	コストの節減	インターネットバンキングの利用により時間コストの軽減が図れている。	3
	執行体制の効率性	書類の期限後提出や不備・訂正などにより、支払事務に支障をきたしている。中には、集計日当日に出納室へ持ち込まれることがあり、対応に苦慮している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目標には達していない項目もあるが、問題なく進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	毎月、掲示板に支出命令提出期限を掲載しているが、遅滞件数は減っていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	支出命令のミス防止のため、新任・臨時職員及び庶務担当者を対象にした財務会計事務研修を充実させる。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015700	事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	会計審査業務事業	予算事業名	会計管理事業	優先度	3
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	出納室出納室			
施策名(中)	その他		担当課長	森中 江美			
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方自治法149号第5項					
事業の目的	誰のために(具体的に)	債権者・納入義務者					
	誰(何)を対象として	支出負担行為・支出命令書・現金・調定書・出納員・各担当者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	1 支出項目の内容や支出先の債権者が適正であるか、振込先が正しいか等を審査することによって、予算執行の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		1 支出負担行為の目的、内容、債権者、支出科目、支払方法、支払時期等の書類審査 2 庶務担当者に対して適切な指導、助言 3 支出命令書・調定書の審査 4 公金の適正な支払 5 決算の調整				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	支出命令書審査件数	件	16552	17091	16884	
	調定書審査件数	件	2565	2541	2569	
	決算調整期間	月	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.536	1.557	101	1.592	102	1.598	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	11,837,606	12,080,421	102	12,658,168	105	13,039,700	103	
	事業費	2,619,476	2,459,909	94	2,671,685	109	2,567,000	96	
	合計	14,457,082	14,540,330	101	15,329,853	105	15,606,700	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,457,082	14,540,330	101	15,329,853	105	15,606,700	102	
合計	14,457,082	14,540,330	101	15,329,853	105	15,606,700	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訂正依頼件数							
指標説明(式)		訂正依頼件数/総審査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	16	16	100.0	16	100.0	16	100.0	
	実績	16.7	16.1	96.4	17.6	109.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

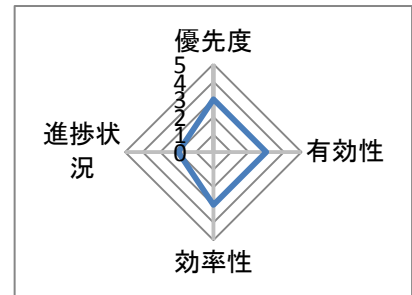
指標名1		支出命令書1件の審査に係る経費							
指標説明(式)		人件費・事業費合計/総支出命令書審査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	880	880	100.0	860	97.7	870	101.2	
	実績	873	850	97.4	907	106.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	臨時職員など、比較的経験の浅い庶務担当者がほとんどを占めるようになったほか、担当課におけるチェックが緩くなりつつあり、訂正依頼率は上昇している。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	出納員等の公金事務取扱検査及び指導を行い、概ね適正な公金管理を行うことができた。	
効率性	手段の最適性	最適な手段を求めて、常に職場内で見直し、改善を行っている。	3
	執行体制の効率性	監査からの指摘項目を減じるよう、担当職員は職場内研修及び自己研鑽により、日常業務執行上必要な知識を習得し、熟練化を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	訂正依頼件数、審査に係る経費(時間外)ともに増加した。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	支出命令書等の誤りについては、その都度指導を行っているが、同じ誤りを繰り返すことも多く、訂正依頼を減じることが難しい状況である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	財務研修を充実させるほか、訂正依頼率を減らすべく、各課でのチェック体制が十分機能するよう促していく。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015800		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	教育委員会事業		予算事業名	教育委員会費事務経費	優先度	3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		その他			担当課長	宮崎義正		担当者名	安岡僚
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民							
	誰(何)を対象として	市の学術・文化							
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育の政治的中立、安定を図り学術・文化の振興を図る							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会に関する事業					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	定例会等開催回数	回	13	14	13	13	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.356	0.348	98	0.352	101	0.352	100	
	臨時職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
支出内訳	人件費	3,311,126	3,283,446	99	3,403,928	104	3,480,024	102	
	事業費	3,156,530	3,159,683	100	3,162,956	100	3,199,000	101	
	合計	6,467,656	6,443,129	100	6,566,884	102	6,679,024	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,467,656	6,443,129	100	6,566,884	102	6,679,024	102	
合計	6,467,656	6,443,129	100	6,566,884	102	6,679,024	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度における決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	6,685	6,668	99.7	6,710	100.6	6,679	99.5	
	実績	6,468	6,443	99.6	6,567	101.9			

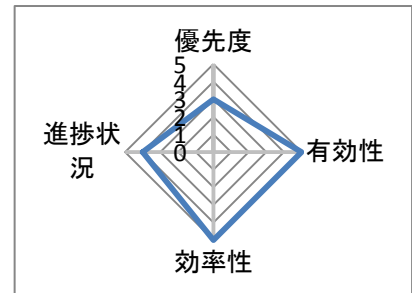
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	負担金及び旅費の精査の検討。	5
	執行体制の効率性	法令の定めにより内容等は変更できないが、その他、事務処理においては、一部変更が可能であり、整理、検討の余地はある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	開かれた教育行政を引き続き維持する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教育委員会会議の内容のホームページ公開や教育委員会だよりの発行など情報発信により、引き続き当市教育行政を市民等への周知に努める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106015900		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	教育委員会事務局事業		予算事業名	事務局費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		その他		担当課長	宮崎義正	担当者名	安岡僚	
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
事業の目的	誰のために(具体的に)	教育委員会事務局						
	誰(何)を対象として	事務局運営						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な運営を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育長会議に関する事務、教育委員会事務局運営に関する事務等				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.388	0.388	100	0.388	100	0.388	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,248,270	3,272,006	101	3,365,696	103	3,425,040	102	
	事業費	3,115,248	2,507,170	80	2,587,710	103	3,290,000	127	
	合計	6,363,518	5,779,176	91	5,953,406	103	6,715,040	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,363,518	5,779,176	91	5,953,406	103	6,715,040	113	
合計	6,363,518	5,779,176	91	5,953,406	103	6,715,040	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度における決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	6,961	6,398	91.9	6,546	102.3	6,715	102.6	
	実績	6,364	5,779	90.8	5,953	103.0			

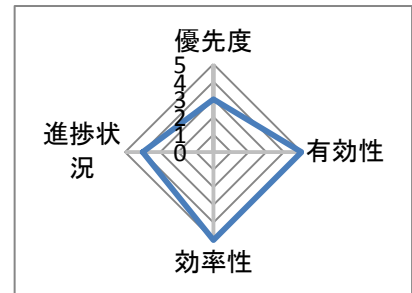
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令に意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	予算計上にあたっては、必要最低限を計上しているため、これ以上のコスト削減は事務局運営に支障をきたす。	5
	手段の最適性	開かれた教育委員会を目指すため、更なる情報発信に努める必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	開かれた教育委員会を目指すため、更なる情報発信に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教育委員会だよりや子育て支援リーフレットを作成し、全戸配布をするなど、引き続き市民への周知を図る。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016000		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	学校教育課一般事務経費		予算事業名	教育指導費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		その他		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒及び教諭					
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒及び教諭					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒の就学意欲の高揚及び教諭の指導能力の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校児童・生徒の通知票、表彰状の印刷、教諭の研究会・研修会の実施及び参加				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.088	0.084	95	0.111	132	0.104	94	
	臨時職員	0.080	0.080	100	0.170	213	0.160	94	
支出内訳	人件費	1,205,190	1,189,926	99	1,675,590	141	1,623,096	97	
	事業費	1,467,401	1,423,919	97	1,457,047	102	1,556,000	107	
	合計	2,672,591	2,613,845	98	3,132,637	120	3,179,096	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,672,591	2,613,845	98	3,132,637	120	3,179,096	101	
合計	2,672,591	2,613,845	98	3,132,637	120	3,179,096	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

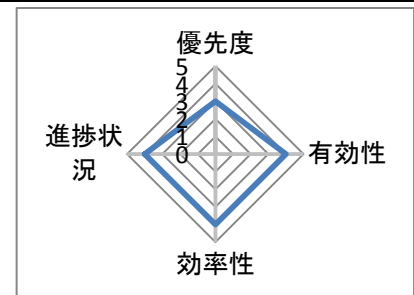
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	取りまとめによる有効的な予算の執行。	4
	組織運営・適正管理	学校教育課による予算の執行。	
効率性	手段の最適性	印刷物の校内印刷等への変更。	4
	執行体制の効率性	予算一元管理による執行体制で効率的運営。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各種帳票の見直しや、コスト削減について各学校園に理解を求めた。一定の成果は得られたが、更なる精査を要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校教育課が取りまとめて処理するものと、各学校園の裁量で処理するものとの棲み分けを徹底する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016100	事業の種類	0
年度	29	事務事業名	就業構造基本調査事業	予算事業名	就業構造基本調査事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)	その他		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	統計法、同法施行令				
事業の目的	誰のために(具体的に)	就業構造基本統計調査に関する情報利用者 行政機関			
	誰(何)を対象として	総務大臣が定める方法により選定した抽出単位に居住する世帯に常住する15歳以上の世帯員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		就業構造基本調査にかかる事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	対象世帯	件	-	-	291	-
	調査客体	件	-	-	60	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.028	-		0	
	臨時職員			-	0.320	-		0	
支出内訳	人件費			-	1,430,096	-	341,992	24	
	事業費			-	230,000	-		0	
	合計			-	1,660,096	-	341,992	21	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	230,000	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,430,096	-	341,992	24	
合計			-	1,660,096	-	341,992	21		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		就業構造基本調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	100	-	-	-	
	実績	-	-	-	100	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

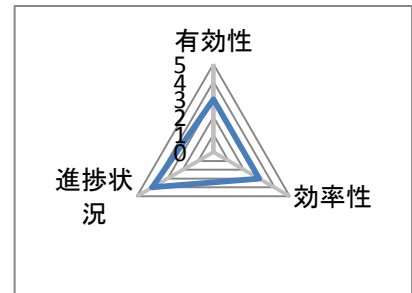
指標名1		就業構造基本調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	29668	-	-	-	
	実績	-	-	-	27668	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	個人情報保護意識の高まりにより、調査に対する抵抗感を感じる人が多くなってきている。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	オンライン調査の利用拡大やコールセンターの設置により、調査の効率的かつ円滑な実施を図った。	
効率性	コストの節減	全額県支出金より充当するため、コスト節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	調査員による対面調査のため、経済情勢の悪化や個人情報保護意識の高まり等により、調査が困難となってきていることから、オンライン調査のPRIに努め、利用拡大を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年10月1日を基準日として調査を実施した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	調査員による対面調査のため、経済情勢の悪化や個人情報保護意識の高まり等により、調査が困難となってきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	オンライン調査の利用拡大や民間委託等、新たな調査手段の活用を国に要望するとともに、登録統計調査員との連携を強化し資質向上を図る。

配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016200	事業の種類	0
年度	29	事務事業名	住宅・土地統計調査事業	予算事業名	住宅・土地統計調査事業 優先度 -
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		その他		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		その他		担当者名	久保 敏宏
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令			
事業の目的	誰のために(具体的に)	住宅・土地統計調査に関する情報利用者 行政機関			
	誰(何)を対象として	住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯			
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅及び世帯の居住状態等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにし、住生活関連施策の基礎資料を得る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅・土地統計調査にかかる事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	単位区設定	件	-	-	121	-
	調査客体	件	-	-	-	2057

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.012	-	0.072	600	
	臨時職員			-	0.080	-	0.400	500	
支出内訳	人件費			-	674,448	-	2,050,904	304	
	事業費			-	370,000	-	4,328,000	1,170	
	合計			-	1,044,448	-	6,378,904	611	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	370,000	-	4,570,000	1,235	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	674,448	-	1,808,904	268	
	合計			-	1,044,448	-	6,378,904	611	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住宅・土地統計調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	-	-	100	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

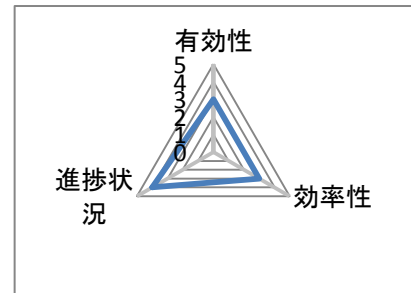
指標名1		住宅・土地統計調査1調査単位区あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査単位区							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	9161	-	-	-	
	実績	-	-	-	8632	-	-	-	
指標名2		住宅・土地統計調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	3101	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	調査単位区を实地確認し設定図を作成したが、広域な調査区は住戸の表示が小さくなるため、工夫が必要である。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	設定図のプレプリントにより指導員事務の軽減につながっている。	
効率性	コストの節減	全額県支出金より充当するため、コスト節減に裁量がない。	3
	執行体制の効率性	指定調査区情報一覧の作成については、図面での手作業であることから事務負担が大きい、全国的に利用できるGIS等のシステム導入の検討が必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成30年2月1日基準日で調査単位区の設定調査を行った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	広域な調査区における調査区設定図の作成方法に工夫が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	オフライン調査の利用拡大や民間委託等、新たな調査手段の活用を国に要望するとともに、統計調査員及び指導員との連携を強化し資質向上を図る

配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016300		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	災害見舞事業		予算事業名	災害見舞事業 優先度 3		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)		その他		担当課長	片山 和彦		担当者名	立花 大地
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		災害弔慰金の支給等に関する法律・被災者生活再建支援法・相生市災害見舞金等に関する条例規則等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	自然災害による被災者						
	誰(何)を対象として	自然災害による被災者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	被災者の自立した生活の再建を支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		見舞金 (全焼・全壊10万円 半焼・半壊 5万円 死亡弔慰金5万円) 住宅再建支援金25万円				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	見舞金支給	件	3	1	6	0

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.020	125	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	464,966	468,986	101	494,600	105	500,912	101	
	事業費	250,000	100,000	40	180,000	180	400,000	222	
	合計	714,966	568,986	80	674,600	119	900,912	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	714,966	568,986	80	674,600	119	900,912	134	
合計	714,966	568,986	80	674,600	119	900,912	134		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		災害見舞金支給1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,666	66,666	100.0	66,666	100.0	66,666	100.0	
	実績	83,333	100,000	120.0	30,000	30.0			

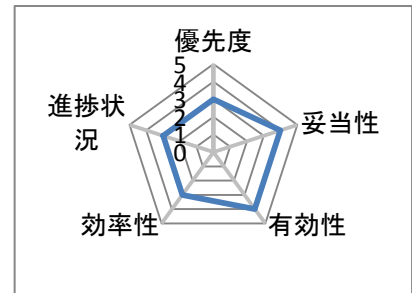
指標名2		住宅再建支援金1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	消防本部等、関係機関との連携により対象者を把握、迅速に見舞金の支給を行い被災者の生活再建を支援できた。	4
効率性	手段の最適性	法律・条例に基づき適正に執行した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本事業は突発的な事象に対応するものであり、執行件数の予測は困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	担当職員不在時に対応する必要性が生じた際にも、他の職員が対応できるよう、係内の連絡体制の整備や、共通認識が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	災害発生時、担当職員も同行するなど、事務内容を掌握できるよう対応する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016500		事業の種類	0	
年度	29	事務事業名	衆議院議員選挙及び最高裁国民審査執行事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局		
施策名(中)		その他		担当課長	橋本 昌司	担当者名	山田 道子
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者					
	誰(何)を対象として	衆議院議員総選挙及び最高裁国民審査執行事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を深め、参政権が守られる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		衆議院議員選挙				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	衆議院議員総選挙及び最高裁国民審査	回			1	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.479	-		0	
	臨時職員			-	0.118	-		0	
支出内訳	人件費			-	4,378,846	-	341,992	8	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	4,378,846	-	341,992	8	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	15,585,227	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	-11,206,381	-	341,992	-3	
	合計			-	4,378,846	-	341,992	8	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		衆議院議員総選挙及び最高裁国民審査投票者数							
指標説明(式)		衆議院議員総選挙及び最高裁国民審査における投票者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	15000	-	0	0.0	
	実績			-	13979	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

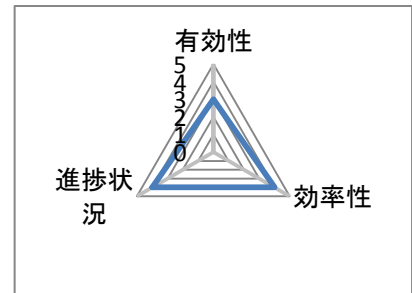
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる。	3
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率の向上を図る。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
	執行体制の効率性	投票管理者は民間人を採用している。投票事務従事者も民間人(アルバイト)を採用し、併せて若年層の啓発を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通りにできた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法等を検討

配点	32.5
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016600		事業の種類	0		
年度	29	事務事業名	知事選挙執行事業		予算事業名	知事選挙執行事業 優先度 -		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)		その他		担当課長	橋本 昌司 担当者名 山田 道子			
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者						
	誰(何)を対象として	知事選挙執行事業						
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を高め、参政権が守られる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		知事選挙の執行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	知事選挙	回	0	0	1	0

3 投入資源

会計区分		一般会計				事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.424	-		0	
	臨時職員			-	0.452	-		0	
支出内訳	人件費			-	4,834,112	-	341,992	7	
	事業費			-	5,912,945	-		0	
	合計			-	10,747,057	-	341,992	3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	13,334,874	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	-2,587,817	-	341,992	-13	
合計			-	10,747,057	-	341,992	3		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		知事選挙投票者数							
指標説明(式)		知事選挙における投票者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	15000	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	12187	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

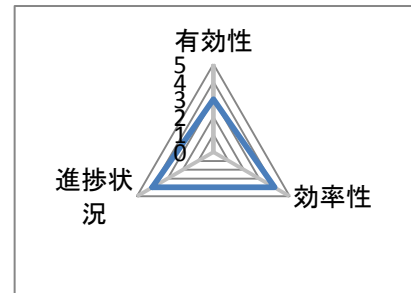
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる。	3
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率の向上を図る。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
	執行体制の効率性	投票管理者は民間人を採用している。投票事務従事者も民間人(アルバイト)を採用し、併せて若年層の啓発を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、おおむね計画通りにできた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法等を検討

配点	32.5
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016700		事業の種類	0	
年度	29	事務事業名	参議院議員通常選挙執行业		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	選挙管理委員会事務局選挙管理委員会事務局			
施策名(中)	その他		担当課長	橋本 昌司	担当者名	山田 道子	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公職選挙法、選挙執行経費基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	当該有権者、候補者					
	誰(何)を対象として	参議院議員通常選挙					
	意図(どのような状態にしたいのか)	選挙人の利便を図り、公正な選挙を執行することにより、選挙人の政治への関心を高め、参政権が守られる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		参議院議員通常選挙の執行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	参議院議員通常選挙	回	0	1	0	0

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.744	-		0		-	
	臨時職員		0.531	-		0		-	
支出内訳	人件費		7,338,783	-	371,112	5	341,992	92	
	事業費		6,899,298	-		0		-	
	合計		14,238,081	-	371,112	3	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		15,080,250	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		-842,169	-	371,112	-44	341,992	92	
合計		14,238,081	-	371,112	3	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参議院議員通常選挙投票者数							
指標説明(式)		参議院議員通常選挙投票者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	18000	-	0	0.0	0	-	
	実績	0	14604	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

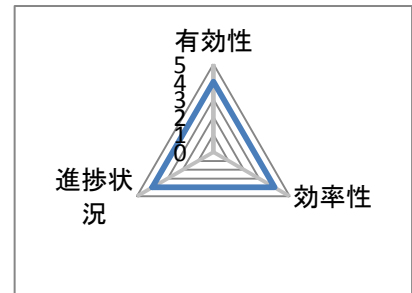
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	選挙を通じて自分たちの意見を政治に反映させることができる	4
	期待する目標	政治への参加意識を高めることにより、投票率の向上を図る。	
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公職選挙法に基づき、概ね計画通りにできた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストの節減は必要であるが、法の制約があるため、成果を維持したままでのコスト節減は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発方法を検討

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106016800		事業の種類	0				
年度	29	事務事業名	国勢調査事業		予算事業名	国勢調査事業		優先度	-	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		その他			担当課長	松尾 次郎		担当者名	久保 敏宏	
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		統計法、同法施行令								
事業の目的	誰のために(具体的に)	国勢調査に関する情報利用者 行政機関								
	誰(何)を対象として	本邦内に常住している者(外国政府の外交使節団等を除く)								
	意図(どのような状態にしたいのか)	国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		国勢調査にかかる事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	調査区設定	件	-	-	-	-
	調査客体	件	30129	-	-	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.159		0			0.004		
	臨時職員	0.788		0					
支出内訳	人件費	11,001,864	348,426	3	371,112	107	373,776	101	
	事業費	11,462,663		0			11,000		
	合計	22,464,527	348,426	2	371,112	107	384,776	104	
財源内訳	国庫支出金	0		-					
	県支出金	13,066,000		0			11,000		
	市債	0		-					
	その他	0		-					
	一般財源	9,398,527	348,426	4	371,112	107	373,776	101	
合計	22,464,527	348,426	2	371,112	107	384,776	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国勢調査調査票の回収率							
指標説明(式)		回収調査票/調査客体*100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	86.8	-	-	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		国勢調査1調査単位区あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査単位区							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	1298	-	1466	112.9	
	実績	88096	1366	1.6	1455	106.5			

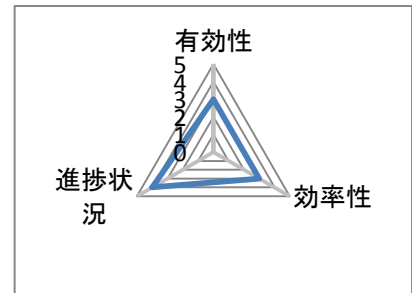
指標名2		国勢調査1調査客体あたりにかかる費用							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)/調査客体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	11	-	13	118.2	
	実績	746	12	1.6	12	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	本年度調査なし。	3
効率性	コストの節減	本年度調査なし。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本年度調査なし。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	次回調査に向け、インターネット回答の普及など、回収率の向上対策が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	次回調査に向け、インターネット回答の普及など、回収率の向上対策を検討する。

配点	32.5
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106017300		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	住民票の写し等本人通知事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		その他		担当課長	佐原 正樹	担当者名	中山 基恵
取組み事項		その他		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市住民票の写し等に係る本人通知制度実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	本市に戸籍・住民票を有する人					
	誰(何)を対象として	住民票の写し及び戸籍謄抄本を申請する代理人や第三者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住民票の写しなどの不正請求を抑止し、不正取得による個人の権利侵害を防止する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		戸籍謄抄本などの証明書を交付した場合に、事前に登録をした人に対して証明書を交付した事実を本人に通知する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	事前登録者数	人	40	36	37	38	
	通知件数	件	6	14	16	17	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		登録者率							
指標説明(式)		事前登録者数/年度末人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.12	0.14	116.7	0.13	92.9	0.13	100.0	
	実績	0.13	0.12	92.3	0.12	100.0			
指標名2		登録者あたりの通知件数							
指標説明(式)		通知件数/事前登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.16	0.12	75.0	0.39	325.0	0.45	115.4	
	実績	0.15	0.39	260.0	0.43	110.3			

【効率性】

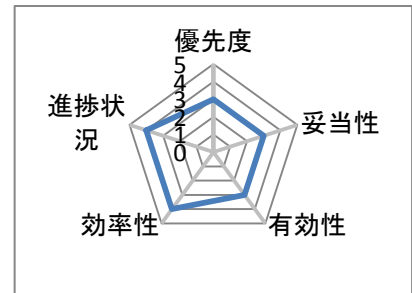
指標名1		1件あたりの事前登録申請受け付けコスト							
指標説明(式)		総事業費／事前登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8354	7359	88.1	8710	118.4	9000	103.3	
	実績	8631	9679	112.1	10030	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	適正に処理した。	
効率性	執行体制の効率性	受付事務処理を適正に行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市民への十分な周知が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市民への周知を効果的に行う。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106017400	事業の種類	0
年度	29	事務事業名	社会福祉法人指導監査事業	予算事業名	社会福祉法人指導監査事業 優先度
まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	その他		担当課長	片山 和彦	担当者名
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	社会福祉法人指導監査要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の社会福祉法人			
	誰(何)を対象として	市内の社会福祉法人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉法人監査数				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	社会福祉法人監査数	法人	2	2	2	3

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.220	177	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,273,022	1,282,766	101	1,328,144	104	2,090,112	157	
	事業費	326,717	289,560	89	309,816	107	312,000	101	
	合計	1,599,739	1,572,326	98	1,637,960	104	2,402,112	147	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,599,739	1,572,326	98	1,637,960	104	2,402,112	147	
合計	1,599,739	1,572,326	98	1,637,960	104	2,402,112	147		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会福祉法人監査数							
指標説明(式)		社会福祉法人監査数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
法人	目標	2	2	100.0	2	100.0	3	150.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

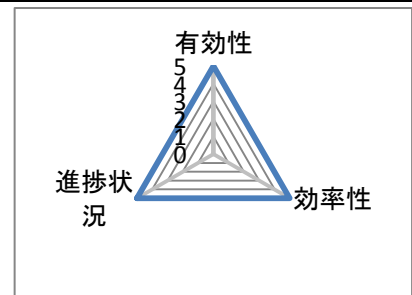
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市内の2社会福祉法人に対し、指導監査を実施した。	5
効率性	執行体制の効率性	公認会計士を法人指導監査専門員として委嘱し、勉強会を2回実施するとともに、専門的知識による法人指導監査を実施した。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおり法人指導監査を実施することができ。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	法人指導監査専門員による助言・指導等を職員で行えるようにする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	所轄庁として今年度も適正な制度運用に努めたい。

配点	32.5
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060106017500		事業の種類	9		
年度	29	事務事業名	庁舎建設基金事業		予算事業名	庁舎建設基金事業 優先度		
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	財務部財政課			
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之		担当者名	岸本 一郎
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)							
	誰(何)を対象として							
	意図(どのような状態にしたいのか)							

2 事業の概要 Do

実施の概要		庁舎建設基金に係る積立金(実質収支の1/8) ※H28は財政調整基金の公共施設更新分から150,000千円を移行				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積立金	千円	-	214007	49492	658

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.032	-	0.008	25	0.012	150	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		589,546	-	432,856	73	437,344	101	
	事業費			-	49,491,577	-	658,000	1	
	合計		589,546	-	49,924,433	8,468	1,095,344	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		589,546	-	49,924,433	8,468	1,095,344	2	
合計		589,546	-	49,924,433	8,468	1,095,344	2		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

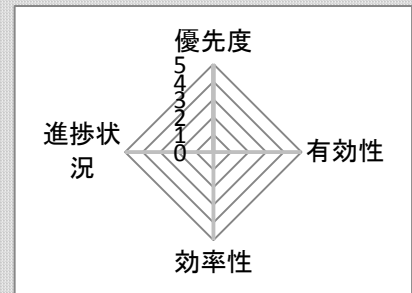
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0